

Wings

塚本学院校友会誌ウイングス
Number 47
January.2026

学校法人塚本学院は創立80周年を迎え、大学内に新施設が誕生





塚本学院校友会
会長 松井 公一

新しい船出

2025年、さまざまな批判や懸念を抱えながらも、大阪・関西万博が開幕し、大好評のうちに幕を閉じました。

そして、我らが母校・大阪芸術大学グループを運営する学校法人塚本学院は創立80周年を迎え、新しく「大阪医療大学」の設置認可を得て、2026年4月の開学を控えます。

嬉しい知らせが続くなか、悲しい知らせもありました。

校友会の発起人・創設理事であり、第4代会長として37年間にわたり、校友会を守ってくださった福永亮碩会長が2025年9月に永眠されました。長年のご尽力に深く感謝するとともにご冥福をお祈りいたします。悲しみ、寂しさは尽きませんが、ここで立ち止まることを福永会長も望んでおられないでしょう。4年後には医療大学の卒業生も校友会員の仲間に入ります。卒業生の交流の軸として、校友会はこれからも前進し続けなければなりません。

福永会長には及ばずとも、新会長として、副会長・常任理事・理事の方々、そして何より校友会員のみなさまのお力を借りながら、努力を
してまいる所存です。

WINGSは、大阪芸術大学グループ卒業生の輪が広がり、交流が深まることを願って発行しております。今号も恩師や校友の活躍をたくさん取り上げています。どうぞ、ゆっくりとお楽しみください。また、こんな記事を取り上げて欲しい、こんな機会を作ってほしいなど、リクエストも大歓迎です。ぜひ、校友会事務局までみなさまの声をお届けください。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

会長挨拶	1	阪神淡路大震災から30年 歌い継がれる音楽の力 「しあわせ運べるように」	24
役員会報告	2	臼井 真	
塚本学院校友会 第4代会長 福永 亮碩氏を悼む	4	ギャラリー白から星光画廊へ	26
学校法人塚本学院副理事長 塚本 英邦先生 インタビュー	6	天野画廊	27
塚本学院に新しい大学! 2026年4月開学 大阪医療大学		天野画廊オーナー：天野 和夫	
		長尾登美子先生の偲ぶ会を開催	28
山下浩平氏 インタビュー	8	泉鏡花記念館シンボルマークが中学1年生用の美術の教科書 「美術1」に掲載されました。	
好きなことを突き詰める! 芸大スピリッツは脈々と		泉屋 宏樹	29
		母校愛のきずな「親子二代Vol.13」	30
ミャクミャク製作時の立体モック ©Kohei Yamashita		関西学生・全日本大学 対校女子駅伝結果報告	34
ハンガリー国政府よりハンガリー国 騎士十字功労勲章受勲 大阪芸術大学・非常勤講師 中島 裕司	13	凸凹母校 活躍するOB・OG特集	38
あのこと、あの場所で、 写真につづられた思い出	14	大阪芸術大学 建築学科 A92メンバー同窓会開催!!	44
あのことの先生は今… 『先生に逢いたい』	18	ハガキ短信	46
塚本学院創立80周年記念事業 新たな名所が芸大に誕生!	22	奨学生の声	49
		書籍・CD・DVD出版	50
芸術劇場の緞帳がリニューアル		支部活動 開催報告	52
		学校便り	68
大阪芸術大学 動物ジオラマ館 「芸大 Zoo」が開館		令和7年度 塚本学院校友会社会貢献等支援事業概要	72
		学びのフィールド	73
		2026 卒業制作展のご案内	74
		執筆等、お世話になった方々	76

塚本学院校友会 第4代会長 福永亮碩氏を悼む

37年間にわたり校友会会長を務めてこられた福永亮碩氏が2025年9月16日にご逝去されました。
氏を偲び、古くからの校友会でゆかりのあった方々にご寄稿いただきました。



ありがとう御座いました。58年間。

9月16日早朝に、闘病中だった塚本学院校友会の福永亮碩会長が、ご逝去されたとの訃報が入ってきました。一瞬金縛りに遭ったのかのように、体が動かなくなりました。

思い起こすと福永会長は、学生時代を含めて58年のお付き合いになります。出会いはいふ論、学生と事務局の先生で先輩という関係でした。後にクラブの監督として指導を受けました。我々の学生時代は、学園紛争の真っ只中、学校の安全を維持するための活動をしていました。その時に寝食を共にする機会が多く、より親交が深まったように思います。

卒業と同時に、塚本学院に就職することになり、今度は上司と部下の関係に。昭和44年に塚本学院校友会の発起人、創設理事に福永会長と私も名を連ねることとなり、昭和63年より第4代会長に就任され、今年で37年間、学院に各学校に校友会に準会員にと色々と尽力されてきました。

福永会長は、あまりにも塚本学院校友会の中で、とつても大きく強い存在でしたので、超えてゆくのは大変だと思いますが、今後の塚本学院校友会が益々前進していけるように努力して参ります。

福永亮碩会長先輩、大変お世話になりました。
お疲れ様でした。ゆっくりお休みください。

塚本学院校友会 第5代会長 松井 公一

謹んでお悔やみ申し上げます。

まさか彼が……。

福永さんとは長いつきあいでした。私が生徒会長になってからのつきあいでしたので、かれこれ58年公私どもの間柄でしたから良いも悪いも性格も知つくした仲でした。とても残念です。非常に面倒見のいい人でしたが、会長に就任してから大分我がままな性格になり、よく言い合いをしました。もう会えないと思うと淋しい気がして残念です。ゆっくり休んでください。あちらに行ったらゆっくり飲みましょう。

塚本学院校友会 常任理事 松尾 佳明

塚本学院校友会＝福永亮碩であった気がする。学院創始者である故塚本英世学長からの教えを今日まで頑固なまでに守り抜いたのだ。塚本学院校友会は車の両輪として学院と共にあり、多くの卒業した同窓生そして現役の学生達を支えること。

外部からは見えないが校友会が基礎基盤となる事。福永亮碩君、貴方は信念を持って、一生涯をかけて実行されました。

合掌

塚本学院校友会 常任理事
同期生 田村 昭彦



福永会長と撮った最期の集合写真 2023年3月28日



役員一人一人に声をかける福永会長



福永会長と事務局

校友会設立から携われ、半世紀以上 とても深い思いで支えてこられた先生の突然の訃報に残念でなりませんでした。同じ福祉の仕事の中でも夫婦共々、大変お世話になりました。豪快さの中にとても繊細でやさしく心遣いをされる姿で導いて頂きました。

感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

塚本学院校友会 副会長 伊山 千鶴子

故 福永亮碩会長を偲んで

豪放磊落にして、細やかな気配りも忘れない福永会長は、類稀な才子でした。

塚本学院校友会という揺るぎない組織を築き上げられました。そのご功績は偉大であり、心より感謝申し上げます。

今後は、その御意志を受け継ぎ、更に発展、充実させていきますことを、ご霊前にお誓い申し上げます。ご冥福をお祈り申し上げます。

塚本学院校友会 副会長 山脇 悠一郎

福永会長とは、塚本学院入職以来60年、同期の桜として、全国的な学園紛争、人材問題等に、公私に亘り指導・相談を仰ぎ、会食を恒例の如く度々させていただきました。

いつも変わらず剛直一直線、情熱に燃え、誰にでも面倒見のある、正に全て信頼のできる頼もしい人でした。

絶大なる感謝申し上げ、本当に有難うございました。

学校法人塚本学院 専務理事 亀谷 眞一

「心より感謝を込めて、哀悼の意を表す」

「巨星墜つ」 三国志に由来するこの表現より外に、私には故 福永亮碩会長を哀悼する言葉は見つかりません。

56年前、前身の「浪速同窓会」を引継ぎ、新たに「塚本学院校友会」を立ち上げ、爾来、今日に至るまで全力で会の発展と会員相互の親睦、そして母校の発展に尽力され多大の貢献をされました。

校友会には福永会長のお勧めがあり、学院の就職後すぐに会のスタッフとして参画しました。が、広報委員長を務めた「校友会誌 wings 30号」の発行を機に私は、学院における業務を最優先したいとの理由から副会長職を退任し、暫くは一会員として校友会を支援していこうと決意しました。そして昨年の校友会設立55周年以後、今一度恩返しも兼ねて何かしらお手伝いをせねばと考えていたところでした。

その矢先の余りに突然の訃報、誠に残念でなりません。「おい工藤、元気か」とお会いするたびに満面の笑顔で握手してくれた福永会長、本当にお世話になりました。心より感謝申し上げます。とともに、ご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

合掌

学校法人塚本学院 理事 工藤 皇

福永様へ

大きなお体でハスキーなお声の福永さんとは、時折先生方を交え楽しい会食をご一緒させていただきました。また、施設の子供たちのことを父親の立場で心から愛していらっしゃいました。その優しさはいつまでも私の心に残る事でしょう。

大阪芸術大学 写真学科学科長 織作 峰子

長月も半ば初秋の便りが届く頃、悲しいお知らせが届きました。在任中は、大学の行事などでよくお声掛けをくださりお話しさせて頂きました。少ししゃがれた声でお話しなさるお顔が目には浮かびます。どうぞ大阪芸大の事をお見守りくださいますよう、安らかに眠りくださいませ。

合掌

元大阪芸術大学 放送学科学科長 石川 豊子

若江学院3代目理事長 福永亮碩先生がご逝去なされました。この突然の悲報に接し未だに信じられない気持ちであります。なんとお慰めのお言葉をおかけさせていただいたらよいのかも分らず、在りし日のお姿を偲び悲しみに耐えません。初めてお目にかからせていただきましてから半世紀、家族の様に兄様におつき合いをいただき、職員として沢山のご指導を賜りましたことに心より感謝をいたしております。福永先生の安らかな旅立ちを心よりお祈りいたします。最後に塚本学院校友会会長として永きにわたり本当にお疲れさまでした。

社会福祉法人 若江学院

浪速短期大学 保育学科卒業 古崎 良子

長きにわたり塚本学院校友会にご尽力頂きました福永亮碩会長の逝去の報に接し心よりお悔やみ申し上げます。福永様は強いリーダーシップと卓越した行動力、適格な判断力を兼ね備えられ校友会を牽引されました。常に理事の声に耳を傾け、時には厳しくもありましたが誰に対しても真摯に向き合ってくださいました。特にグループの学校間の絆を深め連携を強化する為に尽力された功績は計り知れず、今日の校友会発展の礎を築かれたことは誰もが認めるところであります。福永様の屈強なお人柄は我々後進者の大きな道標であり続けることでしょう。

半生を捧げられた校友会への貢献に深い感謝の意を表すと共に謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

塚本学院校友会 監事 佐田 昌己

学校法人塚本学院副理事長 塚本英邦先生 インタビュー

塚本学院に新しい大学！ 2026年4月開学 大阪医療大学 塚本英邦先生に訊く、医療大学設置の狙いとは

2025年8月29日、文部科学省より大学設置の認可を得て、大阪医療大学（理学療法学科／看護学科）が2026年4月に開学します。場所は短期大学部保育学科のあった大阪校舎。学校法人塚本学院大阪芸術大学グループに新しい歴史が刻まれることになります。

一期生の募集真っ只中の2025年10月、塚本英邦先生に新たに医療大学を作ることになった経緯や今後の展望などを直撃インタビューいたしました。



塚本 英邦 HIDEKUNI TSUKAMOTO

博士（工学）名誉経済学博士
学校法人塚本学院 副理事長・国際部長・企画広報部長
大阪芸術大学 副学長・教授
大阪医療大学 学長就任予定
大阪芸術大学短期大学部 学長

なぜ芸大グループが医療大学？

本日はお忙しいところ、ありがとうございます。

まず率直に、なぜ芸大が医療大学を作ったのか、疑問のある人も多くいらっしゃるので、その点についてお聞かせください。

そもそも塚本学院の80年の歴史を振り返ると、創設者で初代理事長の塚本英世が戦後すぐに立ち上げた平野英語塾が母体となっています。これは占領下の日本で仕事や生活を行う上で英語でのコミュニケーションの必要性が急速に高まったことから生まれました。

その後、青い鳥幼稚園（バスによる移動式の青空幼稚園）の事業に乗り出しますが、これも戦後の荒廃した状況で最も弱い立場にある子どもたち、十分な保育や教育を受けられない子どもたちを何とかしたい、未来を作っていく子どもたちを育てていく、という強い思いからでした。同時にその子どもたちの先生、保育士を育てることに力を注ぎ、短大保育学科の礎となりました。

さらに、美術教育の分野を開拓していき、現在の大阪芸大グループへと発展していきませんが、それも最初は戦後の復興が進むなかで、「本当の社会の復興にはアートの復興が欠かせない」という信念のもとで行われたものでした。そういう意味では、塚本学院は、常にその時代時代の社会のニーズに応える形でやってきたわけですから、現在の社会で最も必要とされている医療の分野に進出することも、ある意味、自然なことと言えると思います。

なるほど、確かにそうですね。とはいえ、いきなり医療大学って、相当な畑違いという感じが否めません。

そうかもしれませんが、畑違いな分野を切り拓いていくことは、塚本学院の歴史では珍しいことではありませんし、保育分野と医療分野というのは、対象こそ違っても、人に寄り添いケアしていくという点では共通しています。

新たに専門の先生方を招聘するなど、新大学設置のためにさまざまなものを揃えました。高校や医療機関から大いに期待されています。また、東住吉区長・平野区長・住吉区長から同意書をいただいております、地域からの期待も大きいんです。

よくわかりました。



2号館（円形校舎）4階 理学療法学科の講義室

学生の募集が始まり、順調な滑り出しだとうかがいましたが、やはり一点心配なのは学生の出口です。既存の看護系の学校の多くは、系列の病院などがあって、卒業生の就職先が安定的に準備されていると思うのですが、塚本学院の場合、そういう直系の病院はないですよね？

その点については、まったく心配いりません。引く手あまたですよ。現場は本当に人手不足が深刻で、どこの医療機関でも人材が求められています。文科省の認可が下りて、高校だけでなく、多くの医療現場からも歓迎されました。どこも人が欲しいんです、本当に。

現場からもそれほど求められているんですね、安心しました。

大阪医療大学の強みとは？

施設の準備も順調だとうかがいました。

そうですね、3年前から計画を立ち上げ、開学に備えてさまざまな準備をしてきました。大阪校舎の3号館は主に看護学科の、2号館（円形校舎）は理学療法学科の、それぞれ専門の演習に適した設備が整えられています。

円形校舎の1階にふくとみクリニックが開院しました。ここは幹細胞を使った再生医療を行う最先端の医療施設です。ノーベル賞を受賞した山中先生のiPS細胞は万能細胞として最強ですが、実用段階には遠く、まだまだ未来の技術であるのに対して、成体幹細胞（間葉系幹細胞）を用いる再生医療は既に行われています。この治療を行えるのは、厚生労働省に治療計画が受理された特定の医療機関だけですが、ふくとみクリニックもその一つで、特に脳卒中の後遺症に対する再生医療に強みを持っていま

す。患者本人の骨髄から幹細胞を採取して培養、十分に増やしてから注射で患者の体内に戻すと、幹細胞が体内で失われた機能を補ったり、傷ついた神経や血管などの組織の修復をします。夢のような治療ですが、この再生治療は理学療法とセットで、互いに補完し合うことで治療効果を最大化します。再生治療とリハビリテーションとは車の両輪のような関係だと言えます。

最先端医療のデータを本学と共有して研究に活かし、それをまた治療にフィードバックするという計画をたてています。クリニックと大学がWin-Winの関係になる、こういう学校は、他にはありません。最先端医療が間近にある環境ですから、本学の強みになると思います。

すごいですね。ところで、理学療法士も看護師も3年制の短大や専門学校もあると思うのですが。

今は4年制がメインになっていますね。専門性も高まり、看護師・理学療法士などさまざまな専門家が集まったチーム医療のニーズが高まっています。自身の専門性を高めると同時に、他の専門家と協働できる相互理解のベースが必要です。そういう学びを提供するには4年制で、かつ看護と理学療法の2学科が同じ大学にある環境がふさわしいと思います。

また、看護師も理学療法士も、人を相手にする仕事です。ただ専門知識や医療スキルがあるだけではなく、感性豊かな人材が求められます。チーム医療を行う上でも、共感性などさまざまな感性を育んでほしいのです。せっかく芸大グループに作った医療大学ですから、そういう面でも、カリキュラムを工夫して、本学独自の強みを発揮できると思います。

ありがとうございます。4年後、最初の卒業生が巣立って社会に貢献できる日が来るのが楽しみです。今日は本当にありがとうございました。

3号館 看護学科の演習室



好きなことを突き詰める！ 芸大スピリッツは脈々と

山下 浩平氏 インタビュー

大好評のうちに幕を閉じた2025年の大阪・関西万博。なかでも一際人気を博していた公式キャラクターのミャクミャク。

その作者である、大阪芸術大学美術学科卒業生で、デザイナー・絵本作家の山下浩平さんに、オンラインでお話をうかがいました。

●ミャクミャク誕生まで

今日はお忙しいところをインタビューに応じくださり、ありがとうございます。
早速ですが、万博の公式キャラクターデザインの公募に応募したきっかけについて教えてください。

私は71年生まれなので、前の大阪万博(70年)は直接知りませんが、小5から29歳まで神戸にいたので、当時の関西の熱気というか、その万博の空気みたいなものに憧れていました。万博グッズを集めたりして。当時のパンフレットとか70年代デザインが好きで、勉強にもなりました。
太陽の塔も大好きでした。学生時代ちょっと悩んだりしたことがあると、よく千里まで太陽の塔に会いに行きました。そのまま塔にもたれてぼんやり座ってたり。私にとってはパワースポットみたいなところだったんです。そういうのもあって、もともと今回の万博には注目していたんです。ロゴのデザインが発表され、そのインパクトのあるデザインに衝撃を受けました。これが公式ロゴマークに選ばれたのかと、いい意味で驚きました。そして、次は公式キャラクターのデザインも公募されるかもしれないと思い、それなら自分も出してみようと考えました。



公式ロゴマーク
提供：2025年日本国際博覧会協会



ミャクミャク製作時のスケッチ
©Kohei Yamashita



大阪・関西万博公式キャラクター
ミャクミャクのメインポーズイラスト
画像提供：2025年日本博覧会協会 ©Expo 2025

それまでにこうした大きなプロジェクトやイベントの公募に参加されたことはあったのですか？

いえ、初めてです。デザインの場合、基本的に依頼を受けて作る、という仕方で行ってききましたから。ですが、先ほど話したように、今回はチャンスがあれば挑戦しようと思っていたので、一般公募が発表されてすぐ取り掛かりました。発表から締め切りまで1ヶ月しかないスケジュールでしたが、当時コロナ禍で仕事も停滞している時期だったので、家の中で毎日のようにスケッチしながら考えました。
応募要件は、キャラクターのデザイン画だけでなく、立体化を前提とした6面図のほか、制作意図やコンセプトなどのテキストもたくさん必要でした。だからこそ、デザインや絵本の仕事をしてきた自分のキャリアが活かせるように思います。それまでも幕張などで開催された恐竜博などでキャラクターのデザインやグッズ、着ぐるみの設計などを10年ほどやってきた経験もあり、スキルを発揮しやすかったのかもしれません。

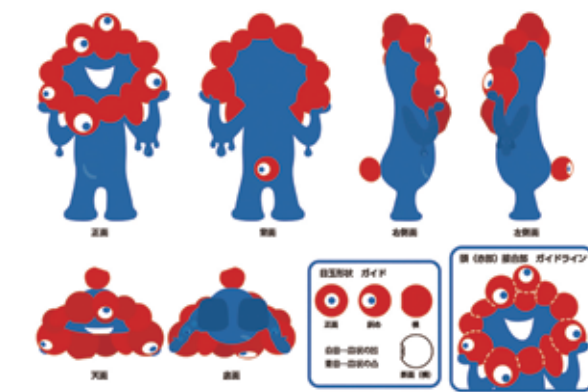
具体的な制作過程を教えてくださいませんか？

まず募集要項を読み込んで、何が求められているか分析しました。
キャラクターのデザインは、ロゴマークを活かして展開させることが求められており、色はロゴと同じ赤と白と青にしよう、と決めました。これは選考の途中に選ばれ

た3つの候補作に共通していて、やはりみんな考えることは一緒なのだなと感じました。
形については、元のロゴのデザインでは、12個ある赤い丸の〈ひとつひとつがCELL(細胞)で、それぞれ躍動し集まり繋がり、いのちの輝きをもたらす〉というコンセプトがありました。それで、要素であるセルを組み替えたり、ばらけさせるような展開も考えながら、〈自在に変形するキャラクター、可能性は無限大〉というコンセプトで、虫型や太陽の塔に模した6体ほどのヴァリエーションを描きました。そのなかで現在流通している人体型のキャラクターは、少し角度を変えたロゴをそのまま顔にしています。
ただ、全くそのままだと正直怖いという印象は拭えないと思いました。平面のロゴデザインとしては、あれが正解だと思うのですが、キャラクター化する際に、あのままでは無機質に感じるので、白と青の目の部分の配置やバランスを調整して動きを作り、親しみが持てるようなデザインにすることを心がけました。青い体は〈水の都大阪〉というコンセプトを思いつき、しずくを垂らすような部分も加えました。丸くて赤いしっぽにも目があるのは、背中にも顔がある太陽の塔へのオマージュです。

さまざまな思考や工夫が奏功して、見事最優秀賞に選ばれたわけですが、採用後の展開はどうされたんですか？

これは私独自のやり方ですが、絵本作家をやってきた性分からか、あのキャラクターを作る時も、絵本を一冊作っただけです。自分のために描いたものですが、絵本の主人公として描くことで、ストーリーや感情など、よりキャラクターへの理解が深まるという思いで準備しました。



ミャクミャクの立体図(6面図)
画像提供：2025年日本博覧会協会 ©Expo 2025



ミャクミャク製作時の立体モック
©Kohei Yamashita

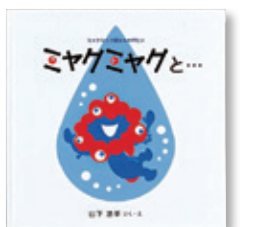
公表する予定もないのに絵本一冊ですか！

そうです。32ページの絵本を作りました。どの仕事にもそれくらいの思いは込めるようにしています。
またグッズや着ぐるみで立体化されることも前提とされていたから、自分のための設計図として紙粘土などであらかじめ立体像も作っていたんです。特に目玉のところ、赤に白、青と丸が重なっている部分は、立体だと実際にどうなっているのか、色々試行錯誤して、赤い球体の中で白目の部分は凹んでいて、そこに青目の部分が膨らんでいるという形にしました。これが立体のデザインの肝かなと思っています。この目の部分については公式ロゴをデザインしたシマダタモツさんにも相談をしました。

見えないところの努力が凄まじいです。

いえいえ、そういう手間をかけるのが楽しいだけなんです。そういう準備をした上で、実際のイラストや立体の図面を仕上げていきました。もともと公募に出した人体型のキャラクターは両手を顔に沿わせた「ロゴマークを見て」というポーズだったのですが、それ以外にも29ポーズ全て私が描きました。魂を込めてどれも可愛く感じてもらえる様に描きました。
それと立体用に改めて6面図を描き直したり、着ぐるみの設計にも携わりました。着ぐるみでは、先ほどの目玉部分の設計や、お腹の膨らみやお尻の丸み、そのお尻についているしっぽの部分が揺れやすいように、などな

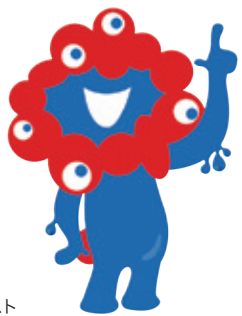
★後日この絵本の発売が発表されました。
『ミャクミャク誕生ものがたり ミャクミャクと…』



ど平面のイラスト以上にかわいさを強調するように調整をお願いしました。着ぐるみメーカーの職人さんたちと相談しながら丁寧に作り上げていたった感じです。

なるほど。実際すごい人気が出ましたよね。当初の「キモい」から「キモかわいい」そして「かわいい」と評価が上がっていきましたが、それはやはり、デザイン上の細かな調整の賜物なんでしょうね。

優等生的なものより、ちょっと癖のあるものの方が愛着がわくというものもあるかもしれません。また、ミャクミャクというネーミングがよかったのでしょうね。これは私が名付けたものではなく、公式キャラクターのデザインが決定した後、一般公募の中から選ばれたものです。私も審査員として参加したのですが、この「ミャクミャク」という響きと言葉の意味がすごくよく、私も推していたので最終的にこれに決まって本当によかったです。それと、ロゴマークからキャラクターデザイン、そしてネーミング、その都度のプレス発表と、5－6年かけて色んな人が携わってやってきたその時間に意味があったと思います。途中コロナ禍があって本当に万博できるのかという不安のあった時期を経て、開幕してみなさんが会場で体験してくださった、その中で育まれてきたものが大きいと思います。万博協会も、一定のルールを設定して二次創作を認めていたので、色んな方が自分のミャクミャクを作って楽しんでいる、それが良い流れになっていったのではないのでしょうか。だから、ミャクミャクの人気は、私だけではなく、本当に万博を通じてみなさんが参加して作り上げたものだと思いますし、そういう愛され方をしていることが、私も本当に嬉しいです。



ミャクミャクのポーズイラスト
画像提供：2025年日本博覧会協会 ©Expo 2025

●大学では図書館・版画室・Macルームに 入り浸り

時間を遡って、学生時代のお話をうかがいます。大阪芸大に進学されたのはどうしてでしょうか？

いわゆる転勤族の子どもで小学校を4つ変わりました。そんな中、内向きな性格になっていったのですが、絵や工作が大好きで、小5の時に絵で食べていこうと決めました。高校も美術系に進学して、当然大学も、という流れで。父親には反対されていましたが、それしかできないからと。大学では人付き合いが苦手でうまく馴染めず、最初のころは居場所がなかった感じでしたね。大好きだったアニメや音楽、映画などを通じて知り合った友人が多く、同じ大阪芸大でも他学科にも友人ができるようになりました。大学では、授業以外の時間は図書館にこもって、色んな本を読んだり、画集を見たり、CDを借りて音楽を聴いたりしてました。

アルバイトではどんな仕事を？

画材代を稼ぐために、短期の肉体労働なんかもしましたが、基本的に将来絵で食べていきたいというのがありましたので、極力、絵に関係する仕事をしていました。アメリカ村の古着屋では、チラシやTシャツ、店の内装など、デザインの仕事をさせてもらいました。漫画も描いていて、別冊マーガレットの投稿で賞をもらったこともありました。

楽しそうですね。バイトが忙しいと大学はサボりがちになったりとか？

それはないです。大学では機会や施設をフル活用しようとしてました。図書館だけでなく、暗室、版画室の設



「ふしぎだいすき」キャラクター・アートディレクション (e テレ・小学3年生理科)

備もよく利用しましたし、当時DTPの黎明期で大学のMacの置いてある部屋もよく利用しました。

専門は版画だったんですか？

そうです。油絵は家でも描けるし、大学でないとできないことをしようと思って。それと、絵で食べていくと言っても、卒業していきなりファインアートでは難しいと思い、元々興味のあったデザイン寄りの版画作品を制作していましたね。

●震災から上京までの激動期

卒業後はどうされたんですか？

デザイン会社に就職しましたが、すぐに辞めてしまいました。Macでデザインするって聞いていたので勉強できてると思っていたのですが、ほとんど触らせてもらえる機会がなくて。学生のころアルバイトしていた古着屋のオーナーを通じて、全国にある古着屋の内装や看板などを作ったり、雑誌などのデザインの仕事を一人でやっていくことにしたんです。ところが、少し軌道にのりだした23歳の頃、阪神淡路大震災があって、デザインの仕事は全くなくなってしまい、出資を受けて神戸で古着屋をすることになりました。1年の1/4くらいはアメリカやヨーロッパの片田舎を一人で廻って古着の買い付けをしながら、お店とデザインの仕事を29歳くらいまでやってました。30歳を前に後悔のないように、本当に自分のやりたいことだけをしようと考えました。震災直後、衣食住に直接関わらないデザインやアートってほとんど必要とされなかった、ぜいたくなんだと痛感させられましたが、一方でお店を運営する中でデザインの注文もどんどん増え



「驚異の大恐竜博 2004」マスコットキャラクター（日本経済新聞・テレビ東京）

てきました。神戸の街も落ち着いてきたと感じ、もうそろそろデザインと絵だけに集中したいって。それで古着屋を畳んで、東京に出ることにしました。

あてはあったのですか？

古着屋時代にも大阪と東京のギャラリーで個展をやったりしていました。イラストも写真もデザインもやりたいし、展示用の什器も自分で作れるし、インсталレーションにも興味があったので、オリジナルデザインのレコードやCDのジャケットをいっぱい並べてレコードショップを模した展示をしました。本当のレコード屋さんと勘違いして入ってくる人もいたりしましたが(笑)、大阪では好評でしたが東京では並の評価でした。それもあって東京で試したいと思いました。雑誌の記者の方に関心を持ってもらったり、次の仕事につながるような色んな出会いがありました。それと古着の買い付けで海外にいつも出ていたので、東京は日本の中で一番世界につながっている街だと感じていました。小学生の頃東京に暮らしていた時期もあり、気負うようなこともありませんでした。そういうことを感じながら、やれるとこまでやってみようとして上京したんです。出版社からの依頼で漫画や本の装丁をしたり、生き物をモチーフにしたオリジナルキャラクターのグッズのデザイン制作や、自分でデザインした文房具や食器などを製造して美術館に卸したり、事務所に並列したギャラリースペースをオープンしたり、そんな中から企業からデザイン依頼が来るようになり、色んなことをしてなんとか食べていけるようになりました。



©mountain mountain

PROFILE 山下浩平 Kohei Yamashita

デザイナー・絵本作家。
1971年生まれ、神戸出身。兵庫県立明石高校美辞術科、大阪芸術大学美術学科卒業。
「マウンテンマウンテン」名義でグラフィックやキャラクターのデザインを主軸に様々なデザイン制作を行う。
「やましたこうへい」名義で主に生き物をモチーフにした絵本や児童書の創作を行う。
絵本に「きょうりゅうゆうえんち」(ポプラ社)、「ちびクワくん」(ほるぷ出版)、「かえるくとけらくん」(福音館書店)など多数。
2025年日本国際博覧会公式キャラクターデザイン最優秀賞受賞。

絵本作家としてのお仕事のきっかけは？

絵本には元々興味があったんです。自分の本を出したいと思って。2000年頃に、オリジナルのキャラクターを使った、絵本のようなカレンダーをメーカーさんに出していたものが、出版社の編集者の目に止まり、一緒に絵本を作りませんかと声がかかりました。2004年頃のことです。最初は、他の作家さん作に、私が絵を担当する共作のものが多かったのですが、最近は作も自分で書くようになりました。キャラクタービジネスについて勉強もしていたので、出版以外にも色んな展開に対応できるようにしてきました。それ以降、1年に1冊以上絵本を出すことを目標にしていました。続けていくなかで絵本の難しさも思い知らされながら、最近やっと本当に絵本についてわかってきたのかなと感じています。

とにかく好きな絵の仕事を続けていきたい

最後に今後の目標について教えてください。

万博では、自分がやってきたキャラクターデザインの経験の多くを出しました。どこか達成感もあって、貴重な経験をさせてもらいましたが、2023年の春にはその仕事は終わっていたこともあり、私自身としては、もう既に次のことに進んでいます。万博の経験と学びを活かしつつ、本来の自分のやりたいことをこれからも突き詰めていきたいです。

具体的には、まず絵本。これまで虫や恐竜といった実在の生き物をモチーフにした作品が多かったのですが、

さらにキャラクターを生かした絵本に挑戦したいなと思っています。すでにたくさんのアイデアやラフを作っています。今回のミャクミャクのデザインも同時期に考えていた絵本のアイデアが元になっているんです。デザインって旬のもので、瞬発力があるものですよね。それに対して、絵本は流行に左右されず残してゆける可能性のあるもの。自分の死後も読み継がれるような本を一冊でもいいから残したいと思い励んでいます。でもそれと同時に、今まで自分がやってきたデザインの中に絵本の仕事を融合させるような試みにも挑戦したいと思っています。

ともかく、好きなことをやり続ける、描ける限りは絵を描く、そうしようと震災の時決めたので、少しでも長く続けていけるように努力していきたいと思います。

本当に貴重なお話をたくさんお聞かせいただきました。楽しかったです。ありがとうございました！

文責：企画広報委員会 委員長 東陰地 正喜



手がけた絵本や児童書



連載まんが「おばあちゃんとかめ」(神戸新聞社)

ハンガリー国政府よりハンガリー国 騎士十字功労勲章受勲

(ミュオグラフィアートプロジェクト貢献により)

大阪芸術大学・非常勤講師 中島 裕司 (博士・芸術)

2024年10月ハンガリー政府より、名誉あるハンガリー国騎士十字功労勲章受勲が決定しました。日本人にとって、フランスはなじみが深いのでレジオンドヌール勲章と言えば皆さんご存じと思いますが、今回私に授与される勲章はハンガリー政府が授与する最高ランクに属する非常に名誉ある勲章です。推薦を受けてから何度も閣議を経て1年くらいかけて決定されました。受勲の理由は、「ミュオグラフィアートプロジェクト」をアートの要として推進し、ハンガリー国に大きく貢献したということでの授与です。絵画の博士号(大阪芸術大学)を持っている者として、個人的な名誉もありますが、母校に恩返しした気持ちも大きなものがあります。受勲理由のミュオグラフィですが、一般人には、あまり知られていないかもしれません。ミュオグラフィは日本と共にハンガリーが世界をリードしている最先端科学技術です。ミュオン(μ)という宇宙線素粒子の性質を利用して、火山、古墳、ピラミッド、原発等巨大物体の内部を非破壊で透視する非常に高度な科学ですが、日本は火山や地震大国さらに原発などの観点からミュオグラフィが今後さらに発展することが期待されています。現在ではミュオンを使って海底の位置情報や台風内部の動きやその他色々幅広い応用がなされています。これほど重要な科学技術にもかかわらず、一般大衆は全く興味を持たないし、ましてや理解はできません。難しい記号や数字や数式や言葉ではほとんど興味を示しませんが、アートは人間の本性として関心を持ちます。一方、科学者はアーティストの異能な作品に触発されてまた新しい科学の発見にもつながる可能性もあります。科学・アートの相互作用であり、現在は世界的な動きになってきています。

このプロジェクト(東京大学・関西大学)に携わってから10年くらい経過しています。国際ミュオグラフィ学会でミュオグラフィアートの講演も何度もしました。ここ数年はサイエンスアゴラ(会場:東京のテレコムセンター)でハンガリー大使館主催のワークショップを行っています。また、大阪・関西万博のハンガリーパビリオンで講演会(7月)とシンポジウム(9月)

ハンガリー国
騎士十字功労勲章

も実施しました。また、毎年3月にグランフロント大阪で、ミュオグラフィアート展(いろいろなジャンルのアート作品)を開催して鑑賞者に啓蒙活動とアーティストに作品制作し、展示する機会を提供しています。大阪芸大関係者(私が教えた学生や副手それと同窓生)にも参加してもらっています。私自身、今まで200枚ほど試作も含めて、いろんな表現で制作してきました。ここ数年はシュルレアリスム表現作品を発表しています。(ミュオグラフィのキーワードは透視、なので目シリーズの絵画)アートと科学の融合。アートは単なる趣味



ミュオグラフィアート作品

でなく、もっと人間の奥深く入り込んでいる非常に重要な人間の営みです。日本はもっとアートの重要性に気付いて、また美術界も旧態依然の体質から抜け出しもっともっと幅広く奥深く世に貢献して欲しいと思います。このプロジェクトは国際的になりつつあります。私は通訳(英語)の免許も持っているので、芸術の専門、大阪芸大にも関わってもらってさらに貢献できればというのが私の願いです。



中島 裕司(なかじまひろし) Ph.D.(fine art) Hiroshi NAKAJIMA

5歳より油絵を習う
(現)大阪大学・(現)大阪公立大学卒
武蔵野美術大学(中退)にて美術科免許取得
大阪芸術大学大学院後期博士課程修了
博士(芸術制作) 専門: 油彩画・テンペラ画・美術教育
日本美術家連盟会員・高校教諭・支援学校教諭を経て、大阪芸術大学・非常勤講師
ホルベイン・アドバイザー・各種コンクール審査員
約10年前より東京大・関西大ミュオグラフィ・アートプロジェクト推進
ミュオグラフィアートプロジェクト貢献でハンガリー国騎士十字功労勲章受勲

國父纪念馆(台湾)、日台文化交流二人展(大阪府立現代美術センター)、台日当代青壮美術家六人展(台湾・台中県立港区芸術中心)
日台絵画文化交流二人展(リーガロイヤルホテル・ギャラリー)、日・台・中4人展(朝日新聞社アサコムホール)
その他 あべのハルカス百貨店画廊、国内外個展多数、各種公募展・コンクールグランプリ賞等受賞・入選多数
耳原総合病院壁画制作、登録有形文化財である蟻通神社本殿板絵制作、『アートって何だろう』(翻訳)(保育社)厚労省推薦図書受賞等

連載企画

あそこ、あの場所で、 写真につづられた思い出

Part 6

■構成・文責／企画広報副委員長 和田 貢 ■調査・取材・撮影／大阪芸術大 学客員准教授 平松 佑介
■写真提供／池内 健さん 昭和52年度 芸術計画学科 卒業 ■写真提供／フォトスタジオトキワ

校友会事務局に3枚の写真が送られてきました。Wingsの『あそこ、あの場所で』の企画に投稿いただいたものです。昭和49年から51年辺りに芸大キャンパスで撮影された写真です。投稿いただいた方は、昭和52年に芸術計画学科を卒業された池内健さんです。早速、大阪芸大今昔を調査・取材に行ってきました。



まず1枚目の写真は12号館学祭ステージです。12号館前でされた学園祭ステージの写真でしょうか。12号館は20年ほど前に耐震補強を含めた改修工事が行われていますので、基本的な構造は以前と同じように見えますが柱の数が増えていたり、外壁はタイル張り変わってい



たり新しい校舎に生まれ変わっており、現在は初等芸術学科が使用しています。12号館前の広場は以前駐車場になっていて、学園祭などではステージが組まれていました。現在ではスクールバスが芸坂を登るようになりまして、バスの停留所として使われています



2枚目は11号館です。こちらも学園祭で的一幕でしょうか？大勢の方が行き交う賑やかなキャンパスです。撮影されたのは12号館側から11号館を望んだカットです。こちらのカットは現在撮影した写真と見比べても大きな変化はありません。第一食堂の入る11号館で見覚えの



ある特徴的な螺旋階段やUFO型の天窗は現在でも健在です。画面左奥には建築学科の入る15号館と、写真学科の入る16号館が見えますが、現在では樹木が大きく育ち15号館は見えなくなっています。



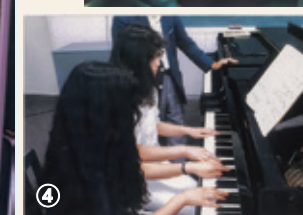
最後は天の川通りです。7号館の奥から天の川通りを見下ろすカットです。画面右側は大きく風景が開けており、18号館や19号館が見えています。現在では20号館が建設され、街路樹も大きく育ったことで右奥の風景を望むことはできなくなっています。また当時は大学の一番奥から撮影した写真だったと思いますが、現在では教務課の入る9号館、デザイン学科の10号館、体育館や芸術劇場などキャンパスは大きく広がっています。画面左側にわずかに入っている7号館には現在映像学科の映画館が設置されています。



アルバムに残された青春

1989年「夢彩色」より

今まで、卒業アルバムより沢山の懐かしい写真を紹介してきましたが、まだまだ紹介しきれていない写真があります。今回は1989年の卒業アルバム「夢彩色」より懐かしい写真を紹介します。

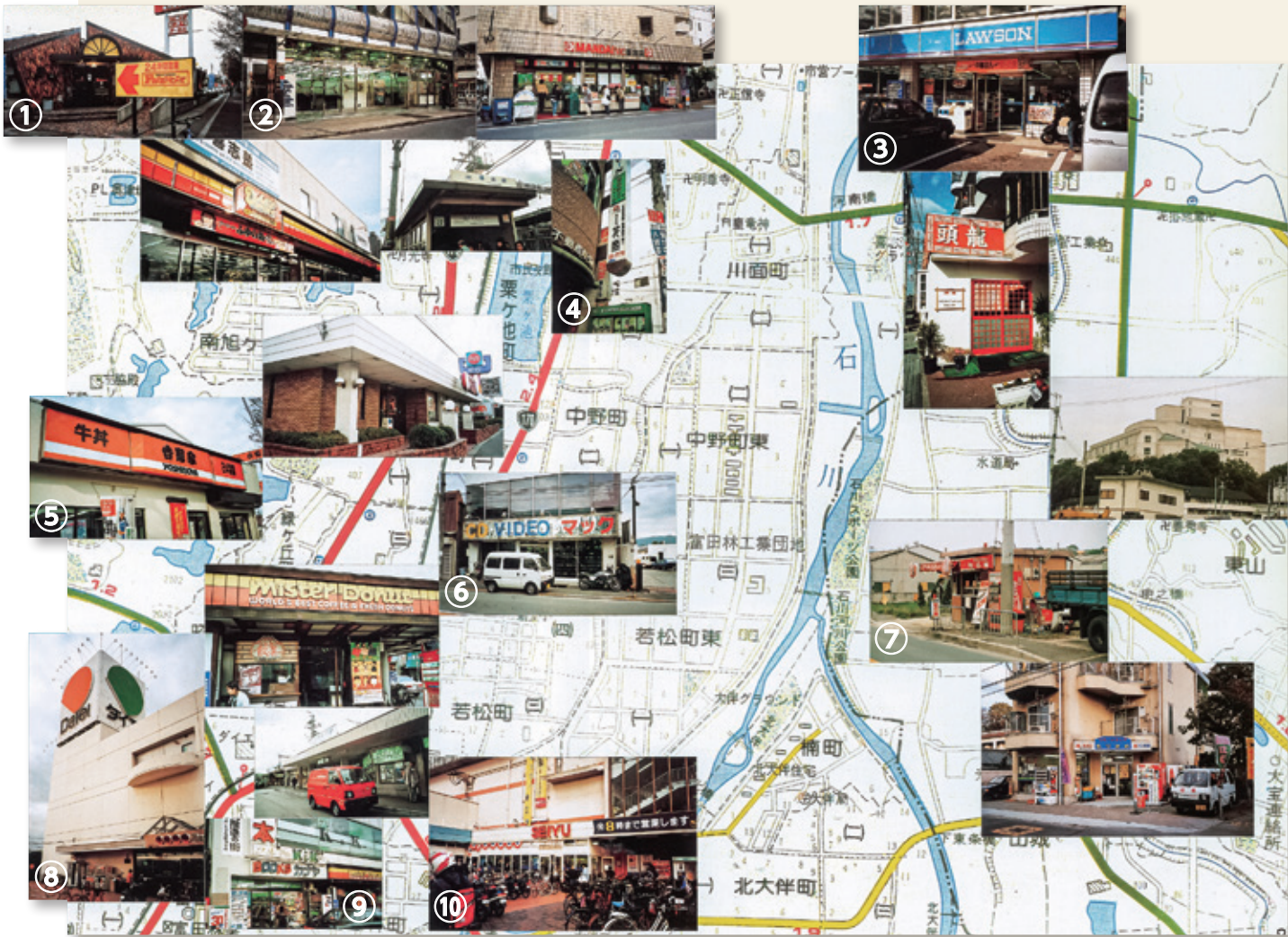


①美術 ②文芸 ③建築 ④音楽 ⑤放送 ⑥⑩工芸 ⑦舞台芸術
⑧映像 ⑨情報センターのパイプオルガン



地図から見る『あそこ、あの場所で』

当時、学生街には生活の一部として、また思い出の場所として周辺にはいくつものお店や施設などがありました。このページではアルバムの中で見つけた、当時の周辺紹介MAP。そのMAPをもとに別視点で紹介してみます。MAPに記され、記憶の中に埋もれてかけていた懐かしい店舗や施設。今回はその周辺MAP今昔を紹介します。※確認できたものだけ記載します。尚、現在の店舗や施設の撮影は、ロゴや看板など「商標権侵害」の可能性がありますので、撮影はしていません。興味のある方は、現材の店舗名と住所を記載しましたので、グーグルマップのストリートビュー等を参考にご覧ください。



① フレンドリー	現在：喜神菜館 喜志本店 (中華料理店)	富田林市喜志町5-4-10
② 第一会館	現在：スーパーダイイチ (パチンコ)	富田林市旭丘町9-31
③ ローソン	現在：にじいろふぁーむ (野菜栽培)	南河内郡太子町
④ 不動産取引所	現在：Hcolor (白髪染め専門店)	富田林市喜志町3-11-2
⑤ 吉野家 (富田林店)	現在：富田林わっしょい (ラーメン店)	富田林市昭和町1-4-7
⑥ CD VIDEO マック	現在：フィットネスクラブ アシスト24	富田林市常盤町10-7
⑦ からあげ たこやき (店名は不明)	現在：レトロギア駐車場 (中古自動車販売店)	南河内郡河南町一須賀523-1
⑧ ダイエー 富田林店	現在：コノミヤ富田林店 (スーパーマーケット・複合施設)	富田林市昭和町1-7-1
⑨ Books カナヤ	現在：ローソン近鉄富田林駅前店	富田林市本町18-19
⑩ スーパー西友	現在：関西スーパー富田林駅前店	富田林市若松町1-5-15

塚本学院校友会 読者プレゼント企画
大阪美術専門学校偏

第2回『あのとこの、この場所はどこ??』 今回は大阪美術専門学校の写真からです。
アルバムで見つけた、この場所はどこでしょう?
クイズ正解者には抽選で校友会オリジナル商品が当たります。



1

2

3

4



① wings オリジナルタオル

② 塚本学院校友会オリジナル小物入れとストラップ 抽選で各10名様

問題

①から④までの写真が撮影された場所、または関係している学科などを答えて下さい。回答は複数あると思いますが、どれでもひとつ当てはまれば正解です。4問中2問回答で応募できます。
応募方法は下記に明記していますので、チャレンジしてください。
当選は商品の発送をもってかえさせていただきます。
また、正解は2026年4月以降の校友会WebとWings48号で発表いたします。

wings 読者プレゼント企画 前回の答え (2025年度46号)
第1回『あのとこの、この場所はどこ??』

- 1. 11号館出口 (天の川通りの出口)
- 2. 文化倶楽部連合部室
- 3. 美術学科
- 4. 工芸学科 (17号館)
- 5. 7号館文芸学科合同研究室
- 6. 11号館第1食堂入り口の右の壁

※これ以外でも当てはまる回答があり、正解といたしました。
※応募総数が10件、正解が8件、今回は応募いただいた方全員 (10名) に商品をお送りしました。
おめでとうございます。

■応募方法

※『あのとこの、この場所はどこ??』の回答はwingsに同封の通信ハガキ (通信欄に) または市販のはがきに住所・氏名・年齢・塚本学院の卒業学校名・卒業学科を添えてお送りください。また、皆さまからの『あそこ、あの場所で』も募集しています。写真に撮影場所やエピソードなど添えて、校友会事務局まで、お送りください。(メール可) 取材させていただきます。
塚本学院校友会事務局 『あそこ、あの場所で』係
〒546-0023 大阪市東住吉区矢田2-14-19
E-mail : tgkouyukai-3@giga.ocn.ne.jp

I miss my university professors.

あのころの先生は今…『先生に逢いたい』 新企画

文責／取材：企画広報副委員長 和田 貢 取材：企画広報副委員長 竹垣 恵子

■ 林 康夫先生 大阪芸術大学教授 大阪芸術大学大学院 芸術制作研究科担当 退職後名誉教授

学校生活の大半は教室での授業。お世話になった先生や思い出に残る先生など、あの頃に思いを馳せれば、お会いしたい先生がいると思います。今回は、そんな思いを胸に当時、教鞭をとっていらっしゃった先生方2名をお尋ねしました。

まず、ご紹介するのは、林康夫先生。芸大草創期の1968年から塚本学院で教鞭をとられ1999年大阪芸術大学大学院芸術制作研究科担当（退職後名誉教授）となられ数多くの国際陶芸展グランプリを受賞された林康夫先生です。

林康夫先生には、校友会企画広報副委員長の竹垣恵子（前 工芸学科教授）がお会いしてきました。

諸々の事情により、対談での取材はできませんでしたが、林康夫先生からは原稿をいただきました。原文のまま掲載いたします。

大阪芸大の思い出

私が大阪芸術大学に籍を置いたのは1968年の4月です。丁度一回生の卒業と入れ替わりとなりました。芸大草創期の困難な時期、教師の件で鈴木治氏から電話があり、「俺一人ではやれないから手伝って欲しい」と言うものだった。内定の段階で、村松寛氏を近鉄阿倍野駅で鈴木氏と共に待ち合わせ、喜志駅へと向かった。生駒山が見えなくなってえらく遠い所に行くんだと言う印象が、今も強く残っている。あの頃山科から大阪芸大まで3時間30分掛かりました。

喜志駅から教員バスで大阪芸大に到着した。そこで見たものは、これが「大学」と言うものか？と言う風景であった。特に、陶芸科実習室は他の工芸科実習室と比較して、見るに耐えない哀れなものでした。これでどうして実習が出来るのか、今までの4年間は??と驚きました。鈴木治氏が芸大専任、私は短大専任兼芸大担当となり授業が開始されました。轆轤ろくろが学生の数（4～5人）に2台だった、カリキュラムの内容を鈴木氏と協議して、有効に活用しました。しかし問題は「窯」で倒煙式の小型石油窯1基、焼成すれば温度差分布が大きく3段階に分かれる難物でした。翌年鈴木氏が京都市立芸大に移ったので、私が芸大の専任となりました。陶芸コースの設備は初期型の電気窯10kwが1基新設されたのみで、これという増設が何も無く苦難が続いていました。折から学生数が増加傾向に入ってきて、これは大変と思いました。



林 康夫先生（左）、本誌 企画広報副委員長の竹垣 恵子（右）

ファエンツァの国際陶芸展で日本人で初めてのグランプリを獲得

1972年、イタリア・ファエンツァの国際陶芸展で思いがけず、拙作が日本人で初めてのグランプリを獲得しました。GP受賞は'73（カナダ）、'74（フランス）そして'87（ポルトガル）と続きました。

この受賞が大阪芸大理事長・学長の耳に入ってから、陶芸研究室への対応が大きく変わり始めました。設備の新規増加がすんなり通る様になりました。電気窯の新式大型化増設、ガス窯新設、轆轤の定数化、ムロの新設、施釉設備その他些細な器具類の準備が整うようになり、今日に至る陶芸実習室の基礎を作ることができました。高校生の受験大学の見学会にも、充実した設備に安心した生徒もいた様です。

その後の学生数の急増も部分的には大変でしたが、学生諸君には基本的にまともな陶芸実習が出来たと自負しています。着任当時の事を思えば、プロの陶芸家が責任を感じないわけに行かなかっただけです。

一つ出来なかったことがあります。それは薪を炊く素焼き窯を作り、学生に、わり木で素焼きをする「実習」をさせたかったことです。広い大学の校内でどこかに小さな小屋を建て、煙、炎を実感させたかったのが心残りではあります。

70歳の定年になった時、造形研究大学院が発足しま



（左上）授賞式（ファエンツァにて）
（右上）審査員全員一致で受賞が決まる
（左下）グランプリ受賞作品

したので、そちらに移籍した為に実技の院生修了まで追加1年嘱託教授として通いました。新任の頃、10年で1人の作家が生まれれば上々と学内上層部の先生が発言されていましたが、今どうでしょう、若い人が各方面で大活躍して居ます。

オペラ牡丹亭の舞台美術担当（ニース・カンヌ）

最近、インバウンドとかで外国人の訪日すごい人数になって居ます。この人達の訪日の目的は多種多様と思います。単なる観光が一番多いかも知れませんが、今から25年前にあった事をお伝えしましょう。

2000年8月京都のギャラリーで個展を開催して居ました。某日ふらりと外国人男性が来廊、それほど熱心に作品鑑賞をして居た印象が無いのですが、個展終了後に拙宅にて談合しました。彼はお能の話の家内としばし談じて居ましたが突然態度を改めて、「作品のポジ」を拝借したいと申し出ました。目的は「オペラの舞台美術に使いたい」と言います。彼はフランスの音楽家で指揮者でした。



オペラ牡丹亭の舞台美術担当

技法はポジをコンピューターに移して映像として舞台で拡大して使用するという。これは面白いと言う事で即断OKしました。

本人希望の7点のポジを選択しました。オペラは中国明時代の戯曲を彼が翻案して作曲したもので、タイトルは

「牡丹亭」。公演時間は1時間余。会場はニースとカンヌの大劇場で各二回公演されました。舞台では小学生が500人オペラに直接参加して、オペラを早くから身につけるような教育が実施されている事です。ですから会場は全四回満員の盛会でした。この事実は、大昔の話ではなく、私の73歳の時に実現したものです。今訪日している外国人が何を求めて来ているか？を考える良い材料と思います。制作者として想いもよらぬ事が実現したのです。この時彼が決めた拙作のテーマは、父の死を看取った時の印象を作品化したもので、芸大在職中65歳の時父が他界しました。

作品が彼のオペラのテーマにぴったり合っていたので繋がったと言う事です。表現者は自分の思う事を素直に作品化しておけば、このようなお伽話が実現すると言う事。因みに、フランス往復航空券2名分、滞在期間宿泊費1カ月食事付。オペラ終演後、カンヌの例の舞台で私は花束を頂きました。良い思い出です。

あとがき

林康夫先生は芸大草創期より幾多の困難を乗り越えて、現在の陶芸実習室の礎をつくりました。

90歳半ばを過ぎても、まだ現役で頑張っておられます。2024年には日本陶磁協会賞「金賞」を受賞。受賞を機に新たに作品展を開催すべく、今年（2025年）は精力的に創作活動に取り組んでいます。そしてかねて工芸学科の教授で本誌企画広報副委員長の竹垣恵子も林先生との交流があり、そのご縁で今回の企画が進みました。

林 康夫 はやし やすお

- 1928年 京都市に生まれる
- 1947年 「四耕会」結成に参加、全展に出品
- 1950年 現代日本陶芸展に出品（パリ・チエルヌスキー美術館）
- 1962年 「走泥社」に参加（1977年に退会）
- 1968年 大阪芸術大学助教授就任
- 1972年 大阪芸術大学教授就任（1998年まで）ファエンツァ国際現代陶芸展グランプリ（イタリア）
- 1973年 カルガリー国際陶芸展グランプリ（カナダ）
- 1974年 ヴァロリス国際陶芸展グランプリ・ド・ヌール（フランス）
- 1982年 ヴァロリス国際陶芸展 ヴァロリス文化芸術協会賞（フランス）
- 1984年 ファエンツァ・マエストロに推挙（イタリア）
- 1987年 オビドス・ビエンナーレ グランプリ（ポルトガル）
- 1998年 京都市文化功労者
- 1999年 大阪芸術大学大学院芸術制作研究科担当（退職後名誉教授）
- 2001年 オペラ牡丹亭の舞台美術担当（ニース・カンヌ）
- 2022年 京都府文化賞 特別功労賞
- 2024年 「林康夫 浪江に捧ぐ」展（益子陶芸美術館）紺綬褒章受賞
- 2025年 日本陶磁協会賞金賞受賞 大英博物館に作品収蔵

推薦者：田村 昭彦

I miss my university professors.
あこのろの先生は今…『先生に逢いたい』

■ 持田 総章先生

浪速短期大学デザイン美術科講師～

大阪芸術大学芸術学部美術学科長 退職後名誉教授

活躍の原点は継続にあり

次にご紹介するのは、版画家であり美術家、現在大阪芸術大学の名誉教授の持田総章先生です。

2025年5月7日より7月5日まで開催の大阪市北区にあるICHION CONTEMPORARYにて展覧会『持田 総章《LOCATION》クロニクル Sein und Zeit』に取材に行ってきた。



大阪を拠点に半世紀以上活躍してきた持田総章先生。1970年代から今日に至るまでの最新作を通じて「人間の存在が、世界や物質にどう意味を与えるのか」という主題に対する思考と実践の変遷をたどる初のクロニクル形式の作品展で、代表作である《LOCATION》シリーズはフェルトという空気を内包した柔かな素材

に焼縺をあてることで、フェルトを炭化させ空気を拒絶する面を作るのと同時に、その刻印は誰かの存在を記す「記憶」へと変化します。夢や希望の象徴でありながら戦争兵器としての側面もある飛行機、人間の存在を暗示させる椅子、投棄されたポリタンクの欠片。これらの歴史的・社会的な背景を含んだモチーフや素材とそれぞれに象徴的な意味を持った原色で構成される作品は、時代を経るごとに意味が変わり鑑賞者によって捉え方が変わります。90歳を超えてなお活躍される先生の現在に至るまでと「これから」に向けての展覧会です。

——本日はお時間をいただきましてありがとうございます。
90歳を超えてなお現役クリエイターとして活躍されていますが、教鞭を執っていたころのお話や、卒業生に向けてのお言葉をいただければと思います。

持田先生：私は浪速短期大学デザイン美術科講師をしていました。その後、大阪芸術大学の設立に向けて、当時の塚本英世学長より、浪速芸術大学芸術学部講師として、大阪芸大の設立メンバーのひとりに選ばれました。当初、創立メンバーに若い人は3名位いましたが、その中でも私は一番若い教師でした。講師をやりながら大学の設立に必要な様々な認可手続きや、立ち上げのための準備やらで、大変忙しい日々でした。草創期から2002年に退職してからも、様々なかたちで、大阪芸大と関わって



持田先生と作品 『LOCATION 空気』※

きましたから、大阪芸大の生き字引だと言っても過言ではありません（笑）

1966年に浪速芸術大学から大阪芸術大学に改称され、1969年大阪芸術大学芸術学部助教授、大阪芸術大学芸術学部教授、1997年からは学科長を兼務の傍ら大学院の設立に携わり、大阪芸術大学大学院芸術制作研究科長を経て大阪芸術大学芸術学部美術学科長を歴任しました。



Work



LOCATION A



↑上・中・下 LOCATION 空気

——経歴を拝見しましたが、その間、コンクール受賞の出品やギャラリーでの個展など精力的に創作活動をされていますね。

持田先生：私は創作活動を長く続けています。卒業生の皆さんの中にも、素晴らしい活躍をなさっている方を沢山お見かけします。ですから僭越ながら、私の経験から少しだけ助言させてもらえかと思います。私が常に心がけている事は、制作の主題を決定したら執念をもって続けること、いわゆる『継続』することです。芸大に夢をもって入学し、今後進むべき道を見つけ、学んだことを活かし社会にでてゆく皆さんは、様々な困難や苦労にも直面するでしょう。自分のやりたかった事と違う選択肢を選んでしまっても、そこで立ち止まっていないで、思考の変換を試みるのも良いかもしれません。ただ、コースを変えても、へこたれず、また執念をもって打ち込む事、すなわち『継続』です。継続しないと満足で
きる結果は出ません。ただ、ひとつの事にめげずに打ち込むのは、大変なことだと思います。突き進む過程には、周囲から色々な意見や反発が出るはず。私がやろうとして来た事にもありました！でも続けることで何かが見えてきます。是非を問う事に執着しない事も大切です。



戦争体験から得た活動の基盤

持田先生：継続は生きることに関係していると思います。生きることの根幹は物事の存在や活動の基盤となっていると思います。このことを言えるのは、戦争の体験からです。終戦の時、私は小学生でした。焼野原の東京で、生きてゆくことの厳しさを生で経験しましたから。今は誰も、そんな惨めな生き方をする必要はないのです。現代は創意ある生き方が出来る時代です。選んだ道をつき進めること、継続することの根強さですかね、それが大切だと思うのです。大きな目標を持つのも良いですが、まず目のやりたいことを継続する。それが大きな成果に繋がれば良いのではと思います。

——持田先生、お忙しい中、大変ありがとうございました。

取材：文責 和田 貢



※モチーフの解釈

「飛行機」"Airplane"「飛機」

飛行機は「空を飛ぶたい」という夢を形にした道具であり、行動や認識に新たな可能性をもたらした。しかし現在では、平和利用にとどまらず、戦争の手段としても使われている。発明も使用も人間によるものであり、その選択は、人間の存在に対する根本的な問いを投げかけている。飛行機がモチーフになっている作品は、物と人間の関係を映し出し、政治的・社会的問題への静かな問いを含んでいる。身近な切迫感を世界の人々がユートピアに転化できれば。

持田 総章 もちだ そうしょう

1934年生まれ東京都出身 現在 芦屋市在住
1962年6月 浪速短期大学デザイン美術科講師
1964年4月 浪速芸術大学芸術学部講師
1966年4月 大阪芸術大学に改称
1969年4月 大阪芸術大学芸術学部助教授
1981年4月 大阪芸術大学芸術学部教授
1997年4月 大阪芸術大学大学院教授／
大阪芸術大学大学院芸術制作研究科長
(2003年3月まで)
1998年4月 大阪芸術大学芸術学部美術学科長
(2002年3月まで)

展覧会

1975–2023まで Ge展に出展
1979 米国 日本現代版画展 アズマギャラリー (ニューヨーク)
1980 大阪 コンクール受賞作家展 大阪府立現代美術センター
大阪まがいものの光景展 国立国際美術館
1981 大阪 現代のトップランナー達展 ナビオ美術館
1984 埼玉 現代のリアリズム 埼玉県立近代美術館
1986 米国 個展 ミネアポリス美術デザイン大学(ミネソタ)
1990 仏国 芸術の相互作用展 テレポートセンター(ボワチエ)
1999 大阪 ピアノ+異空間 フェニックスホール
2004 大阪 個展 大阪芸術大学
2010 大阪「かたちのおから」大阪市近代美術館準備室
2011 兵庫 個展 尼信博物館
2013 大阪 コレクション展 国立国際美術館
2014 大阪 個展 画廊ぐらんしゅ
2015 韓国 個展 ソウル市立美術館(ソウル)
東京 個展 ぎやらりー由芽
2016 大阪 個展 GalleryH.O.T
奈良個展 ギャラリー勇斎
2018 大阪「大阪版画百景」江之子島文化芸術創造センター(版画)
2019 大阪「第11回あかり作品展」Galleryキットハウス
2021 兵庫 個展 楓ギャラリー
2022 大阪 個展 LADSギャラリー
2023 大阪「日本現代美術の足跡と未来」
ICHION CONTEMPORARY
2024 大阪「日本現代美術の足跡と未来」
ICHION CONTEMPORARY
2024 大阪「戦後美術コレクション展」
ICHION CONTEMPORARY

推薦者：田村 昭彦

塚本学院創立80周年記念事業 新たな名所が芸大に誕生！

輝くスターへ！ 芸術劇場の緞帳がリニューアル

大阪芸術大学芸術劇場の緞帳が新調され、9月17日にお披露目式が行われました。

開式が宣言された舞台では、暗幕を背景に舞台芸術学科の4人の学生が学外公演ミュージカル『夏町』より「続く夏のブルース」を歌唱するオープニングアクト。歌の終わりとともに溶暗した舞台が、少しの時間をおいて明転、そこには新しい緞帳が現れていました。

効果的な演出に観客から「おお！」という感嘆の声が起きました。



オープニングアクトの様子

新しい緞帳の原画は、美術学科長の村居正之先生（日本芸術院会員）による書き下ろし「STAR」。青の濃淡で描かれる古代ギリシャの劇場遺跡、その背景の夜空には星々が輝いています。川島織物セルコンの丁寧な仕事によって幅16m×高さ10mを超える緞帳へと織り上げられました。



村居 正之美術学科長（左）と山本 健翔舞台芸術学科長（右）

塚本英邦副理事長が挨拶に立ち、制作の経緯を語ります。

続いて舞台芸術学科長の山本健翔先生が舞台上がり、緞帳の前に村居先生を招き入れます。山本先生は、村居先生の画業を「青の水墨画」と評し、「日本画で描かれた古代ギリシャの神殿や劇場はわれわれ舞台人にとっての原点とも言える場所」と感謝を示します。村居先生は「夜空に浮かぶたくさんの星々のように、ここで学ぶ



お披露目された新デザインの緞帳

学生一人ひとりがスターとして輝いてほしい」と絵に込められた思いを述べました。

舞踊コース長の堀内充教授も舞台上がり、喜びを語ります。最後に堀内先生が振り付けをした「ローザス」が13名の学生により祝舞として披露され、閉式となりました。



閉会式の様子

緞帳のために染められた糸の余りで作られたキーリングの組紐が観客全員にお土産として贈られました。



緞帳の糸の組紐キーリング

大迫力の剥製博物館 芸大 Zoo がオープン！



（左より）近藤 幸久さん、後藤 治文理事、亀谷 眞一専務理事、塚本 英邦副理事長、工藤 皇理事、若生 謙二教授

大阪芸術大学31号館に大阪芸術大学 動物ジオラマ館「芸大 Zoo」が開館しました。100点を超える展示品は、25年5月に閉館した滋賀サファリ博物館から寄贈されました。

オープニングとなった10月1日には式典が開かれ、多くの関係者が招かれ、マスコミ各社の取材もあって賑わいました。

塚本英邦副理事長の挨拶に続き、滋賀サファリ博物館の館長だった近藤幸久さんと、動物園デザイナーで芸大 Zoo をプロデュースした若生謙二教授から、開館に至る経緯が説明されました。滋賀サファリ博物館は、幸久さんの父・近藤幸彦さんが世界中を飛び回り、各国政府の許可を得て狩猟してきた野生動物の剥製を展示する私設博物館でした。初代館長の幸彦さんから幸久さんが二代目として引き継いだものの、高齢になり管理・維持に悩んでいたところ、たまたま訪れた若生先生に相談し、芸大への寄贈がとんとん拍子に進んだそうです。

テープカットの後、入館した観客たちは口々に「すごい」「思った以上の迫力」と感嘆の声を上げていました。若生先生自ら高性能カメラを携え、アフリカ各地を巡り撮影した写真を背景にしたジオラマは、ガラスなどの仕切りもなく、リアルな迫力で引き込まれます。展示土台を観客の立つ床より少し高くすることで、動物を見上げるようにした工夫も効いています。規模こそ劣るものの、質ではアメリカ自然史博物館にも勝るとも劣らない見事な空間。すぐ近くで様々な角度から眺められ、毛並みや質感が詳細に分かるので、デッサンをはじめ学生の勉強に大きく資することでしょう。



開館日時

通常授業期間中の火曜日～金曜日の12:00～13:30
学外の個人（卒業生含む）が見学する場合は、庶務課で「見学申込書」に記入し、許可を受けてください。

阪神淡路大震災から30年 歌い継がれる音楽の力

「しあわせ運べるように」 作詞／作曲 臼井 真



大阪芸術大学 演奏学科
声楽専攻(現 声楽コース)1983年卒業

臼井さんの作詞・作曲オリジナル曲は400曲以上。大学卒業後小学校の音楽専科の教員になり25歳の時に作った「みえない翼」は神戸市の小学校の音楽会ではエンディングの定番曲として歌い継がれています。神戸市の小学校に通われた方には懐かしい曲でしょう。この曲を聴けば、その当時の音楽室や音楽会の風景、頑張って練習したことなどが瞬時によみがえることができ、音楽というみえない翼を忘れずにいて欲しいという願いが込められた合唱曲です。

そして、臼井さんの代表曲として今や世界中で歌い継がれる「しあわせ運べるように」1995年阪神淡路大震災の際、臼井さんが34歳の時に作ったこの曲は、最初は避難所でもあった勤務先の小学校で生徒たちと避難所の皆さんによって歌われ、やがて神戸の街に広がっていきました。

その後は毎年の震災の慰霊祭やルミネリエの点灯式、さらには神戸市の成人式でも歌われるようになり、令和3年には神戸市歌として制定されています。

また、災害に見舞われた日本各地の被災地で、さらには世界中の被災地でも翻訳され、歌い継がれています。阪神淡路大震災から30年、毎年の1月17日とその前後にはテレビや新聞で臼井さんと「しあわせ運べるように」を歌う皆さんが取り上げられています。大阪芸術大学の夏の「プロムナードコンサート」でも2021年にプログラムに取り入れられました。

震災30年のこの機会に改めて臼井さんをお訪ねし、「しあわせ運べるように」に込めた思いとその後の広がりのこと、また曲作りや学生時代の思い出についてもお話をうかがいました。

音楽科教員と曲作りへの道

幼少期にピアノを習い始め、その当時から即興で弾いたり歌ったりするのが好きでした。中学生の頃にエレクトーンを習い始めその後は当時流行した荒井由実さんなどのシンガーソングライターに憧れました。音楽大学に進学しようと思ったのは高校2年の頃で、大急ぎで実技や理論の勉強を始めました。その時に素敵な声楽の先生と出会い、声楽専攻を目指すことにしました。実は子供の頃から人前に出ることが得意なタイプではなかったので、声楽を目指すというのは意外な選択でしたが、その先生の導きで小学校教諭を退職した後、現在の神戸親和大学に勤務することになりました。人との出会いの大切さを感じています。

学生時代の思い出としてはぎょうぎゅうの学生バスで通称「さるおじ、さるのおっちゃん」に背中を押し込まれて乗り込んだこと。喜志駅近くの中華「北京」や天王寺のカフェ「ジロー」での友人達との寄り道。被り物や着ぐるみを着たままの他学科の学生達と授業を受けたこと。音楽の方では特別演奏会の合唱でモーツァルト「レクイエム」や客演で来て下さった外山雄三先生の指揮で「カルミナ・プラーナ」を歌ったことは貴重な経験でした。

クラシック音楽からの就職の道として教職課程を履修してい

ました。引っ込みじあん気味の自分としては教鞭に立つことは抵抗もありましたが、教育実習に行った際に神戸市では小学校の音楽専科の道もあると聞き採用試験を受験しました。狭き門でとても無理と思っていたのに上手く出来た課題もあり、見事に合格。さらに、ごく少数の小学校音楽専科教諭として採用され、退職までの38年間を8つの小学校で勤めました。

小さい頃から作曲したりするのが好きだったので、子供たちのためのオリジナル曲を作って一緒に歌いました。気に入った曲を喜んで歌ってくれる子供たちの姿は自分の自信にもなり、その後は現場で必要なオリジナル曲を増やしていきました。

わずか10分で書き上げた「しあわせ運べるように」

1995年1月17日は生徒たちの早朝練習のために早起きし、1階で朝食を済ませ2階の自室へ、その直後の5時46分に地震が起きました。自宅は1階が潰れ2階がそのまま落ちてしまいました。真っ暗な中で余震が続き、死の恐怖を味わう中で夜が明けて何とか窓から脱出することが出来ました。家族も全員が無事でした。その後は親戚の家に身を寄せることになり、そこから小学校に出勤しました。

小学校は避難所にもなっていて、救援物資の分配など目の前のことばかりに追われる日々を過ごす中、しばらくしてテレビで

コンサートのお知らせ

「臼井 真」オリジナル曲によるハーモニーコンサート

出演：臼井 真

ソプラノ 上杉 登美(旧姓 永田)
ピアノ伴奏 谷脇 香織(旧姓 増田) 他
大阪芸術大学 演奏学科の同級生です

日時：2026年 5月12日(火) 18時開演
会場：兵庫県立西宮芸術文化センター 小ホール



校庭で「しあわせ運べるように」を演奏する臼井さんと子供たち(1995年2月)＝臼井さん提供

三宮の街の惨状を見ました。慣れ親しんだ神戸の街が変わり果てている。その様子に、心の中からこみ上げる思いを書きつけて曲を作りました。地震に負けそうな自分と子供たちを励ます希望の歌を作り上げるのに10分もかからなかったと思います。

まず子供たちにこの曲を教え、それを聞いたボランティアの皆さんに広がり、毎朝学校のスピーカーで録音のテープを流すようになりました。2月末に学校が再開された時には、自分のピアノ伴奏で子供たちと、この曲を聞き覚えた避難所の皆さんが声を合わせて歌いました。こうして「しあわせ運べるように」は復興の歌として神戸の街にじわじわと広まっていくことになりました。

広がり続ける「しあわせ運べるように」

「しあわせ運べるように」は毎年の震災の慰霊祭だけでなく、成人式でも歌われるようになり、神戸で育った方には誰もが知る歌となりました。その後、新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震などの被災地では歌詞の「神戸」をそれぞれの地名や「ふるさと」に変えて、復興への願いを込めて歌われました。震災から15年目には、佐渡裕さんの指揮で当時の皇太子殿下の前でも歌われ、殿下が当時の鳩山首相に「この歌を世界に発信できないだろうか」と言われたことがきっかけで政府も動き出すことになり、翌年には上海万博の会場で国連のメンバーの前でスピーチをする機会も得ました。今では12か国以上の言語に翻訳され、海外の被災地でも復興への



大阪・関西万博 国際赤十字・赤新月運動館
2025年5月8日 スペシャルデー＝臼井さん提供

編集後記

多くの取材を受け講演会も行っている臼井さんですが、お忙しい中快く取材に応じてくださいました。これからやりたいことをうかがったところ、「自分に出来ることは、次の世代に震災を伝えていくこと。自分の言葉で直接伝えられる講演会を大切にしていきたいと思っています。それと、世界一周旅行をしたいかな・・・」ありがとうございました。

願いを込めた人々を励ます歌として歌い継がれています。

この30年の間に多くの慰霊祭や式典でこの歌を共に歌ってきました。テレビの特集も組まれました。その進行役やゲスト、ナビゲーターには神戸や兵庫県出身の方が多くおられます。女優の藤原紀香さん、山之内すずさん、フィギュアスケーターの坂本花織さん、Aes! groupの佐野昌哉さん、皆、この歌を聴いて歌って育った方々です。また最近、今は40歳を超えている震災当時の生徒たちと30年ぶりに再会する機会がありました。皆「しあわせ運べるように」の歌の力で心が繋がっていると感じています。

子供たちや若い皆さんに伝えたいことは、目には見えない美しい心・音楽に感動できる豊かな感性を持つて欲しいということ。心が豊かでなければ幸せとは言えないでしょう。そして、これから出会うすべての人にしあわせを運べるような心豊かな人生を歩んで欲しいと思います。

震災から30年経った今、震災を知らない方も多くいます。歌うことは祈ることに繋がります。震災で亡くなられた方一人一人の思い、傷ついたふるさとや人々への思いを忘れないでいてほしい。

「しあわせ運べるように」が被災地への希望の歌として全国の皆さんに伝わることを願っています。



臼井さんは学生時代のお名前は、**上岡 真さん**。卒業後に叔母の姓の**臼井姓**を継がれました。

PROFILE

臼井 真(うすい まこと)

1960年神戸市生まれ。1983年3月大阪芸術大学演奏学科 声楽専攻卒業。震災時は神戸市立吾妻小学校(97年閉校)勤務。神戸市立の8つの小学校で38年間勤め、2021年3月末で退職。現在は、神戸親和大学教育学部教育学科 教授。「しあわせ運べるように」は、神戸ルミネリエでも歌い継がれ、神戸から新潟、東北、熊本へ・・・そして英語・中国語・フランス語・ベルシャ語・イタリア語・カンボジア語・トルコ語・スペイン語・エスペラント語・ミャンマー語・ネパール語・韓国語にも訳され、海外でも広く歌われている。そして令和3年1月17日、神戸市歌として制定された。その他、小学生のための作詞・作曲オリジナル曲は400曲以上。平成17年度兵庫県教職員組合教育文化奨励賞受賞。平成18年度国際ソロプチミスト神戸東一回グローバル賞受賞。平成22年度神戸市教育委員会教育実践奨励賞受賞、平成23年文部科学大臣優秀教員表彰。平成26年神戸新聞「平和賞」受賞、令和2年国際ソロプチミスト神戸東「千 嘉代子 賞」クラブ賞受賞。令和3年兵庫県功労者表彰文化功労賞、JASRA 第8回文化賞受賞。令和7年兵庫県功労者表彰県勢高揚功労賞受賞。公式サイト「しあわせ運べるように」<http://www.shiawasehakoberuyouni.jp>

取材・文責：企画広報委員会 委員 豊田 千晶
取材：校友会事務局長 芝野 晴夫 取材写真：校友会事務局 松本 晴名

ギャラリー白から 星光画廊へ

WINGS NO.45に掲載された通り、ギャラリー白は閉廊し、オーナーの吉澤敬子さん、スタッフの山内亮さん、南野馨さん、蔭山リエチさんと共に、大阪市北区西天満5-8-15 八千代ビル別館1Fに星光画廊として2025年7月7日に開廊しました。新たなチャレンジが始まります。

2025年7月7日～7月19日
堀野利久展「無作為の作為」

2025年7月21日～8月2日
福田新之助展「存在と契約XXVII」

二人の個展を皮切りに、星光画廊のオープンを迎えました。星光画廊は南森町駅から徒歩5分の場所にあり、北側が路面に面したガラス張りです。自然光で作品を鑑賞することができ、また目の前には公園もあり、四季の移ろいを感じられる明るい画廊空間となっています。

ギャラリー白は1979年、今橋画廊から独立された鳥山健さんによって、現代美術画廊として開廊しました。著名な作家の展覧会を企画しただけでなく、若手作家の展覧会を積極的に支援してきた稀有なギャラリーです。その後、2002年に星光ビルに移転して、鳥山さんと吉澤敬子さんによって再スタートしました。星光ビルは、鳥山さんの友人であり、デザイナーの今竹七郎氏が自身の事務所兼アトリエとして建てた建物です。2025年4月末をもってギャラリー白は閉廊しました。そして2025年7月7日、吉澤さんを中心にギャラリー白から続く3人のスタッフと共に、星光画廊が開廊オープニング展を迎え新しいチャレンジが始まりました。

私がギャラリー白と関わるきっかけは、浪速短期大学で陶芸を教えておられた大阪芸術大学教授の森淳先生に今橋画廊の鳥山さんを紹介していただいたことから始まり、初個展をギャラリー白で開くことができました。その後、著名な作家も出品されるグループ展や同世代作家のグループ展に参加させていただきました。その他にも作品の発表をする場の提供にとどまらず、芸術家としての活動の考え方や幅広い視野で学ぶ機会を与えていただきました。私の作家としての在り方は、鳥山さんとの出会い、ギャラリー白、そして星光画廊との付き合い、大阪芸術大学や大阪芸術大学短期大学の先生方との出会い、共に活動する仲間達との付き合い、そのような素敵な時間によって成り立っていると考えています。

2026年星光画廊スケジュール

1月19日(月)～1月31日(土)
小松 純展
2月2日(月)～2月14日(土)
嶋田 剛展
2月16日(月)～2月28日(土)
いきづく空間
大船光洋・近松素子・長谷川睦
3月2日(月)～3月7日(土)
柴垣 愛・濱 亮晴展
3月9日(月)～3月21日(土)
真木 智子展
3月23日(月)～4月4日(土)
重松あゆみ展

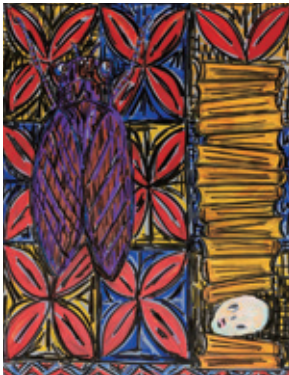
4月6日(月)～4月11日(土)
大山 幸子展
4月13日(月)～4月18日(土)
長谷川 睦展
5月11日(月)～5月16日(土)
松井 浩一展
5月18日(月)～5月30日(土)
福田 新之助展
6月1日(月)～6月13日(土)
南野 馨展
6月15日(月)～6月20日(土)
山本 修司展

星光画廊 SEIKO GALLERY

〒530-0047
大阪市北区西天満5-8-15
八千代ビル別館1F
TEL/FAX 06-6363-0493
E-mail: art@seikogallery.com
Web: http://seikogallery.com/
平 12:00～19:00/
土曜 12:00～17:00/
日曜日休廊



堀野 利久 (ほりの としひさ)
1976年
浪速短期大学デザイン美術科
工業デザイン専攻卒業
現:大阪芸術大学短期大学部 教授
「無作為の作為 IV」
陶
26.0×21.0×23.0cm 2025年



福田 新之助 (ふくだ しんのすけ)
1982年
大阪芸術大学芸術学部
美術学科卒業
「本を聞く8月」
キャンバス、アクリル、不透明顔料インク
116.7×91.0cm 2025年

現代美術の画廊は一代限りで閉廊することも少なくない中、星光画廊は初代の精神を受け継ぎながら、歴代のスタッフや関わりのあった作家、様々な人々がそれぞれの立場で力を発揮し、現在へと繋がっている画廊だと思っています。1979年のギャラリー白の誕生以来、福田新之助・三村逸子・浜本隆司・中澤てるゆき・山本修司・松井浩一・石川裕敏・館勝生・長尾圭・高木義隆・大船光洋・山内亮・南野馨他多数、塚本学院の多くの先生方や卒業生が個展やグループ展で発表しており、今後も展示が予定されています。若い作家や様々な人々を迎え入れ、発表の場、そして挑戦の場としてより一層活躍されることを願い、見守っていきたいと考えています。お近くにお越しの際、また卒業生の展覧会の折には、応援を兼ねてぜひお立ち寄りください。

文責：大阪芸術大学短期大学部 教授 堀野 利久

天野画廊

天野画廊オーナー：天野 和夫

お客様には悪いが、だれよりも先に作品を見ることができるとの快感は、なにものにも代えがたい。常に特等席に座っているようなものだ。それでいて、周りからは「きれいなお仕事ですね」と言われるものだから、うかうかと真に受けてしまうこともしばしば。しかしながら、本当はそんなにいい仕事でもない。

修業時代も含めると、54年も美術界に身を置いているが、その間に閉じた画廊は数多い。そこそこの資産を遺した画廊もあったが、負債を抱えたり、事件に巻き込まれたりして閉めざるを得なくなった例も、それ以上に多い。ほとんどが世にいう「零細企業」で、社会的に認知された「職種」の中に入れてもらえないので、銀行融資の対象にすら門前払いを食らっている。

しかしながら、どんな有名な画家であろうとも、無名の時代があったわけだし、その時の個展の積み重ねがのちの評価につながっている。だから画廊の存在は大きい。

作家20人に1人がブレイクすれば、楽に食っていけると昔は言われたものだ。だが時代は変わり、今は様子が違っている。20人が30人になっても、50人になっても、食っていけない。逆に、売れ筋の作家をうまく10人捕まえたら、十分食っていける。それには資本力が要る。美術界も新自由主義、あるいはポピュリズムの時代だ。うつろいやすい現代美術に寄り添って、求道的なスタンスを保つのは難しい。バランス棒をふらつかせながら綱渡りをするようなものだ。船乗りは、舟板一枚下は地獄というが、画廊主の足元には、板さえなく宙に浮いている。

SATOKOU 佐藤 幸一郎

大阪芸術大学 工芸学科 陶芸専攻 2024年3月卒業



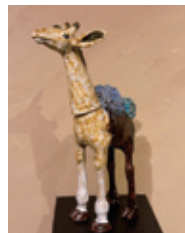
蟹座 (2025) 手捻り
200×370×250



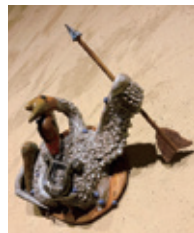
蠍座 (2025) 手捻り
300×270×150



水瓶座 (2025) 手捻り
350×250×150



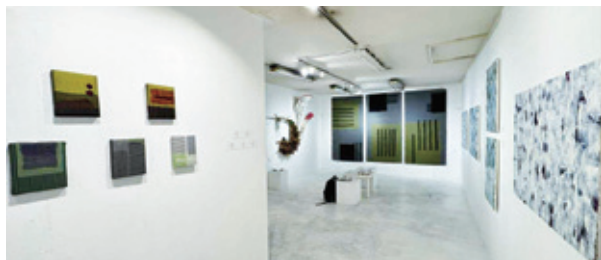
きりん座 (2025) 手捻り
200×150×450



双子座 (2025) 手捻り
220×260×150

2024年に行われた企画展のイグエムアート賞の副賞で個展の招待を受けました。そのギャラリーの壁が砂漠の砂を使って装飾していることを教えてもらい、この壁の特性を生かした作品を作りたいと思い、星座を思い浮かびました。

(展示会情報)
工芸展「雷と地」 SATOKOU / 雷、陶作品 NAKAGAWA / 雷地、金工作品
2026年3月19～23日 AM10:00～PM5:00(最終日は2:00まで)
浜寺公園駅駅舎ステーションギャラリー
大阪府堺市西区浜寺公園町2丁232番地 TEL: 072-267-1230



アーティフィシアルな位相 vol.39 撮影者 東野 太



年末年始 展覧会予定
12/22(月)～27(土)
イケミチコ展
1/17まで冬休み
1/19(月)～31(土)
スティーブン・レーン展
2/2(月)～14(土)
志村陽子展

〒542-0066
大阪市中央区瓦屋町1-6-9
TEL 06-6364-0784
E-mail: amanogallery_osa@outlook.com

大阪メトロ松屋町駅
3番出口より350m徒歩5分
大阪メトロ谷町6丁目駅
4番出口より500m徒歩7分

「秋麗」SHUREI

2025/9/27(土)～10/5(日)

みやび流押絵四代目 小西 聡甫 展



「神馬」F6号サイズ 410mm×318mm



「東ね熨斗」
F6号サイズ 410mm×318mm



「宝船」
F15号サイズ 652mm×530mm

於：ギャラリー Paw (芦屋)

工芸学科が編成される黎明期。陶芸の最初の副手として活躍され、後に奈良帝塚山短大・大阪芸術大学短期大学部においても多くの学生を指導された長尾登美子先生の一周年忌に教え子たちと縁のあった人々で偲ぶ会を開催しました。



1971年 大阪芸術大学
デザイン学科 卒業

8月12日から21日まで、[大阪・本町・ESPACE 446 GALLERY]で『長尾登美子さんをかこんで』追悼展が開かれた。会場には、大阪芸術大学・同短期大学部・奈良帝塚山短期大学部で学び、長尾さんと縁を持った17名の作家が[陶芸・染織・金属・版画]の作品を出展。長尾さん自身の作陶とともに並べ、多彩な表現が空間を彩った。

展示の一角には、長尾さんが生涯大切にしてきたIDEA NOTEや、土への深い探究心を示す資料も公開された。インドのタンドール釜やガラス溶解炉といった「土で築かれる造形」に対する敬意がそこには込められている。会期中の8月18日は、ちょうど一周忌にあたる日。昨年お別れに立ち会えなかった仲間たちが「偲ぶ会」として献杯を捧げた。

高度経済成長期、陶芸が「器」から「造形」へと広がった時代。長尾さんはその新しい潮流の中、[女流陶芸展大賞・日本陶芸展優秀作品賞]受賞。大阪芸大で副手を務めた頃には、包み込むような笑顔で学生を導き、多くの人に勇気を与えた。その温かい指導は後年も変わらず、教えを受けた人々の口からは「先生に褒められた」「作品を買っていただいた」といったエピソードが今も語られている。

会場には、白髪の同世代から若い世代まで幅広い来場者が集まり、遠方から足を運ぶ人の姿もあった。酷暑を押して訪れた人々の思いは、何よりの供養となったに違いない。きっと長尾さんも、どこかで笑顔で見守っていたことだろう。

文責：佐々田 美雪 (元 大阪芸術大学 工芸学科 教授)
小野山 和代 (大阪芸術大学 工芸学科 特任教授)
伊藤 隆 (元 大阪芸術大学 工芸学科 学科長)



長尾工房へようこそ



1985年度 第八回日本陶芸展
優秀作品賞



長尾作品



色粘土のアクセサリー



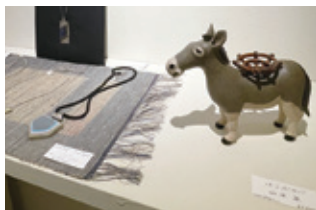
会場風景



展示資料



会場には多くの卒業生も来場されました



長尾先生に褒められたロバ
色陶土のアクセサリー (長尾作品)



伊藤隆 小野山和代
下方 長尾さんの作品も



柳原先生、奥野敏晴、秋永邦洋
井上耕一 作品



秋永邦洋 奥野容子 作品

編集協力：木下 万智子

泉屋宏樹

iD.(アイディー)
グラフィックデザイナー
大阪芸術大学芸術学部デザイン学科
視覚伝達デザインコース
1998年卒(D94010)



泉鏡花記念館シンボルマークが 中学1年生用の美術の教科書 「美術1」に掲載されました。

このシンボルマークは2015年(平27)3月の北陸新幹線開業に合わせ、金沢・泉鏡花記念館がリニューアル開館した際に制作しました。眼鏡をかけた文豪、泉鏡花の顔と、向かい干支であることから鏡花が置物などを蒐集し、トレードマークになっているうさぎをイメージしたものです。

光栄にも「形や色で伝えるシンボルマーク」例のひとつとして採用。私が中学生の時、美術の教科書に載っていたエッシャーやグラフィックデザイナー福田繁雄さんの作品に興味を持ったように、多くの全国の中学生のみなさんをはじめ、現小学4年生の私の息子が中学生になった時、ふとこのシンボルマークを見つけ、泉鏡花や泉鏡花記念館、美術やデザインを楽しむきっかけになればと願います。



美術1(日本文教出版)

泉屋宏樹 Hiroki Izumiya

デザイン事務所iD.代表。デザインとアートを横断的に捉え、広告デザインや本の装幀など幅広く展開。

泉鏡花記念館シンボルマーク、また泉鏡花×中川学による現代版鏡花本の造本装幀、アートディレクションを担当。

2023年「海の庭」(大竹民子著)が第56回造本装幀コンクール文部科学大臣賞、DNA Paris Design Awards、その他、繪草子「龍潭譚」、「絵本化鳥」がアジアデザイン賞を受賞するなど国内外で高い評価を得ている。



iD.site

プチギャラリー Wings

大阪芸術大学
短期大学部

大阪芸術大学短期大学部
デザイン美術学科 版画コース

作品サイズの単位は mm



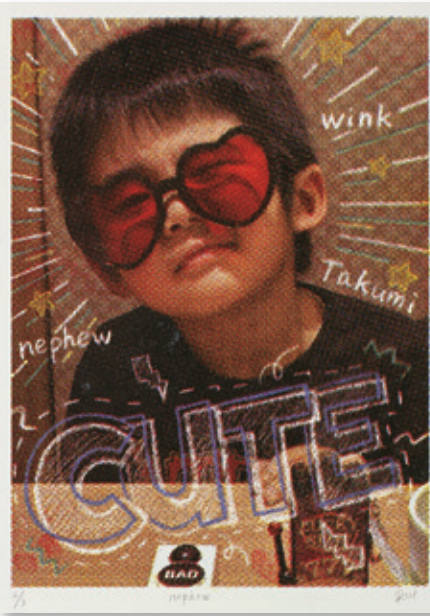
ひーぱす of はにー

木村 聖
H544×W726
シルクスクリーン/紙



蛾

三村 幸誠
H450×W305
油性木版/紙



nephew

前川 莉子
H290×W210
リトグラフ/紙

河関 都幸さん
満代さん
朔也さん
容子さん



後方 右：都幸さん 左：満代さん 前列 右：容子さん 左：朔也さん
塚本学院校友会和歌山県支部会に出席された河関 満代さん
皆さん大阪芸術大学のキャンパスで出逢われた家族です！



満代さん製作の「ゆめねこ＊わかやま」ロゴデザイン

私は現在、動物愛護・保護活動のグループ「ゆめねこ＊わかやま」に所属し、ロゴやデザインや啓発活動の印刷物や掲示物のイラスト作成を担当しています。

在学中の思い出（満代さん）

3回生から入った銅版画ゼミでは、女子ばかり個性的な5人の仲間で過ごしました。教授の持田総章先生を「もちりん」と呼んでお父さんのように慕ってみんなでごはんを作って食べたり、旅行したり、とても楽しかったです。また、持田先生のご指導のもと、第1回和歌山版画ビエンナーレ展に同ゼミから自分を含め3人も入選できたことも宝物のような思い出となっています。

夫は定年退職後、木工作品の製作を楽しみながら妻が保護した9匹の猫達に囲まれて暮らしています。

今は、学生時代から愛好していたハードロック、フュージョン、ジャズのライブやコンサートを夫婦一緒に楽しんでいます。

在学中の思い出（都幸さん）

4回生の時だったか、芸大祭に大好きなロックバンドBOW WOWが来たので勇んで会場に行きましたが、あまりの人気に観ることもかなわず残念でした。それもとてもいい思い出になっています。それから40年を経て今も健在の同バンドのライブを追いかけて、日本国内のみならず、海外にも出かけるのが楽しみです。

4人の芸大卒業生が家族として、同じ敷地内の2軒の家で生活しています。4人ともDIYやもの作りが大好きなので、息子夫婦が結婚する時には4人で部屋の壁に漆喰をぬったり、壁紙やフローリング、ふすまを張り替えたりと、楽しみながら家族としての絆を深めることができたと感じています。

芸大生ならではの自由で柔軟な感覚で、世代を超えてそれぞれの個性を認め合って楽しんで生活していければと思っています。

河関 満代

高田 雄吉さん
真奈さん

Profile



高田 雄吉 Takada Yukichi
学生番号 D2079
昭和51年度 大阪芸術大学
デザイン学科 卒業

大阪芸術大学に進学しようとしたきっかけ

父：中学時代に大阪万博のポスターを制作、校内に貼り出されデザイナーになろうと大阪工芸高校を希望しましたが、当時はデザイナーとは親からは不安な職業と思われ、成績もよかったので自宅から近い港区の進学校である市岡高校に進学。芸術の科目は美術、工芸（デザイン）、音楽、書道を選択で、第1志望デザイン第2志望音楽としましたら、第2志望の音楽にされていました。これはいかんと、自分はデザイナーを目指しているので工芸を選択にしてほしいと先生に直談判し、工芸を受けさせてもらいました。大阪芸大進学は当然の流れでした。

なぜ芸大を選ばれたのですか？（お父様が教員をしている大学に行くことに抵抗はなかったですか？）

娘：中学高校で美術・デザインに関するクラスにいたことで、大学でも引き続きデザインの勉強をしたかったからです。

入学前は父の授業に参加したらどんな感じなんだろうかと思ってはいましたが、デジタルメディアコースを選択したため、接点はほぼなかったです。

実際に芸大に入学されてどうでしたか？

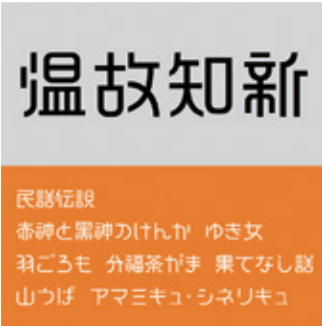
娘：デジタルメディアコースの授業にてWebデザインに初めて触れ、HTML、CSS、JavaScriptのコーディングを楽しいと思えたことが大きく私の進路を変えたと思っています。

もし芸大に入学していなかったら、上記のようにプログラミングに触れるきっかけがなかったと思うので私の進路も大きく変わっていたと思います。

現在、Webデザインの他、ネイティブアプリの開発にも携わせていただいております、仕事を楽しんでいる日々を送っているため、きっかけくれた芸大に入学できて良かったと思っています。

学生時代に影響を受けた先生

父：スイスデザインの巨匠ヨゼフ・ミュラー＝ブロックマン先生がスイスから客員教授でいらして授業を受けました。やはりその流れを汲む北端先生、田村先生にも教わり、タイポグラフィをベースとしたグラフィックデザインが自分の血肉となっています。



高田 雄吉さんのフォント作品 左から Hieros、Polcadot AdobeFont に搭載



高田 真奈 Takada Mana
学生番号 D16257
令和元年度 大阪芸術大学
デザイン学科 卒業

卒業後から現在までの経歴について教えてください。

また、現在のお仕事などに大学時代の経験が活かしている点があれば教えてください。

娘：現在まで、Web・システム設計開発関連の会社、株式会社SKYに在籍しています。

最近ではWebデザインも開発と並行して行っております。大学時代の授業で習ったWebサイト全体の色合いの統一感、UI・UXを考慮してデザインすることを意識してWebデザインを行っています。

コーディングの難易度も経験を積んで大体把握しているため、予算に応じて、コーディングにかかる工数から逆算してWebサイトのリッチさを調整したり実装者観点でもデザインを行っています。

システム開発は守秘義務があるため作品紹介はありません。

父：1977年卒業後フリー、82年株式会社アイ・エフ・プランニング入社

94年より有限会社シーアイデイ研究所設立 代表取締役。ブランディングデザインをメインに、ロゴやネーミングからスタートし、マニュアルやサインデザイン、パッケージングデザインなどに展開します。

2002年より大阪芸術大学非常勤講師を経て教授、現在非常勤講師

生涯デザイナーでありたい。自分はもちろんアートディレクションもしているが手を動かして創っていくことが好きなので。



Laurel
ローレルマンションロゴ
cl. 近鉄不動産



ブライトンホテルロゴ
cl. ブライトンコーポレーション

将来、自分のお子さまを芸大に進学させたいと思いますか？

娘：子供がデザイン関連の勉強をしたいと望めば進学させたいと思います。

親子二代のタイトルロゴは高田 雄吉さんのデザインです。



朔也さんの業務例



都幸さん製作の木工作品

木村 正彦さん
尚子さん
礼紀さん



卒業後から現在までの経歴について教えてください。また、現在の

お仕事などに大学時代の経験が生きている点があれば教えてください。



木村 正彦
Kimura Masahiko
学生番号 D5052
1979年 大阪芸術大学デザイン学科
グランプリで卒業

高島屋大阪店宣伝部入社、(株)ATA オールタカデザイン エージェンシーを経て、大阪芸術大学放送学科教授→現大阪芸術大学デザイン学科教授
日本グラフィックデザイナー協会会員
日本広告学会会員



大阪芸大広告 (新聞30段) 2015

大学時代はアート、映像、マスコミ、メディア、広告、音楽等などいろいろな事に探究心があったように思います。入学時は既に14学科あって、美術、放送学科など他学科の交流があった事は後々、仕事や学会、大学などの好奇心に影響ができた元になったような気がします。高島屋時代、広告は自社制作で全ての分野で仕事ができたと、並行して「日本広告学会」で気心知れた先生と研究発表して、忙しかったけど、楽しく出来た事は大学時代の探究心が元にあるのかと思います。

お子さまが芸大に行くとなった時、どんな思いでしたか？ご自身の大学時代の話も含めて

私の車好きの影響もあってか、初めから彼にはプロダクトデザインコース、カーデザイナー志望と明確な目標がありました。ただ、自動車メーカー希望となると厳しい道です。まずはそれに向かって努力すれば何かしら道は開けるのかなと思っていまし



JAGDA脱原発ポスター



高島屋×大阪芸大
コラボイベント新聞広告

たが、就職難の時代もあり、心配はありました。また、まずは私が平面デザイナーやCM制作者として畑違いの事もあり、何か良い確かなアドバイスができないところは歯痒い思いもありました。

今、思い返すと私の大学時代は迷走時代だった気がします。イラストレーションも好きで描いていましたが、将来は就職してデザインの仕事か、教員免許も取ったので教員をしながら版画家になる事を考え、版画作品ばかり制作していた事を思い出します。就職してからも8年ぐらいは続けたと思います。

アナログな時代はデジタルの世界と違い、何か一つ一つが手探りでスローでフリーな感覚があります。ただ、就職してからある恩師の先生にデザイナーとして自分のカラーを作りなさいと言われた事を思い出します。でも多分、大学時代の性格からか飽き性なのか私には器用に何でもこなす事が楽しかったし、性に合ってたと思います。

時代の流れに対応できる者だけが生き残れる、ダーウィンの法則みたいに進んでいたのかも知れません。



木村 尚子 (旧姓 上野)
Kimura Naoko
学生番号 531108
1980年 浪速短期大学
(現大阪芸術大学短期大学部)
美術デザイン学科 卒業

小倉美術印刷入社を経て、パッケージデザイン、イラストレーションの仕事を手掛ける
現在は100号サイズの絵画を制作



絵画作品 100号

短大時代は4大と違い、2年と短いのでデザインとは何なのか、制作する意欲が大切と言う事を学んだように思います。就職して具体的に仕事としてパッケージデザインを覚えた感じです。結婚後は子育てしながら、イラストレーションの仕事でデザインと辛うじて繋がっていました。子供二人も結婚して家庭も築き、時間的なゆとりが出来てから本格的に絵画を学び、市展、県展、他の公募展などに出品している毎日です。

お子さまが芸大に行くとなった時、どんな思いでしたか？ご自身の大学時代の話も含めて

元々、息子は絵を描く事が好きではなかったような気がします。その割には、小学生時代から絵で賞を貰っていて、不思議な感じがありました。本質的に彼は車が大好きだったんです。

でも、カーデザイナーになれるのかと不安な気持ちはありました。大阪芸術大学は夏冬休みでも毎日、大学に行くほど楽し

かったようです。金沢美術工芸大学院に進んで制作面での厳しさも学んだように思います。息子に金沢まで会いに行く事も楽しい思い出です。カーデザインに関わりたと言う強い気持ちや努力が息子の支えだった気がします。

私は高校3年生の頃から画塾に通い、実家からから通える短大に入学しました。短大では先生方との距離感がとても近くて学んでいたんだか、遊んでいたんだか、とにかく毎日が充実していました。でも2年なんてあっという間、入学したと思ったら、すぐに卒業制作に取り組みなければなりません。1年の時に大阪芸大の卒業制作展に行き、ピカピカ光る電気が仕込んである当時では変った作品が印象に残っていました。まさかその作者が今の夫になるとは思ってもいませんでした。今思えば、芸大繋ぎの縁は不思議ですね。家族として日々の会話の中に自然とアートの話題や会話があった事は普通はないのかも知れませんか。



◀習作
▼DM用イラストレーション



木村 礼紀
Kimura Reiki
学生番号 D08055
2014年大阪芸術大学デザイン学科 卒業

金沢美術工芸大学院 博士前期課程 修了
いすゞ自動車デザイン室入社



ISUZU MU-X

いすゞ自動車では東南アジアを中心に販売しているSUV(クルマの車種の一つ)のエクステリアデザインを手掛けるチームに所属しています。とにかく沢山のアイデアを描くようにしています。一発で決めるというよりか、幅広いアイデアから徐々に熟成していくようにしています。学生時代にひたすら描いたことが経験として生きていてと考えています。また、人の良いところはドンドン取り入れようと思う貪欲さは大学時代培ったと思います。先輩や後輩、同期の「これは凄い、いい方法だな」と思ったことはドンドン真似して自分のテクニックにしてきました。今でもそれは、社内でも使えそうテクニックがあれば真似してみつつねにスキルを高める試みをしています。

なぜ芸大を選ばれたのですか？お父様が教員をしている大学に行くことに抵抗はなかったのですか？

小学生の頃に芸大の卒業制作展を親と見に行き、よく分からないけど何だか楽しそうな大学だなと感じました。実際に自分が進路を決める際に、オープンキャンパスに行って今までの大芸の就職実績や作品を観て

進学しようと決めました。父親と同じ大学に行くことに特に抵抗はなかったです。クルマで送ってもらえるからラッキーぐらいの感覚でいました(笑)。大学で友人といる時に父親と会ったり時々授業の様子を観に来たりするのは勝手にハラハラしてましたが(笑)。

実際に大芸に入学されてどうでしたか？

授業も遊びもとにかく楽しい4年間でした。気心知れた友人も多く出来、今でも付き合いがあるので繋がり大切にしたいと思ってます。クルマの絵をひたすら描いて、夜遅くまでモデルを作ったりと、今考えればとても非効率なやり方をしていましたが、無我夢中でやったことはとても良い思い出になっています。学生時代だからこそ出来た無茶なやり方は良くも悪くも自分のいい経験になったと今は感じています。

将来、自分のお子さまを芸大に進学させたいと思いますか？

今年の5月に第一子が誕生しました。その子がどんな大人になるのか分かりませんが、美術やデザインへの関心が高ければ、協力してあげたいと考えています。



コンセプトカーのスケッチ



第35回関西学生対校女子駅伝競走大会 大阪芸術大学女子駅伝部は予選敗退するも アディショナルタイムで全日本大会出場枠確保!!!

10月26日(日)の全日本大会(杜の都駅伝)の予選ともなる関西大会が去る9月27日(日)に神戸市北区しあわせの村周回コース(36.2Km)で行われた。芸大チームは昨年、このレースで総合5位。4位までの出場枠に入らず、悔し涙を吞んだ。この屈辱を晴らすべく新生チームは特に厳しい走り込みを続けてきた。今年の関西勢の出場枠はシード校2校(大阪学院大・立命館大)と上位2校の4校。何としても総合4位以内に入って全日本大会常連校として杜の都を快走したい。

1区(6.9km) レースの流れを作る重要区間を任されたのは森田そよ香(初等芸術教育1年)。持ち前の積極的なレース運びでコースを2周。目標タイム23'10"に少し及ばなかったが5位で襷を2区へ。緊張なくスタートラインに立て冷静にレースを作ることが出来た、とレースを振り返った。(区間23'14" 5位 通過5位) **2区(3.3km)** 宮田伊織(キャラクター2年)。唯一の周回1周でスピードレース区間。襷を受けた時点で前を行く佛教大・関西外大・後ろに着く神戸学院大との差がそれぞれ1秒。競い合って懸命に前を追うも、順位を一つ落として3区へ繋いだ。(区間11'13" 9位 通過6位) **3区(6.5km)** 担うのはキャプテン菅崎南花(建築4年)。十分な経験とタイムを持つ実力者。「1周目は冷静に、2周目は果敢に」と語り継がれてきた2周区間だが2周目に失速。自分の力で順位を上げる本来の力が出せず悔しい結果に。(区間23'32" 10位 通過8位) **4区(6.5km)** 青柳朋花(デザイン4年)。市立船橋高出身。大学最後のシーズンは何としても仙台で有終の美を飾りたいところ。菅崎から襷を繋いだ時点で前の京都産業大との差は僅か5秒。積極的に前を追い2周目で京都産業大を捉えて、その差5秒

で5区へ襷が渡った。この時点で総合4位の関西外大との差は18秒。愈々勝負は後半戦に。(区間22'51" 7位 通過7位) **5区(6.5km)** 今年からコース2周になったレース後半への勢いをつける区間。前を行く佛教大まで48秒で後ろの京都産業大までは5秒という厳しい戦い。襷を受けた國井あかり(芸術計画2年)はスタート直後に追いつかれるも冷静なレース展開。しかし2周目に失速し8位に後退。(区間23'22" 7位 通過8位) **6区(6.5km)** 小倉侑々(初等芸術教育3年)も経験豊富な選手。都道府県対抗女子駅伝では和歌山として都大路を駆け抜けた。中瀬監督の「弱気は最大の敵」を胸に、強い気持ちで前へ。自分の実力を発揮するが順位を上げられず8位でゴール。(区間22'51" 4位 通過8位)

総合で8位、4位の関西外大まで1分21秒差というまさかの完敗となった。昨秋以来の厳しいトレーニングに耐えながら今日を迎えた選手の皆さんには本当に悔しくまた辛い結果だろう。しかしここはひとつ再びチーム一丸となって次のステージに進もう。(敬省略)

!!!アディショナルタイムで全日本大会出場決定!!!

全日本大会出場枠は26大学分ある。そのうちオープン参加の1枠を除いて、シード校8大学と北海道から九州各地区の代表校の14大学。更にアディショナルタイム(5000m 6名のチーム記録)による上位3大学分だ。10月5日の関西ティスタンスチャレンジの結果、この3枠に入って全日本大会出場が決定した。3校は東洋大・京都産業大・大阪芸大。昨年芸大は0.09秒差(選手が30km走って距離にして5cm)でこの出場枠にも入ることが出来なかった。



1区 森田選手



2区 宮田選手



3区 菅崎選手



4区 青柳選手



5区 國井選手



6区 小倉選手

第35回関西学生対校女子駅伝競走大会 2025.10.26 神戸しあわせの村周回

区間	選手名	学科	距離	記録	区間順位	通過順位
1区	森田そよ香	初等芸術教育1	6.9km	23分14秒	5	5
2区	宮田伊織	キャラクター造形2	3.3km	11分13秒	9	6
3区	菅崎南花	建築4	6.5km	23分32秒	10	8
4区	青柳朋花	デザイン4	6.5km	22分51秒	7	7
5区	國井あかり	芸術計画2	6.5km	23分22秒	7	8
6区	小倉侑々	初等芸術教育3	6.5km	22分51秒	4	8
total			36.2km	2時間07分03秒	総合8位	



仙台 校友会応援団



1区 森田選手



2区 菅崎選手



3区 青柳選手



4区 大沼選手



5区 小倉選手



6区 岩本選手

第43回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 大阪芸術大学女子駅伝部 2年ぶり12回目出場 15位

10月26日(日)仙台市陸上競技場(弘進ゴムアスリートパーク)をスタート・フィニッシュとし、仙台市内を巡る6区間38.0kmで全日本大会が行われた。大きなコース変更があって3年目。各区間をどう攻略するかも見どころの一つ。

出場校は昨年の覇者立命館大をはじめとするシード校8校、各地区予選を勝ち抜いた14校、更に5000m6名による記録(アディショナルタイム)の上位3校と東北学連選抜の26チームで競われた。わが芸大チームは昨年関西大会で敗れ、この大会当日はTV観戦という寂しい秋を過ごした。しかし今年は関西大会の成績が振るわなかったもののアディショナルタイムで出場権を得て夢を繋いだ。目標は12位。4選手が初めての全日本を走るが、いつも通りの自分の力を発揮できれば年末の富士山駅伝出場権(12位以上)や来年の関西勢出場枠(17位以上)は十分に狙える。我が校友会応援団も応援ポイントで声を限りに声援を贈る。各区の走者の動線が重なる地点が各大学ともに応援が多い。

1区(6.6km) レースの流れを決める区間で先頭集団の形成に注目が集まるところ。12時10分号砲が鳴り響いたが昨夜からの雨は止むことを知らず、コース上には浅いながら水の溜まる生憎の天候。ここはルーキー森田そよ香(初等芸術教育1年)が襷を運ぶ。集団半ばを保ってトラック2周の後に一般道へ。先頭集団の1kmの入りが3分15秒のハイペース。森田は懸命に前を追うが2km過ぎから隊列の差が開いて第1中継所へ。(区間21'57" 14位 通過14位) 1区が終わってみれば1位から6位までが区間新記録というのは驚異的。**2区(4.0km)** スピード区間を担うのは菅崎南花(建築4年)。仙台市の商業地域でコーナも多く、順位の入れ替わりがある区間でもある。キャプテンとして自分が順位を上げる、という強い思いで関西外大・駿河台大をかわして12位へ。一昨年の雪辱を果たした。新たな自信と決意を得て今後が楽しみな選手だ。先頭の城西大・兼子選手の1kmの入りが2'58"という超ハイペース。(区間13'19" 9位 通過12位) **3区(5.8km)** 青柳朋花(デザイン4年) 好位置で襷を受け取って最初で最後の全日本。いまだ雨は続き広瀬川を渡る広瀬橋の強い向かい風の中、4年間の思いの

丈を込めての走行。結果、目標の20'10"を上回った。(区間19'28" 14位 通過12位) **4区(4.8km)** 襷を受けた大沼乃愛(初等芸術教育3年)は前走者に距離を詰め、後方に差を開いて後半のレース展開をつくる大切な役目を担った。雨が選手を打つ。再び広瀬川を渡る愛宕橋手前の緩い下りを過ぎ、第4中継所までの緩い登りが我慢のしどころ。懸命に前を追って前の日体大との差1秒、後方の関西外大との差38秒、その役目を果たした。(区間16'25" 6位 通過12位) チームは走る選手だけで作られてはいない。補欠選手、各中継点で走者のサポートをするチームメイトなどがまさに一丸となって戦っている。4区も1位から6位までが区間新記録。**5区(9.2km)** 花の5区、エース区間を駆けるのは小倉侑々。襷を渡した大沼選手の走りに勢いを感じてスタートダッシュ。仙台城址の登り、定禅寺通りのケヤキ並木、中心部から北部の台原の住宅街までの長丁場。芸大チームは過去に苦杯をなめた区間でもある。好走するも、前の日体大との差20秒。追ってくる関西大との差2秒。愈々勝負どころ。(区間31'32" 17位 通過12位) **6区(7.6km)** 関西大会以降、調子を上げてきた選手の一人の岩本彩乃(初等芸術教育2年)。12位以内に入って富士山駅伝の出場権を掴みたいが、降りしきる雨の中を力走するが後方が追ってくる。市内中心部の大声援に背中を押され前へ前への力走も及ばず、15位で競技場の濡れたフィニッシュテープを切った。(区間26'24" 19位 ゴール15位) 今大会は雨天の中でしかもハイペースなレース展開ではあったが、芸大チームは関西大会の記録からするとよく健闘した。しかし一方でいまだ課題も多い様にみえる。自分と向き合い更に強くなった笑顔のゴールを、校友は楽しみにしている。関西勢の関西大・大阪芸大・関西外大の3大学が17位以内に入ったので来年の出場枠は3校(シード校 立命館大と大阪学院大を除く)。また12月30日(火)に開催される富士山駅伝の出場にも期待が持てる。(敬省略)

第43回全日本大学女子駅伝競走大会 2025.10.26 仙台市陸上競技場

区間	選手名	学科	距離	記録	区間順位	通過順位
1区	森田そよ香	初等芸術教育1	6.9km	21分57秒	14	14
2区	菅崎南花	建築4	4.0km	13分19秒	9	12
3区	青柳朋花	デザイン4年	5.8km	19分28秒	14	12
4区	大沼乃愛	初等芸術教育3	4.8km	16分25秒	6	12
5区	小倉侑々	初等芸術教育3	9.2km	31分32秒	17	12
6区	岩本彩乃	初等芸術教育2	7.6km	26分24秒	19	15
total			38.0km	2時間9分10秒	総合15位	

写真提供/大阪芸術大学 写真学科 3年生 川村 幸詩さん
校友会応援団
文責/校友会 常任理事 留目 正文(建築8期)



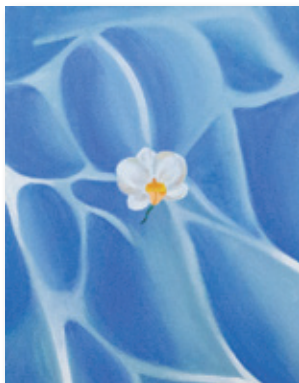
女子駅伝部監督
中瀬 洋一

レース後の中瀬監督のことは

関西学生女子駅伝ではまさかの予選敗退。アディショナルタイムでもぎりぎりの通過。
その中で15位と部員たちはよく頑張ってくれた。5区まで12位をキープできたことは自信に繋がったはず。来年は強い新入生が入ってくるので、過去最高の順位を狙いにいきたいと思う。

大阪芸術大学
芸術学部 美術学科 油画コース

作品サイズの単位は mm



Phalaenopsis
本田 翔大
H350 × W270
キャンバス / 油彩



記憶
宮城 結衣
H200 × W200
麻布 / アクリルガッシュ / 卵の殻



命
小早川 友生
H1620 × W1300
キャンバス / 油彩



終末と金曜日の食卓
山市 雄仁
H455 × W530
麻布 / 油絵具



チョコレート
三崎 玲奈
H200 × W450
油彩 / ジェツ / 板材



家
井上 莞二郎
H290 × W290
木枠 / 油絵具



憧憬崇拜
鈴木 そら
H1455 × W1120
油絵具



墨
野口 和哉
H1167 × W910
油絵具 / 麻布



Mutant
石原 澪大
H242 × W333
キャンバス / 油彩



爽 / 撃
梅川 栞
H400 × W400
パネル / ジェツ / 油絵具



大阪芸術大学
芸術学部 美術学科 版画コース

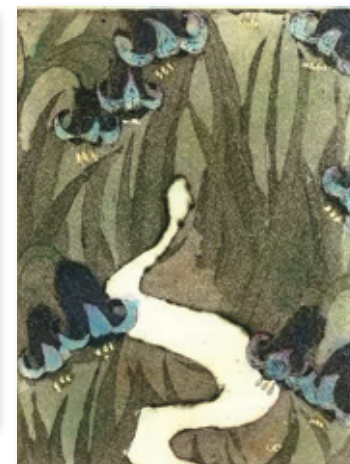
作品サイズの単位は mm



Gluttony
吉本 輝星
H120 × W90
銅版画



うにちゃん
高橋 菊乃
H250 × W350
シルクスクリーン



冬煩い
保田 愛
H120 × W90
銅版画



無題
高瀬 蒼
H100 × W100
銅版画



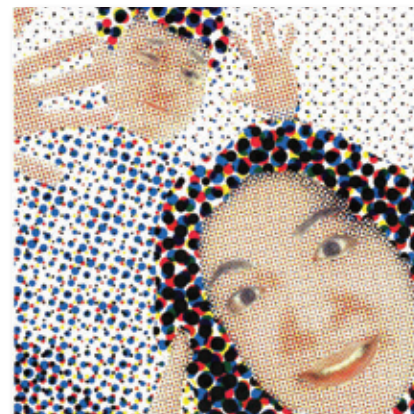
藤のカーテン
鈴木 芭奈
H300 × W250
シルクスクリーン



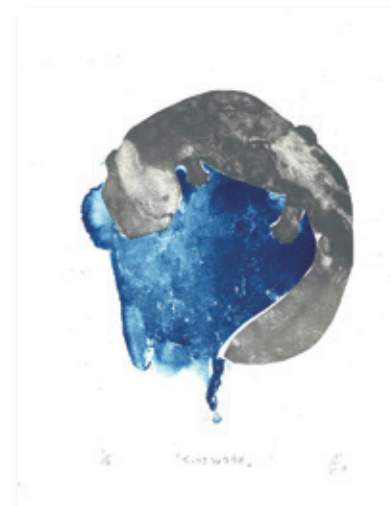
：一)
日高 響
H300 × W250
シルクスクリーン



無題
橋本 すみれ
H100 × W100
銅版画



ナンギ
上田 空来
H280 × W280
シルクスクリーン



くっつきショウオ
中迫 美尋
H380 × W280
リトグラフ



life
森本 恋羽
H380 × W280
リトグラフ



河西 範幸 (かわにし のりゆき)

大阪芸術大学 建築学科
2000年卒業

大阪芸術大学建築学科を卒業後、同大学で2年間副手として教育・研究支援に従事。その後、大阪の設計事務所で実務経験を積み、地元である香川県の工務店へ。2008年に独立し、自身の設計事務所を開設。建築設計の傍ら、2014年7月より丹下健三氏設計の旧香川県立体育館の体育館再生を開始。「一般社団法人船の体育館再生の会」の代表理事として、建築文化の継承に情熱を注いでいる。



旧香川県立体育館 内観



旧香川県立体育館 内観



旧香川県立体育館再生委員会

河西 範幸
Spell Design Works

丹下健三氏が設計した旧香川県立体育館（船の体育館）

『香川の「船の体育館」再生へ。未来へ繋ぐ10年の挑戦』

大阪芸術大学ご出身の皆様、建築学科OBの河西範幸です。香川県高松市にある丹下健三氏設計の「旧香川県立体育館」(船の体育館)をご存知でしょうか。船の形をした独創的な名建築ですが、2014年に改修が断念され、現在は解体の危機に直面しています。

私は「建築文化を失ってはならない」との思いで、2014年7月から保存活動を開始しました。建物の魅力を多くの人に知ってもらうため、写真記録、HP公開、清掃活動、写真展、「まち歩き」ツアーなどを企画・実行し、現在に至るまで地道な啓蒙活動を続けています。

活動は単なる保存要望だけではなく、建設当時の関係者を探し出してインタビューを行い、構造の専門家とも議論を重ねました。その成果をもとに、具体的な改修提案や、難解とされる構造の解説資料を作成・発信し、建物の価値と再生の可能性を訴え続けました。

こうした活動は、SNSや多くのマスコミ報道を通じて、次第に全国的な活動へと認知されていきました。国際的な建築保存組織からも注目され、活動を通じて建築業界の第一線で活躍される多くの方々と出会い、議論を深める機会に恵まれました。今振り返ると、この活動の原動力は、大阪芸術大学での学びであったように思います。先生方や同期たちと徹夜で議論し、一つの作品を作り上げた経験。そして、建築学科の副手として行政を巻き込んだ課題を設定し、運営した経験。あの頃培った「人を巻き込む力」と「諦めない姿勢」が、10年以上にわたる活動の礎となっています。現在、船の体育館の保存再生運動は新たなステージを迎え2025年からは「旧香川県立体育館再生委員会」(委員長 長田慶太氏)へと活動が引き継がれ、私たちが積み重ねてきた知見が活かされ、今、日本全体からその再生の行方が注目されています。芸大での学びが、時を経て故郷の文化を守り、未来へ繋ぐ活動に結実していることを、実感しています。

旧香川県立体育館再生委員会
著名活動集合写真

ガイドツアーの様子

旧香川県立体育館再生委員会
記者会見の様子

外観

推薦者／企画広報委員会 委員 岡田 成生



大阪芸術大学 芸術学部
キャラクター造形学科 2016年卒業

石塚 大介 Daisuke Ishizuka

2016年 大阪芸術大学 芸術学部 キャラクター造形学科 卒業

2015年 4月 ビッグコミックスペリオール新人賞受賞
12月 comicoで連載開始

2021年10月～2022年4月 FM802準レギュラー

2023年 9月 ART FAIR ASIA FUKUOKA 2023

石塚大介個展「GIANT KILLING」
Study: 大阪関西国際芸術祭 vol.3 内のチーフ・フェアウロプログラム・ディレクターの杓名美和氏によるキュレーションブースにおいて新作を展示

2023年12月 ART FAIR TOKYO 2024

石塚大介個展「GIANTEDRAP」
ART021 HONG KONG(アート021 香港)に「蔦屋書店」とコラボレーションブースから出展

2024年10月 Fire Art Asiaにて新作を展示
同年同月 OSAKA ART MARKETにて新作を展示
グランフロント大阪にて野生爆弾くっさー!とのART トークショーを実施



Instagram

ギャグ漫画家がARTで世界を獲る

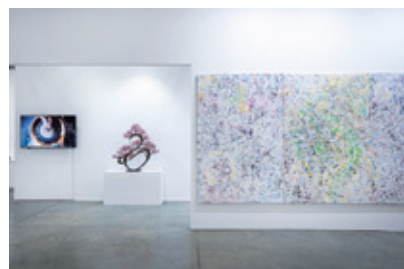


銀座 six 個展

10年間、野球に打ち込んだ後に大阪芸術大学のキャラクター造形学科に入学しギャグ漫画家を目指し始めました。入る前に一度浪人していて国公立を目指していたのですが1年間自分の人生を考えた結果、無謀な夢でもやりたいことをやらずに人生を終えるのは嫌だなと思い、今はもう存在しないセンター利用入試二期で入りました。今思うとおそらく実技だと落ちてました。奈良の田舎の母子家庭で育ったのでバイアスのかかった狭い世界で生きてました。なので20歳から漫画家を目指すと言ったら100人中100人の周りの大人に絶対に無理だと鼻で笑われました。そんな何も無いところからスタートしたのが僕のARTのコンセプト「下剋上」です。誰よりも量を重ねて質を上げ、誰よりも頭おかしくなるくらいに毎日考えて、誰よりも



香港 ART021



台北當代



人類みな麺類 神戸店コラボ

推薦者／企画広報委員会 委員 岡田 成生



「あーた、 アメリカ行きなはれ!!」 ～依田・宮川組が残してくれたもの～

ヒロセ マリ

大阪芸術大学映像学科1983年卒業
Wagner College留学、2019年大阪芸大大学院入学
Will Lee、Chris Parkerなど海外ミュージシャンとの
デザイン提携や他、音楽、映像制作

「あーたアメリカ行きなはれ」

卒業面接で依田義賢学科長にそう言われ、その夜、両親に電話がきた。LA近くの大学を勧められたが、ビリー・ジョエルやKISSに夢中でNYへ。毎晩JAZZやROCKライブがあり、今も当時のミュージシャンと交流が続いている。帰国後、テレビ山口入社、音楽番組を編集。大好きなアーティストと関わる仕事ができ楽しかった。今回この誌面を頂いたので私の社会人初仕事から今日までシンクロしている演奏学科客員教授・木根尚登(TM NETWORK)先生にお話を伺うことにした。木根教授には映像学科でも2021年公開の産学映画出演をお願い、前・大森学科長との真冬の撮影を思い出す。1970-80年代の話から色んな話題を頂き楽しいインタビューになった。

木根(K)：1980年、あの頃というのは、僕には画期的だったね。その頃は憧れが洋楽で、ボブ・ディランを教えてくれたのが吉田拓郎さんだったりね。自分の中で本当にフォークは衝撃的だった。先輩がビートルズのLet it beをかけててLP、LP、LPって聞こえるんだけど何だろうって思ってた、「あれはLet it beって言ってるんだよ。」って英語に達者な子が教えてくれた。あの頃はジャズとかクラシック、ロック、フォークに歌謡曲、演歌とか、ものすごく大雑把なカテゴリーだけど、そんな時代だった。中学校1年生の時に先生から自分の夢を書きなさいって言われてね、その頃僕はもう確信してて「ミュージシャン」って書いたんだ。

「ミュージシャンはなかなか実現できないんで、勉強をしっかりしてください」って先生に言われた(笑)。

ヒロセ(H)：今は音楽を過去も今も時差がなく年代も関係なく聞く事もできるし発表、発信できる時代ですね。

K：そして、何よりほんと大阪芸大のように学校が、大学があるってすごいなって思う。本当にもう声を大にして言わせてもらうけどあの頃、音楽の専門学校もなかったから。あっても、音大とかね。

H：そうですね。あっても、ピアノ科とか声楽科とかクラシックで。

K：ただね、今もあの頃の僕らの時代も同じだなんて思うのは色んな人が集まって来ると、びっくりするぐらい技術の高い人

たちを見るんだよね。そこで人と自分を比べず、自分を信じてやってきた人がやっぱり上に上がっていくわけ。それはもう今の芸大の中でも、先生たちが声を大にして「人と自分を比べて欲しくない」って言ってると思う。そういうことが、自分の中で、ここまで来れたっていうか、諦めなかったっていうか。比べなかったからこそ、やめないで来られた。

H：木根さん達TMを見てて思うのは、昭和、平成そして今の令和でもそれぞれの変化に沿って綺麗に時代の波に乗って続けていかれてますよね。

K：続けてるがゆえに、出会いがあるんだよ。最近何かで読んだんだけど、人は生まれ持って、みんな1本の針を持っているって。でね、その針で、この厚く大きな壁の向こうにある「夢」をこの針で壁を開けるか開けないか。プロという夢に届く壁は大きくて、厚いから無理だと思って、その針を捨てちゃう人も居るかもしれない。だけど中には「壁の向こうにどうしても行ってプロになるんだ」と思って、365日、24時間穴を開け続けて向こうに行こうとゴリゴリしてたら、それ見てた人がいてさ、「穴開けるの?俺たちはもっと大きい釘持っているからよーし、みんなで開けようか」って言ってくれたりする。続けてたら、後ろから有名なプロデューサーがさ、大きいドリルを持ってきて



左から、太田先生 宮川先生 滝沢先生(1980年頃)
映像学科 OB 北村芳男さん撮影



木根 尚登

大阪芸術大学演奏学科客員教授
音楽家、小説家、音楽プロデューサー
1984年 TM NETWORK として
EPIC SONY よりデビュー

木根 尚登 著 「電気じかけの預言者たち-再起動編-」

2018年の小室哲哉氏の引退宣言、このTM NETWORK最大の危機から復活を果たし、2024年のデビュー 40周年ツアーまでのメンバー3人の想いと、そして彼らを支える様々な人々との交流も本書のみどころの一つ



さ、「俺も一緒にその壁を開けるよ」って言ってくれて、その壁に穴があくんだよ。これも出会い。それこそ、僕らのデビューの頃に、これからどうしようかって思ってた色んな所に行って山口県にも行って、僕らの壁を開けるのを手伝ってくれた。山口と北海道は自分の歴史の中で、やっぱり大きなものが残ってる。それもお会いだよ。僕は芸大の学生さんたちに言いたいのは、とにかく、針1本持って、持ち続けて。もし飽きたら、ちょっと休んでもいいし。

H：それは演奏学科に限らず、映像、デザイン学科や全部の学生、卒業生が夢を叶える針を持っているんだよって、今、私もそう受け取れて嬉しいです。

K：そうだよ。針はね、みんな持ってる。

今、夢を叶えてる人たちは、夢を叶えることに協力してくれる人に出会える「運」があるかどうかなんだって最近読んだ本にあったね、デビューした頃に山口に行って、「じゃあ山口でTM NETWORKやりましょう。TMメインで番組をテレビ山口でやりましょう!ラジオもライブも!」って言って協力してくれる人達に出会えたからね。

H：オープニングのテーマ曲を「1974」に決めて番組が出発しました。あの頃、私にとってTMはどこにも似てない音楽で、寧ろ当時のDuran Duranとか洋楽に近い要素をもったメロディに聞こえて、「これは絶対いける」と上司に推した記憶があります。

K：そんな話を段々と中央の局の人達が聞きつけてね、キー局の歌番組に出してもらえることになって。まさにそういう時が、そのドリルで穴が開いて壁の向こう側に行けた感じがした。もちろんね、努力っていうのは当たり前でね。ただ本当に諦めなかった。成功を前提にやってたけど、売れなかった時にね。先輩に言われたのが、それを人のせいにはしているときは、うまくいかないよって言われた。

H：他責ってことですね。

K：うん、そういう時は上手くいかない。何かを成功するっていう人はね自分をすごいんだって信じて自分の好きなものをするって信じて、相手をリスペクトしてるんだって。そんな風にして、行動し始めてそういう気持ちで過ごしてたら、てっちゃん

(小室哲哉氏)に出会えてね、そして色んな音楽関連の人にも出会えてきた。だから色んな事あっても、あいつのせいで、ダメなんだっていうふうには思わない。よっぽどのことがあったらそれは言うけど(笑) 自分が変われば出会いも変わるし、自分が変われば、相手も変わる。いや、これ本当。

H：それは今の学生や、若い人たちもいち早く気付いてほしいことですね。

K：今、若い人たちに色々あっても、自分の針を1本持って、夢への挑戦をやめないでほしいね。

H：芸大へは演奏学科の特別講義で何度か来校されていますが、どんな印象を持たれていますか?

K：芸大に行った時に色んな所を見学させてもらってるんだけど、昔の人が見たらもう、設備もそうだけど、びっくりする、驚く!そこでも、あいつの方がいいもの作ってるとか、人と比べちゃったり、比較し始めるとね上手くいかない。そう比較すること、それはだけは絶対にやめてほしいな。

(TMでの音楽活動のことから色んな事に話を展開していただいて、木根教授、有難うございました。掲載はインタビューの一部になります。全編はまた別の機会をお楽しみに)

卒業後、社会人初仕事でTM NETWORKのビデオをアッセンブル編集した。その映像の一部が、2025年公開のドキュメンタリー映画「Carry on the memories (blu-ray2025/12発売)」に入っている。

映画館でエンディングロールに自分の名前が流れた時、依田先生と宮川先生の「アメリカ行きなはれ」を信じてよかったと思った。仕事で芸大OBと組むことも多い。木根教授のインタビューも含め、色んなアーティストと出会えて幸せだ。それは学生時代に教授たちが残してくれたものが確かにあるからだ。芸大と映像学科にありっただけの感謝を込めて、まだまだ私も夢を追う。

推薦者／企画広報委員会 委員 岡田 成生



心に響け！スマイル演歌

里野 鈴妹（さとの すずめ）

大阪芸術大学短期大学部 メディア・芸術学科 ポピュラー音楽コース 2021年卒業

■略歴

2023年 1月 日本クラウン(株) 新人オーディション準グランプリ受賞
2023年 7月 東京へ移り、作曲家水森英夫氏の下でレッスンに励む
2024年 9月 日本クラウン(株) より「バカ酒場」でメジャーデビュー
同年 9月 NHK「新・BS日本のうた」初出演
2024年12月 NHK「演歌フェス2024」出演
同年12月 日本クラウン(株) ヒット賞新人賞受賞
2025年10月 2nd single「島酒場」発売

小さな頃から演歌が大好きで、将来は演歌歌手になりたいという夢を叶えるためにも、演歌に捉われず音楽を一からしっかり学びたいという思いで、大阪芸短のポピュラー音楽を専攻する道を選びました。

ある日、先生方に将来の夢を打ち明けたところ、驚いたことに先生方は実はプロの演歌歌手のバックバンドを務めている現役のミュージシャンの方ばかりでした。そんなご縁もあり、大阪芸短では前代未聞の「演歌バンド」を学生同士で結成し、本格的な演歌ステージを披露しました。また大阪NHKホールではギターとセッションを行う機会を頂いたり、卒業コンサートではビルボードライブ大阪のステージに立ち、2年間の集大成として「天城越え」を披露しました。大阪芸短で学んだ2年間の経験と想いを1曲に込めて届けることができた、かけがえのないステージとなりました。大阪芸短卒業後、日本クラウン新人歌手オーディション2023で準グランプリを頂き、翌年2024年9月に「バカ酒場」

で念願の演歌歌手デビューをしました。NHK「新・BS日本のうた」に出演させて頂いたときには、芸短時代にご指導いただいた先生方と共演する機会があり、本当に感慨深く胸が熱くなりました。

2025年10月にはセカンドシングル「島酒場」を発売させて頂きました。メジャー調で耳に残りやすいフレーズも入った明るい歌なので、たくさんの方に覚えて歌って頂けたら嬉しいです。私のキャッチコピーは「あなたの心に届けたいスマイル演歌」。私の歌を通して、「元気が出た」「ほっこりした気持ちになった」「笑顔になれた」と感じてもらえるような歌を届けていきたいと思っています。笑顔は作るものではなく、心から湧き上がるものだと思います。だからこそ歌い手である自分も心から楽しんで、真っ直ぐな気持ちで歌うことが、聴いてくださる方の笑顔に繋がるのだと信じています。これからも、スマイル演歌を通して、聴いてくださる全ての方々が笑顔になるよう心を込めて歌って行きたいと思っています！



2025年10月29日発売 最新曲「島酒場」
c/w「越後恋歌」（日本クラウン）



2025年7月NHK「新・BS日本のうた」出演時に芸短時代の先生方と



最新曲「島酒場」
MV撮影風景よりコマ



2024年9月3日デビュー曲「バカ酒場」発売
記念歌唱イベントの様様（イズミヤSC多田店）



2021年3月卒業コンサートにて「天城越え」披露

推薦者／塚本学院校友会 常任理事 森 隆嘉



日本クラウン 公式サイト
里野鈴妹

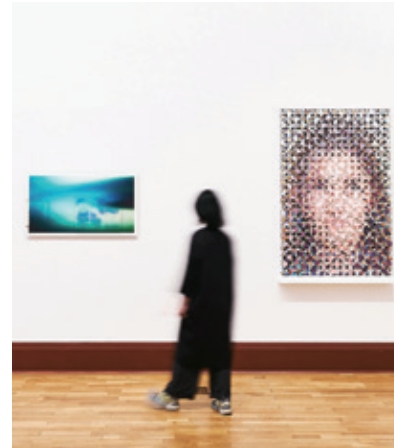


photo:Yoshitaka Orita

上田 佳奈（ウエダ カナ）

大阪芸術大学附属大阪美術専門学校
コミック・アート学科 美術工芸コース
(版画) 2019年卒業

ロンドン芸術大学Central Saint Martinsでファッションデザインを、大阪芸術大学附属大阪美術専門学校で版画を学ぶ。日々の些細な断片や痕跡を採集し、版画、写真、映像などを用いて「うつし取る」ことで、日常を新たな視点から再解釈する手がかりとなる作品を制作している。



作品「particle_0006」部分
photo:Yoshitaka Orita



個展「それはいま現れようとしている」、
MOGANA、2024年
photo:Yoshitaka Orita



kanaueda_Instagram
公式サイト

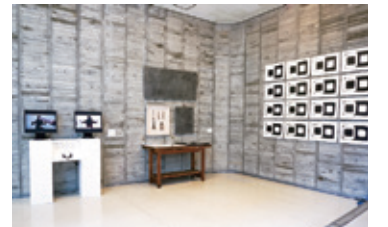


「第4回京都版画トリエンナーレ」、京都市京セラ美術館、2025年
photo:Yoshitaka Orita

版画—あいだをつなぐもの

大学でファッションデザインを学んだ後、仕事をしながら制作を続けていましたが、自分の表現に限界を感じ、銅版画教室に通い始めました。講師をされていた山本善一郎先生の勧めで美専を見学した際、日下部一司先生の空気感と工房の自由な雰囲気深く魅了されて、その日のうちに入学を決めました。入学後は先生方との対話を通じて、自己と向き合い、版画にとどまらず幅広い技法に触れることのできた、かけがえのない2年間となりました。版画の工程において、版を介してイメージが翻訳される面白さに惹かれ、卒業制作では版画や映像を組み合わせたインスタレーションを発表しました。塚本英世賞をいただき、制作を継続する大きな励みとなりました。

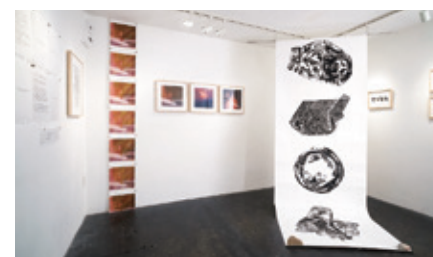
卒業後は印刷会社に働きながら制作を続け、初めて開催した個展では、鑑賞者によって作品の見え方が異なる面白さを実感しました。その後も展覧会を重ねる中で、より制作に力を注ぎたいと思うようになり、京都芸術大学のシルクスクリーン工房のスタッフとして声をかけていただいたことを機に退職。現在も作品制作や定期的な展示を続けながら、工房スタッフとして働き、美専や他大学で講師も担当しています。自分の原点である母校にもこうして戻れたことを、とても嬉しく感じています。今年4月、第4回京都版画トリエンナーレで大賞をいただけたことは、今後の制作をさらに後押ししてくれる出来事となりました。これまでご指導くださった先生方や共に学んだ仲間、そして活動を応援してくださった方々のおかげで、ここまで来ることができたと心から感謝しています。作品制作は、私に新しい視点をもたらすだけでなく、多くの人や場との出会いも与えてくれました。私自身も、自分の活動を通していただいたご縁や学びを他の誰かにつなげながら、これからも版画や視覚表現の可能性を探り続けていきたいと思っています。



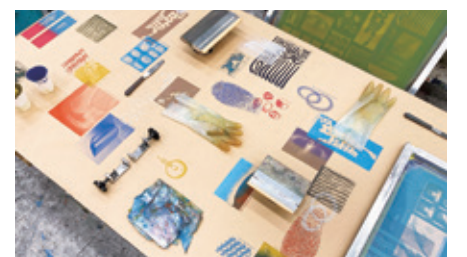
卒業制作「翻訳研究」



卒業制作の様子



初個展「事の次第」hitoto、2019年
photo:Yoshikazu Ooka



シルクスクリーン工房での制作の様子

推薦者／企画広報委員会 委員長 東陰地 正喜

大阪芸術大学 建築学科 A92メンバー同窓会 開催決定!!

2026年、A92メンバーは早いもので卒業して30年、その節目になる記念イヤーに、A92メンバーで同窓会を行います。皆さん、それぞれの思いでこの年月を過ごされたかと思います。これを機に懐かしい顔ぶれで集まり、語り合しましょう!! 建築から離れていても関係ありません、かけがえの無い友人、大切な仲間として繋がりを合しましょう!!



大阪芸大 A92 同窓会 実行委員会
代表 東坂 有吾

日時 2026年**11月22日**(日)
15:30~17:30(受付 15:00~)
会場 大阪市内を予定 (LINE オプチャにて案内)
会費 5000円 (予定) 寄付も受け付けています

A92のみなさんへ、ご協力をお願い

1. 広報用の**LINE オプチャ**にご参加ください!
2. ご存知の**同期の方**をご招待ください!
(または専用アドレスをご案内ください!)

LINE オプチャ名: 大阪芸術大学建築学科A92界限

確認のため、参加後、トーク画面に氏名をご投稿ください。

※LINE からのアクセスが難しい場合
下記アドレスに氏名を明記の上、ご連絡ください。
a92dousoukai@gmail.com



この同窓会開催をA92全員にお知らせしたいのですが、残念ながら現在、連絡先が把握できておりません。
そこで、ぜひ「LINE オプチャ参加」と、「同期メンバーの招待」にご協力ください。
(LINE 不可の方はメールでのご連絡も承ります。専用メールアドレスのご案内でも構いません)
現時点では同窓会参加・不参加は問いませんので、まずは「お知らせの手段」を確保させていただきます。

よろしくお願いします!!



プチギャラリー Wings

大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校

作品サイズの単位は mm

大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校
コミック アート学科 美術 工芸コース 金工専攻・絵画専攻・陶芸専攻・版画専攻



明かり
荒井 楓
H50 × W35 *丸カンを除くと43 × 35mm
チタン(電解着色)・真鍮



蛸壺
小南 洋介
H160 × W70
銅(鍍金)



夢
藤田 一登
H1620 × W1120
油彩 / キャンバス

影の希望 〈Hope Blooms Where Shadows Fall〉

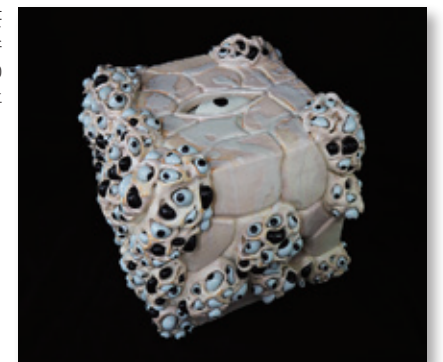
山田 麻未
H240 × W240 × D235
陶土



May
山下 芽依
H1303 × W1620
油彩 / キャンバス



妄
連之新
H250 × W250 × D250
陶土



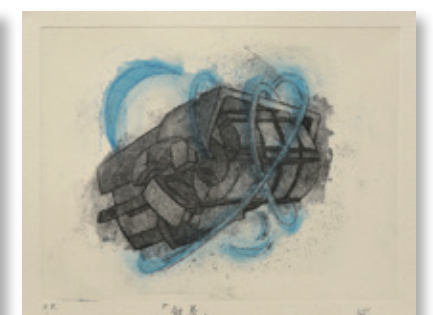
海亀・仏桑花
大宮 愛里
H353 × W502
シルクスクリーン / 紙



たそかれ時の得体の知れない生物
大森 颯太
H200 × W310
シルクスクリーン / 紙



自然とNSX
阪口 優斗
H258 × W360
油性木版 / 和紙



鉄拳
宮口 和花子
H180 × W240
エッチング・アクアチント / 紙

プチギャラリー Wings

大阪芸術大学短期大学部

大阪芸術大学短期大学部
デザイン美術学科 絵画コース

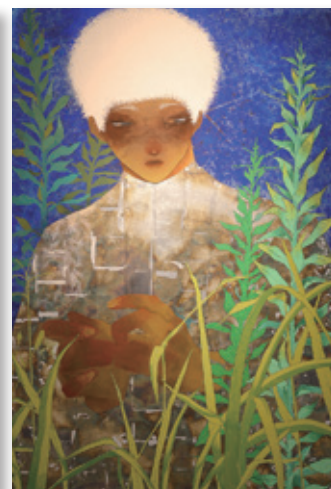
作品サイズの単位は mm



循環木
森 鈴杏
H1940 × W2590
油彩・オイルパステル・
岩絵具 / キャンバス



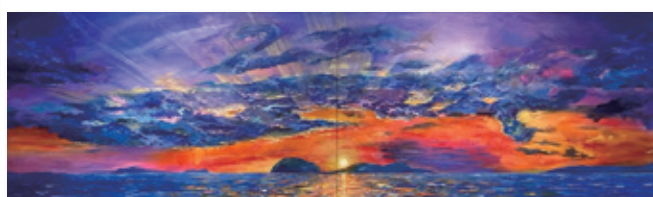
風光明媚
富田 真奈美
H1620 × W1300
油彩 / キャンバス



ひらたいうちがわに。
吉岡 遥
H1940 × W1303
紙本彩色・銀箔 / 麻紙



融解した記憶
土田 陸都
H1940 × W2590
油彩 / キャンバス



Restrain
樋田 晴香
H970 × W3240
油彩 / キャンバス

◆◆奨学生の声

大阪芸術大学 大阪芸術大学短期大学部 大阪芸術大学附属大阪美術専門学校

◆大阪芸術大学 短期大学部 I・S

このたびは塚本学院校友会奨学生に選出いただき、誠にありがとうございます。

表現者になるという夢を叶えるため、青森から関西へ進学いたしました。妹も私立高校に通い大学進学を望んでいる中、自分の夢のために家族に金銭的な負担をかけてしまうことに葛藤があり、これまで学費を自分で賄っていました。

奨学金のおかげでアルバイトを減らし、音楽に専念できる環境をいただけたことに心より感謝しております。

現在はシンガーソングライターを志し、作詞作曲・編曲やピアノ弾き語りを中心に学んでおります。

ここに素直になれる音楽を届け、人に希望を与えられる表現者を目指して精進してまいります。

◆大阪芸術大学 短期大学部 K・H

この度は奨学援助金授与のご認定を賜り、深く御礼申し上げます。幼少期の私は幾度も入院を繰り返し、学校へ満足に行くことは中々叶いませんでした。病気が落ち着いた頃にはコロナが流行り、「学び」を得られる環境に対する有難みを感じる機会が多くありました。私は入学以来作品制作に打ち込んでまいりました。その結果、一年次に応募した橋田賞新人脚本賞で四〇〇通以上の中から一次審査通過者九人の中に選んでいただくことができました。授業外であっても根気強く指導をしてくださった先生方と、幼少期から私を支えてくれた両親に少し恩返しができたと感じております。私の目標は「一人」に寄り添う作品を作ることです。世の中に生きる方々はそれぞれ違う人生を歩んでおり、悲喜交々も様々です。作品を通して、人々の悲喜交々に寄り添える存在になります。道半ばではありますが、ご支援に合う活躍ができるように精進いたします。この度は誠にありがとうございます。

◆大阪芸術大学 短期大学部 T・A

このたびは、塚本学院校友会奨学金の対象に選んでいただき、誠にありがとうございます。

ご支援をいただいたことで、学業により集中できるようになり、経済的にも家族を安心させることができました。支えてくださった方々の存在のありがたさを改めて実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。

これからは、その思いに応えられるよう学びを深め、残りの学生生活を充実させたいと思います。

卒業後は、ものづくりに関わりながら、大学で学んだSNS発信や広告制作の知識を活かせる仕事に就き、夢の実現に向けて努力していきます。

温かいご支援、本当にありがとうございます。

◆大阪芸術大学 短期大学部 H・K

この度は、奨学生に選んでいただき本当にありがとうございます。

私は大阪芸術大学短期大学部の声優コースに所属しており、声優になるという夢があります。卒業後もオーディションなどに挑戦しながらアルバイトを中心とした生活を送り、事務所に所属出来た際には上京も考えています。

ですが、家庭の状況は厳しく、父は役職定年で収入が下がっており母は自営業をしているため毎月の収入が不安定です。また、四年制大学に進学を希望する弟がいます。そのため、金銭面で大きな不安を抱いていました。

そんな時に、塚本学院校友会奨助奨学金の存在を知り、「これを逃す訳にはいかない」と思い、申し込みました。今回、奨学生として認定いただき驚きと嬉しい気持ちでいっぱいです。同時にとても身が引き締まる思いです。

様々な媒体で私の声を届けていけるように、今後もより一層日々精進していきます。

改めまして、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

◆大阪芸術大学 短期大学部 H・M

このたび奨学生に選んでいただき、大きな驚きと喜びを感じています。まさか自分が選ばれるとは思っていなかった

ので、通知を受け取ったときは信じられない気持ちでした。私は島根から下宿をしながら大学に通っており、また弟も同じ状況のため家庭の生活費や学費の負担は決して軽いものではありませんでした。そのような中で、この奨学金によって経済的な不安が和らぎ、学業により集中できる環境を得られたことを大変ありがたく感じています。支援していただいたお金は私への期待の重さだと受け止めて、その思いを裏切らぬよう、学問だけでなく人としても成長し社会に貢献できるよう努力を続けていきたいです。

本当にありがとうございます。

◆大阪芸術大学 短期大学部 Y・Y

私は持病の影響もあり、何度も挫折を経験してきた人生でした。しかしながらそれ以上に両親に心労をかけてきたように思います。私が当時在籍していた大学を辞めた時も、漫画家を目指すために美大に入りたと言った時も、どんな時も受け入れてくれた両親に支えられて私の今があります。たくさん迷惑をかけた両親に、本当にやりたいことで結果を残すことで恩返しをする。そう決めて入学してから二年。今回このような形でその功績が認められたこと大変嬉しく思います。これからも歩みを止めず、たくさんの良い作品作りと活動を通して、たくさんの人を楽しませられる創造者になるため精進します。

あらためまして、今回はこのような機会と奨学生として認定いただきましたこと、誠にありがとうございます。

塚本学院校友会奨助金検討委員会では、大阪芸術大学グループ各校の最終学年を対象に、奨学援助金を希望する学生を募集し、援助金を給付しております。令和七年度は各校から合わせて7件の申請があり、書類選考・面接審査を経て6名の奨学生が認定されました。

ここでは奨学生から寄せられた感想文を紹介しています。

書籍・CD・DVD出版

著者・出版物のご案内



BOOK 江戸秘蔵指令7
犬の功名
著 者——伊丹 完
(大阪芸術大学舞台芸術学科卒)
出版社——株式会社二見書房
定 価——890円+税



BOOK 将軍隠密役
江戸潜入捜査
著 者——伊丹 完
(大阪芸術大学舞台芸術学科卒)
出版社——株式会社コスミック出版
定 価——740円+税



BOOK おてんば剣法ごめんあそばせ1
深川の鬼娘
著 者——伊丹 完
(大阪芸術大学舞台芸術学科卒)
出版社——株式会社二見書房
定 価——870円+税



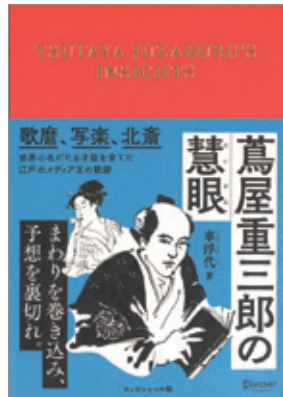
BOOK おてんば剣法ごめんあそばせ2
帰ってきた鬼娘
著 者——伊丹 完
(大阪芸術大学舞台芸術学科卒)
出版社——株式会社二見書房
定 価——870円+税



BOOK はにわランソ
いっちょマラソンで町おこしや!
著 者——運見恭子
(大阪芸術大学美術学科卒)
出版社——株式会社双葉社
定 価——840円+税



BOOK 葛屋重三郎の矜持
著 者——車 浮代
(大阪芸術大学デザイン学科卒)
出版社——株式会社双葉社
定 価——1,600円+税



BOOK 葛屋重三郎の慧眼
(エッセンシャル版)
著 者——車 浮代
(大阪芸術大学デザイン学科卒)
出版社——株式会社ディスカヴァー・トゥエンティワン
定 価——1,350円+税



BOOK Art of 葛屋重三郎 仕事者の軌跡
著 者——車 浮代
(大阪芸術大学デザイン学科卒)
出版社——笠間書院
定 価——2,000円+税



BOOK 仕事の壁を突破する
葛屋重三郎 50のメッセージ
著 者——車 浮代
(大阪芸術大学デザイン学科卒)
出版社——株式会社飛鳥新社
定 価——1,500円+税



BOOK 大河ドラマの世界を楽しむ! 江戸レビシ&短編小説
居酒屋葛屋重三郎の江戸空想居酒屋
著 者——車 浮代
(大阪芸術大学デザイン学科卒)
出版社——株式会社オレンジページ
定 価——1,300円+税



BOOK おうちにあるもので簡単にできる!
ワクワク楽しい! 手づくり楽器
著 者——千光士義和
(大阪芸術大学映像学科卒)
出版社——株式会社PHP研究所
定 価——1,500円+税

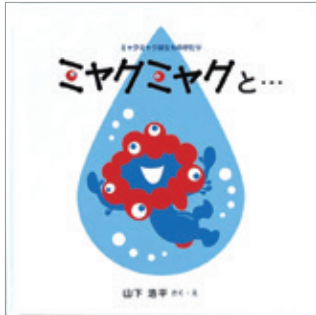


BOOK ゆめとえんぴつとぼく
著 者——うえだしょうご
(大阪芸術大学建築学科卒)
出版社——ポエムピース
定 価——1,200円+税

著者・出版物のご案内



BOOK しゅっぱつ! やさいごう
著 者——おだこうへい
(大阪芸術大学デザイン学科卒)
出版社——株式会社ほるぷ出版
定 価——1,400円+税



BOOK ミヤクミヤク誕生ものがたり
ミヤクミヤクと...
著 者——山下浩平
(大阪芸術大学美術学科卒)
出版社——株式会社フェリシモ
定 価——2,000円+税
2025年9月24日より予約販売中



BOOK おばあちゃんとかめ
何げに楽しい2匹とのくらし
著 者——澤 戢三
(大阪芸術大学美術学科卒)
出版社——KADOKAWA
定 価——1,450円+税



BOOK 日本遺産
「龍田古道・亀の瀬」をあるく
著 者——澤 戢三
(浪速短期大学デザイン美術科卒)
出版社——一般社団法人なら文化交流機構
定 価——2,000円+税



BOOK ワンダーキューブック
ハムスター どこ いった?
著 者——野田貴大
(大阪芸術大学デザイン学科卒)
出版社——ポプラ社
定 価——1,500円+税



BOOK ギフテッド
著 者——藤野恵美
(大阪芸術大学文芸学科卒)
出版社——株式会社光文社
定 価——880円+税



BOOK 間金ウシジマくん外伝
浪速タイムリープ 愛沢くん1
著 者——ササニサトシ
(大阪芸術大学デザイン学科卒)
出版社——株式会社小学館
定 価——700円+税



BOOK 間金ウシジマくん外伝
浪速タイムリープ 愛沢くん2
著 者——ササニサトシ
(大阪芸術大学デザイン学科卒)
出版社——株式会社小学館
定 価——700円+税



BOOK 彩りの記憶
北陸の鉄道 1963-1996
著 者——泉竜太郎
(大阪芸術大学写真学科卒、
鉄道友の会北陸支部監事)
西脇 恵(鉄道友の会北陸支部長)
出版社——中日新聞社
定 価——2,200円+税

株式会社 托口出版
卒業生が出版社を立ち上げました

BOOK ペン回しのプロKayが教える
How to Penspinning
著 者——小野典秀(Kay)
(大阪芸術大学文芸学科卒)
出版社——株式会社托口出版
定 価——2,200円+税

BOOK 三ッ寺会館
著 者——なすび
(大阪芸術大学通信教育部
写真学科在籍中)
出版社——株式会社托口出版
定 価——3,800円+税

放送学科 同窓会支部

支部長 松江 仁 (B7・10期)

去る令和7年5月24日に大阪天神橋筋商店街にある Garden Loungeにて「塚本学院校友会 大阪芸術大学 放送学科 同窓会支部」の令和7年度定期総会を開催致しました。昨年8月に「設立総会」を開催後、初めての定期総会となりました。ご来賓として、校友会から芝野事務局長のご臨席を仰ぎ、支部会員68名の内、第3期生から第53期生まで22名の会員同窓生の方々にご出席いただきました。総会終了後は懇親会となり、和やかな雰囲気の中、世代を超えた交流が積極的に行われ、大変有意義な総会・懇親会となりました。



会場ウェルカムサイン

今回、特筆すべきことは、この春、卒業された2名の会員の方にご出席いただいたことです。ともすれば年配の方々の集まりに成りがちな同窓会ですが、若い会員の方々が積極的にご参加いただけたことで世代間交流が進み、同窓会の活性化に繋がるものと感じました。これからも多くの会員の方々に気軽にご出席いただける様に配慮し、先輩と後輩との交流が活発に行われることを大いに期待するものです。



総会・懇親会会場



今回参加の皆さん

今年度は在學生を支援し、その結び付きを作るため、様々な業界で活躍中の卒業生をご紹介出来るような情報のネットワークづくりや、そのOBによる在學生向けのセミナーの開催や交流会の実施、SNS等での同窓会情報の発信などを計画しております。また、この春に復活した「謝恩会」に同窓会支部メンバーが参加出席させていただき、卒業生との交流を深めることやイベントを盛り上げるための賞品や景品のご提供にも協力したいと考えております。

来る2028年には放送学科設立60周年を迎えます。この長い歴史の中で私たち同窓生の絆は固く結ばれ、いついつまでも繋がっていくと確信しております。今後も同窓会支部として「会員相互の交流と親睦を図り、母校と放送学科の発展への協力、在校生への支援」を目的に、様々な事業活動に取り組んで参りますので、同窓生の皆様のご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。そして、55周年の同窓会で披露した「つながる！Bのわ」のキャッチフレーズのもと、これからも益々「Bのわ」が広がることを祈念します。

つながる Bのわ

会報誌題字(石川豊子 前放送学科長 書)

【支部事務局より】

今後の活動や総会・同窓会などのお知らせは支部会員の皆様にメールなどSNSにて発信して参ります。また、住所変更や支部への入会、同窓会へのご意見・ご希望はメールや電話にて支部長までご連絡ください。

<お問い合わせ先>

放送学科同窓会支部

支部Mail：houso.douso@osaka-geidai.ac.jp

支部長 松江 仁(B7・10期) / 携帯電話：090-3926-1611

写真学科OB会支部活動報告

大阪芸術大学 写真学科OB会 支部長 薩摩 嘉克

総会の開催と卒業生によるトークイベント

懐かしい学舎、懐かしい先生に懐かしい同窓生と集う会を思い、大阪芸術大学写真学科16号館21教室へ各地から駆けつけた写真学科卒業生とZOOMでの参加者で2025年2月16日(日)に写真学科OB会総会を無事に開催することができました。ホームページ、DMやSNSで総会開催の連絡を受けた卒業生ら22名の出席と161名の委任状により総会は成立いたしました。



総会風景

総会では、懸案事項であった支部会名称変更について討議、投票が行われ、「写真学科支部」、「写真学科同窓会支部」などの候補から「写真学科OB会支部」へ最多の投票数があり名称が正式に採用されることになりました。



OB会賞の写真集

その他の議題には、新しい組織の説明、協力金、会計報告などについても話し合わせ、写真学科卒業制作において優秀な作品に対して贈られるOB会賞を、山本樹(やまもとたつき)さんの「境界」に贈られ、師岡元教授から提供された写真家・榎並悦子さんの「光の記憶」など3冊の写真集が贈呈されたとの報告もありました。学生時代に授業や講義で使った懐かしい16号館21教室での約1時間にわたる会議は充実した議論がなされ閉会となりました。また、総会後には、卒業生によるトークイベントが開催されました。

・弁当配達員、農業従事者、旅人として自身の生活の糧を得ながら、その現場で体感したものを写真と文章で表現しているP00福島あつしさん。

・料理、建築物、風景など幅広いテーマに取り組み、雑誌、広告を中心に多方面で活動され、今回は、軽トラ



集合写真

をテーマに写真展を開催された作品を見せていただいたP94西村仁見さん

・高校時代に「写真甲子園」本戦出場を果たし東川町へ初来町。以来ボランティアスタッフや卒業制作で東川町へ度々訪れ、大学4年生時に募集があった東川町役場「写真の町課」の臨時職員となり、東川町へ移住して東川町役場正職員となり現在東川町文化ギャラリー学芸員のP06吉里演子さん

現在、各界で活躍されている卒業生の方々からのレクチャーがあり、数々の素晴らしい作品を拝見でき、経験談など貴重で興味深いお話も伺うことができました。

次回開催と公式ホームページについて

今回の第8回写真学科OB総会は、2026年2月15日(日)に大阪芸術大学構内で開催する予定をしております。今回も卒業生によるトークイベントなど検討しておりますので、写真学科OB会ホームページや卒業生同士のSNSなどでご案内をさせていただきます。また、会員数および、総会出席者の増加を希望しており、会員の皆さまには、より多くの卒業生の方々への周知と参加の呼びかけを是非ともよろしくお願い申し上げます。

また、理事会では、写真学科OB会公式ホームページの有効な活用方法を模索しております。会員の皆さまが催される展覧会や出版等の案内も掲載、発信する場として、より多くの会員の方々に利用していただけるよう検討しております。



総会風景



大阪芸術大学演奏学科管弦打支部 活動報告

大阪芸術大学卒業生の皆様こんにちは。

生活も普通に帰り、大阪では、2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）も開催されました。大阪芸術大学卒業生、現役学生も、いろいろなイベントで活躍し、世界の国々の方と触れ合うことで大切な経験ができました。

大阪芸術大学の活躍の詳細は大阪芸術大学ホームページでご覧いただけます。https://www.osaka-geidai.ac.jp/topics/sptopics_ouapickup2

学内外でも演奏会等イベント活動が開催されるようになりました。

大阪芸術大学演奏学科管弦打支部では、定期的に同窓会総会及び同窓生の交流と親睦を兼ねて演奏会（大阪芸術大学卒業生による演奏会大阪芸術大学ヴィルトゥオーゾウインドオーケストラ演奏会）を開催しておりましたが、2020年から開催を中止しております。

同窓会総会及び演奏会については、「安心して演奏会が開催できる」と判断出来る時まで待ちたいと思います。卒業生の皆様におかれましては、何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。演奏会開催の日が早く訪れることを祈り、お互いに笑顔で再会いたしましょう。

大阪芸術大学 ウインド・オーケストラ第46回定期演奏会が今年度は2026年2月18日（水）開催されます。一年間の学習成果の発表として開催されます。卒業生の皆様もまた関係の中学生・高校生の皆様にも、是非授業の成果を聞いて頂ければ学生達にも大変良い経験になります。

大学では、高校生を対象に関西音楽コンクールを2023年より開催しています。このコンクールは、声楽・ピアノ・弦楽器・管楽器・打楽器と多くのジャンルで応募いただけます。

開催詳細、審査結果は、(<https://oua.osaka-geidai.ac.jp/kancon/>) でご覧いただけます。

2026年も開催を予定しています。皆さんの周りにも高校生で演奏活動をされている方がおられましたらご案内ください。

今年度の総合第1位の鈴木 愛奈（クラリネット）は、夏に開催されました塚本学院創立80周年記念 大阪芸術大学サマーミュージックフェスティバル2025においてソリストとしてフェスティバルホールでステージで大友直人指揮、大阪芸術大学管弦楽団と共演されました。

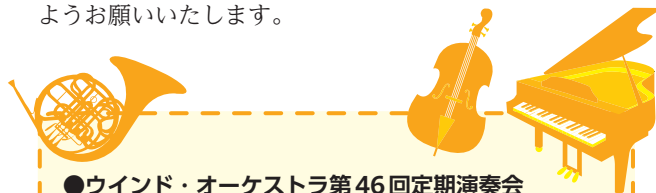
大阪芸術大学主催で、「大阪芸術大学ドリーム・ウインド・オーケストラ」演奏会が開催されました。関西を中心に活躍する楽団や団体の枠を超えて集結した楽団で、今年は5月に公演を開催いたしました。詳細記事をご覧ください。https://www.osaka-geidai.ac.jp/topics/dwo_2025_topics 2026年も開催予定です。

卒業生が徐々に教員として大学に戻り後進の指導に携わっていただいています。卒業生が母校に戻り指導いただけることは、大変うれしい事です。学生の成長が楽しみです。

これからの大阪芸術大学演奏会予定をお知らせいたします。

演奏会等の予定は10月現在の情報です。諸般の事情で変更になる場合がございます。

大阪芸術大学ホームページで詳細をご確認いただきますようお願いいたします。



●ウインド・オーケストラ第46回定期演奏会

2026年2月18日（水）19：00 開演予定

会場：ザ・シンフォニーホール

●ピアノ・声楽・管弦打コース卒業演奏会

2026年3月20日（金・祝）16：00 開演予定

会場：住友生命いづみホール

●ポピュラー音楽コース卒業演奏会

2026年3月13日（金）18：00 開演予定

会場：なんばhatch

●第47回オペラ公演「魔笛」

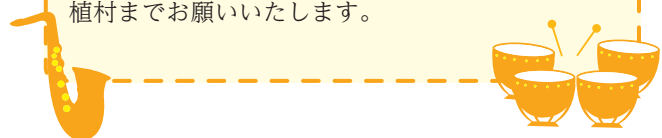
2026年3月6日（金）17：00 開演予定

会場：兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

現役学生の活躍をご覧ください。
入場券を希望の方はメールでご連絡いただけましたらご招待券を用意させていただきます。

e-mail : y-uemura@osaka-geidai.ac.jp

植村までお願いいたします。



文責 / 植村 悦和

映像学科支部2024年度総会

小林 浩理事 (V85)・千光士 義和副支部長 (V8)



スカイキャンパス



村上敬造支部長



映像研究室 金澤先生



校友会和田眞理事



ゲスト恩師太田米男先生

さる令和7年1月19日、ハルカスの大阪芸術大学スカイキャンパスにおきまして、2024年度の校友会映像学科支部総会が行われました。

千光士副支部長の進行で、村上支部長のご挨拶、会計報告、金澤理事より学科の現状報告があり、つづいて、今回初参加されました校友会の理事でwingsの広報企画副委員をされておりますV4の和田貢氏よりお話がありました。

学生時代は、撮るより出演する方で活躍されたとおっしゃる和田先輩ですが、wingsの「あそこ、あの場所で」のコーナーを担当され、校友会を盛り上げてくださっています。支部会員のみなさまにもぜひ、当時の写真やエピソードのお寄せくださいとのことでした。

後半は、今回のスペシャルゲスト、元教授太田米男先生にご登壇いただきました。

太田先生が大阪芸大にいられたころ、映像計画学科のカリキュラムができたころの話を興味深く聞くことができました。また太田先生は、京都でもおもしろ映画ミュージアムを運営されています。10年目にあたり、今年西陣の方へ移転されました。このミュージアムは、京都に映画の博物館をとの思いで作られたそうです。「羅生門」や「雨月物語」など海外でも知られる多くの映画があり、世界の映画史の拠点とも



総会風景

いえる京都に映画の博物館がありません。若い映画人たちが目指せる映画の殿堂として、また映画データベースとして、博物館を作らないといけない。産官学を巻き込みつつも、その殿堂が実現するまで、そのつなぎとしての役割を果たすため活動されています。

最後は、映画会社やテレビ局と連携する産学協同プロジェクト「メイソウ家族」の一部が上映されました。

プロジェクト11作目となるこの作品は、田中光敏学科長が制作統括を担当、熊切和嘉先生と金田敬先生が監督を務められ、3つの短編のオムニバス映画となります。そのうちの1本を参加者のみなさまと観賞させていただきました。

本作は今年8月29日からテアトル梅田をはじめ全国で上映され、無事公開期間を終えました。今後の劇場公開、配信等メディア展開などは未定ですが、ご機会ございましたら是非ご鑑賞くださいませ。

作品詳細>

<https://www.osaka-geidai.ac.jp/topics/meisoukazoku>

公式X (Twitter) アカウント> @meisou_movie

以上、大阪芸術大学スカイキャンパス最後の校友会映像学科支部総会となりました。

支部総会終了後、有志による懇親会が「阿倍野居酒屋はちまる」にて開催。飲み食べ放題のお店でしたが話に夢中に成りあまり食べ物のオーダーをせずに終えてしまった。

次回2025年度の支部総会開催は卒業制作展会期中に映像学科の教室で開催を予定しております。映像学科と校友会映像学科支部のホームページにてお知らせいたします。



居酒屋はちまる

保育学科支部活動報告



保育学科支部総会 集合写真

2025年6月14日(土)、第4回保育学科支部総会および懇親会(同窓会)を開催いたしました。当日は卒業生、保育学科の先生方合わせて128名の皆さんが参加していただき、大いに盛り上がりました。卒業生の中には親子で参加された方もあり、懐かしい友達、懐かしい先生、と懐かしい学び舎で山本泰三先生の記念講演を聞き、学生ホールでの懇親会ではミニコンサートや語らいに花が咲き、賑やかに楽しいひと時となりました。保育学科は2025年度の卒業生をもって終了となり、大阪学舎(矢田)は、2026年4月から大阪医療大学の開学となります。次回は会場を大阪学舎の隣、照ヶ丘幼稚園での開催となります。学生時代の実習等で、懐かしい場所の方もいらっしゃると思います。当日は前回同様、先生方も参加していただきます。ぜひ、皆様お誘い合わせの上ご参加ください。



総会・記念講演・懇親会の様子

次回支部総会・懇親会のご案内

日時：2026年6月20日(土) 午後13:30～16:00(受付13:00)
会場：大阪芸術大学附属 照ヶ丘幼稚園
会費：支部会費 1,000円 / 懇親会費 1,000円
内容：総会・記念講演『仮題「福祉と言葉」』・懇親会
★懇親会ではお菓子・飲料を用意します。
★学生番号23NJ・24NJの皆さんは会費500円です。
★懇親会へのみの参加も可能です。
締切：2026年3月31日(火) 参加ご希望の方は下記からお申込みください。



記念講演
講師：古川 督先生

【お問合せ先】保育学科支部：geitanhoikushibu@gmail.com



大阪芸術大学体育会スキー部OB支部会活動報告書

支部長 山田 直之

大阪芸術大学体育会スキー部OB支部会は、現在140名が在籍しており、年1回OB支部総会を開催しております。2024年度は11月に大阪で開催しました。

その中でスキー場でのOB集会の計画が持ち上がりました。早速、支部役員の協力で2025年2月に芸大スキー部にとっては、聖地である長野県野沢温泉スキー場でのOB集会が実現しました。集会には、関東支部から多くのOBが参加していただき、スキー合宿さながらのOB集会になりました。一部には、高齢者も参加していましたが無事怪我もなくスキー場での集会を終了しました。

スキー場での集会は、これからも支部会の恒例行事にしたいと思っておりますので、年1回のOB総会となれば多くのOB支部会員の参加をお待ちしております。



2025年2月野沢温泉スキー場

★校友会支部を立ち上げませんか★

塚本学院校友会支部は、校友会本部との連携をもとに、支部会員相互の親睦と母校の発展に寄与することを目的に活動しています。現在、学科支部が6支部、クラブ支部が2支部、地域支部が4支部、それぞれ活動を展開中です。

会員のみなさんも校友会支部を立ち上げて、互いの親睦を図るとともにネットワークを築き、各種イベント等を企画し、楽しく活動をしませんか。開設前の事前相談等は、お気軽に校友会事務局までお問合せください。

支部運営委員長 奥見 俊晴

校友会事務局 TEL 06-6607-1988 FAX06-6607-7485

Mail : tgkouyukai-3@giga.ocn.ne.jp

芸弓会支部

支部長：岡田 成生

大阪芸術大学体育会弓道部：初代主将 / 芸弓会（大阪芸術大学体育会弓道部OB会）：会長

1982年創部。その10年後の1992年に有志メンバーによって弓道部OB会である『芸弓会』が誕生。

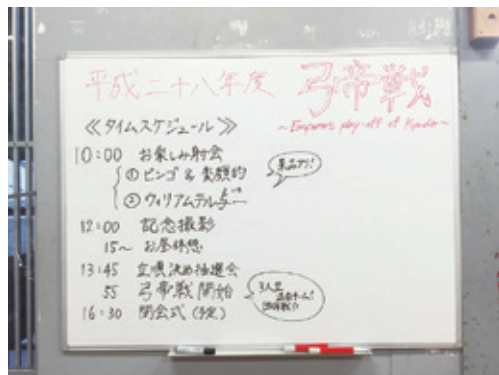
会の主目的は、「現役弓道部員と卒業弓道部員の懇親および弓道部への支援」として発足しました。

それ以降、現役弓道部員とその卒業生やご家族、そして時には他大学の弓道部員や弓道に関心のある方々を交えて、総会を伴う交流射会（名称：弓帝戦）を定期的に開催。

今回はその当時の懐かしい『弓帝戦』の様子や弓道場での一コマ、関西学生弓道連盟リーグで5部→2部へストレート昇格した時の2016年リーグ入替戦（的中表）の画像などを掲載させていただきました。



弓帝戦：参加ノベルティ

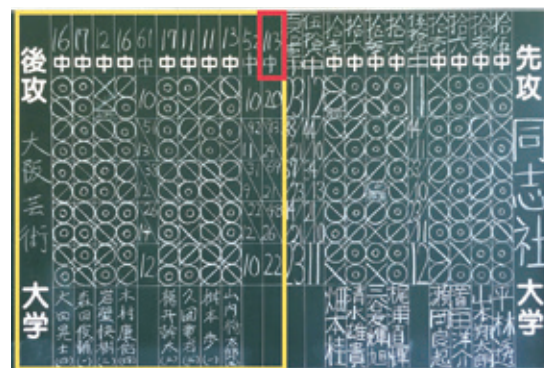


弓帝戦：式次第



弓帝戦：神前礼拝

リーグ入替戦：3部→2部リーグ昇格へ
(大阪芸術大学：113中／同支社大学：111中)



弓帝戦：ホッと一息



弓帝戦：戦い前の練習だあ！



弓道場：防寒カーテン



弓道場：部員名札

塚本学院校友会 大阪支部 活動報告

第8回を迎える「大阪芸術大学OB＆OG会」、「塚本学院校友会 大阪支部」と承認されてから第4回目の総会が令和7年9月27日(土)に開催されました。



D84 野田峰子 氏作の案内状

前年は、例年のように9月最後の土曜日に会場を押さえることが出来ず、また その辺りの日程でさえ会場を押さえることが出来ず、その年の開催をあきらめました。一昨年開催の今回はとても寒い中での開催でしたので、今回は何とか気候の良い、例年通り9月の最終土曜日での開催を希望していたので、会場の確保が出来た時はほっとしました。(会場の方は 前回同様雲州堂/IOR?Iさんでした。)ただ、参加者の数が例年通りとは行かず、例年の約半数といった厳しい状況での開催となりました。

総会では毎回、この1年の大阪支部の活動報告の後、参加メンバーの自己紹介、活動発表やイベントの発信を行っています。今回も出席メンバーのみなさんから発信して頂け、その後の懇親会では例年より一人一人とお話する時間が長く出来たことは良かったのではないかと思います。

本会は、校友会本部と連携を保ち、支部会員相互の親睦を深め、もって母校に寄与する事を目的としており、今後も学校・学部・年度の枠を飛び越え、色々なところで活躍されている仲間たちと交流し、新しい繋がりを広げて行きたいと思っています。



左：前田氏の発声によりスタート 右：辻氏の報告



岩本氏の報告



高橋氏の報告



三矢氏の報告



植井氏の報告



吉谷氏の報告

塚本学院校友会で、大阪府に在住・在職している会員及び、大阪府以外に在住・在職している会員でも、目的に賛同して頂ける人を支部員としていますので、ぜひ、入会して頂きたいと思っています。今後も、目的達成に向け、SNS等での情報発信、見学会、発表会、後援会等を行っていきたくと思っています。

次回の開催は会場の押えが難しく、未定になっておりますので、決まり次第、SNSのFacebook(Meta)等で、連絡させていただきます。塚本学院校友会 大阪支部会員の皆様、また新規会員も募集しておりますので、ふるってご参加下さい。

P.S.

この春に「大阪芸術大学OB＆OG会」、「塚本学院校友会 大阪支部」の理事として大変尽力して頂いていた植村幸治さんがお亡くなりになりました。いつもいつも、助けて頂いていたので、とても残念で仕方がありません。ご冥福をお祈りいたします。

【お問い合わせ先】
株式会社スタジオ オット 大林 誠
〒530-0047 大阪市北区西天満一丁目1-11 レーベルビル2F
TEL : 06-6363-1591
E-mail : otto_say_0510@yahoo.co.jp
Facebook : <https://www.facebook.com/groups/ouoa84ct/>

役員の選任

支 部 長 大林 誠 (芸大 インテリアデザイン学科)
副支部長 辻 健 (芸大 グラフィックデザイン学科)
植井 和彦 (芸大 インテリアデザイン学科)
理 事 吉谷 武敏 (芸大 インテリアデザイン学科)
前田 千寿 (芸大 グラフィックデザイン学科)
植村 幸治 (芸大 インテリアデザイン学科)
幹 事 室谷丞一郎 (芸大 スペースデザイン学科)



2次会の様子

三重県支部のご紹介と会員募集のお知らせ

支部長：和田 貢（三重県名張市 在住）

三重県には塚本学院 大阪芸術大学グループの卒業生が昭和50年から令和7年に至るまで1,000名以上います。私ども三重県支部は、正式に塚本学院校友会により開設を承認いただいた令和5年12月より40名の卒業生が加入されています。

会員の学科別内訳は、デザイン学科(6名)・美術学科(3名)・写真学科(5名)・舞台芸術学科(9名)映像学科(4名)・放送学科(2名)・音楽学科(4名)・キャラクター造形学科(2名)建築学科(1名)・広報マスコミ科(1名)・文芸学科(2名)学科未記入(1名)です。年齢層も30代～40代の会員が大半を占め、同窓のみなさんの懇談、交流、情報交換、親睦会など不定期ではありますが津市や松阪市、伊勢市等で開催しています。支部会も2024年1月16日、同年4月26日、7月31日と随時開催して参りました。今年25年の5月13日には津市久居にて同窓会と銘打って支部の親睦会も行いました。

支部入会に際しての会費や寄付なども不要ですし、会の参加、不参加は自由です。

参加の際はその都度、会費制で行っています。

このような同窓会や食事会へのご案内を、会員のみなさまにはメールや書面を通じて発信し、参加を募っています。塚本学院校友会三重県支部会の詳しい内容や入会申込みは、下記に添付のQRコードを読み込んでいただき、ご確認ください。また三重県支部のホームページ・Instagramなども活用ください。

ご質問、ご不明な点は mie.oua.koyukai@gmail.com

までお問い合わせ下さい。



画像は三重県支部の
ホームページです



三重県に校友会員が昭和50年～令和4年卒業生まで1,041名います。私たちは集うOBの仲間たちと、あの頃に思いを馳せたり、状況を通じて仕事や趣味などに、新たなネットワークの場を拓けて行ければと考えています。

※三重県支部では会費や、運営に関わる費用は一切不要です。



伊勢神宮



御在所ロープウェイ



花火



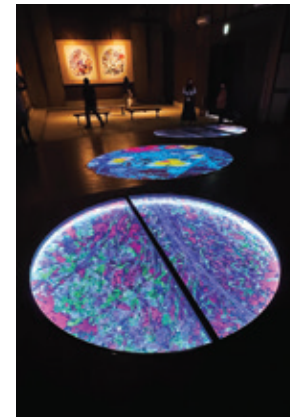
夫婦岩



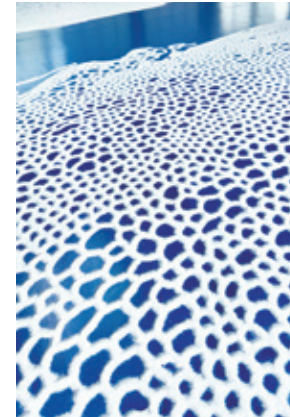
三重県支部会（同窓会）



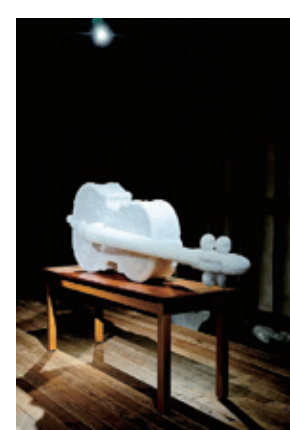
レオニート・チシコフ「みんなの手月まで届く手袋を編もう！」
マリーナ・モスクヴィナ「てぶくろくんのおはなし」



ラックス・メディア・コレクティブ
「KASAYAソーシャル」/パフォーマンス・スペース・アートワーク



山本基「時を紡ぐ」



シガリット・ランダウ「Capacity」

香川県支部の会員募集中！

塚本学院校友会香川県支部 支部長：岡田 成生
(1985年：デザイン学科卒業／香川県東かがわ市 在住)

今年の香川県は瀬戸内国際芸術祭の開催年でした。

支部会員の皆様におかれましては、島々を巡りアートを十分に堪能された方、また直接的に作品の造作や運営に携われた方々など、それぞれの立場で楽しまれたことと思います。

私の住む東かがわ市でも今年は初の開催地に選定され、夏会期(8月1日～31日)の開催とあって多くのボランティアスタッフが熱中症と闘いながら頑張っている姿を目にしました。

そして、11月9日をもって今年の瀬戸内国際芸術祭の全会期が終了。

次の開催はまた3年後です。香川県以外の会員の方のご来県を心よりお待ちしております。



さて、香川県支部は、2023年12月に設立されました。

活動内容は年に一度の総会をはじめ、不定期ではありますが講師をお呼びしての講演会や勉強会、または見学会や小旅行などを実施しております。

香川県支部では同窓の皆さんの懇親、交流、情報交換など、懐かしい語らいの場を提供できればと考えております。

会やイベントの参加、不参加は全くの自由(支部入会に際しての年会費や寄付などは不要)。その都度、会費制で行っていきますので、支部事務局からの案内で興味のあるものがありましたら参加くだされば幸いです。

香川県支部の現在の会員数は、約80名(2025.10.30現在)

会の詳しい内容や入会のお申込みは、ホームページ(<https://tgk-kagawa.com>)をご覧ください。だくか、下記の各QRコードを読み込んでいただければ直接ページにアクセスできます。

香川県支部 入会・お問い合わせについて

HP <https://tgk-kagawa.com>

事務局連絡先：090-2865-4456



Chebi Nagaiさんの
Instagram



Chebiさんの
作品



日本のウユニ塩湖(父母ヶ浜／三豊市) Chebi Nagai

和歌山県支部より——最南端のまちからロケット最先端のまちへ



町内野球場での関西独立リーグ
公式試合始球式にて

申本町長 田嶋 勝正
芸大 環境デザイン卒(1981年卒)

私のもとに初めて射場建設の打診があったのは2014年頃。最初は荒唐無稽な話ととらえていましたが、それから10年、用地交渉を含め異例の速さで完成した国内民間初のロケット射場からは、2024年に初号機・2号機が相次いで打ち上げられました。映像等でご覧になった方も多いのではないのでしょうか。残念ながら人工衛星の軌道投入という最終ミッションは果たせませんでしたが、2号機は高度100kmの宇宙空間に到達するなど、その成果は確実に前進しているところです。

2040年には世界で140兆円規模になると言われる宇宙産業。当町から打ち上げられるロケットの経済波及効果は、今後10年間で、和歌山県内では1,200億円、全国では3,700億円との試算も出されており、過疎化・少子高齢化の進む我が町としても、大いなる可能性を期待せずにはられません。

ロケット事業は本州最南端という立地が申本町に与えてくれた最高のプレゼント。申本町はもとより和歌山県の発展のため、必ずや成功させるとともに、将来的には紀南発の一大産業に押し上げていきたいと考えています。



射点からの打ち上げイメージ画像 (CG)



カイロス公式見学場の様子



町職員による来町者へのおもてなし



名勝・橋杭岩から見るロケット (CG)



ロケット打ち上げ時の様子が体感できる8K臨場感「スペースシアター」



ロケットミュージアムの様子 (イメージ)



見て・学んで・体感できる宇宙ミュージアム
宇宙ふれあいホール「ソラミル」



2025年4月1日OPEN



和歌山県支部初めての総会を開催

2025年4月13日(日)、発足後初めての和歌山支部の総会が和歌山県民文化会館にて、支部員12名と塚本学院校友会の事務局長 芝野晴夫氏をお迎えし開催されました。

久保支部会長の挨拶に続き、菊地事務長から発足までの経緯報告、支部員の自己紹介、今後の方針等を2時間にわたり議論し閉会されました。

和歌山県支部による新企画 展覧会・演奏会の参加を募集！



お問い合わせ

事務局 菊地 / Mobile : 090-3493-7039
toshimitnc1951@gmail.com

総会に続き9月14日(日)の方針会議にて、和歌山地区での展覧会企画を取り上げ、その出品者(参加者)として、県出身者はもとより他府県で制作活動されている卒業生及び在校生の作品等を募り、新しい形の企画展を考えています。時期は2年後を予定とし、皆様方のご協力をお願いします。立体・平面・動画・建築(パネル・模型)・染織・アクセサリ等が考えられます。友人、知人をお誘いの上、和歌山県支部事務局までご相談登録ください。お待ちしております。

文責：支部長 久保哲朗

和歌山県支部——プラモデル制作

中村 勝己（大阪芸術大学7期生）
芸術学部デザイン学科グラフィックデザイン専攻卒



第2回 Senior Scale Modeler's プラモデル展示会 和歌山ビッグ愛 展示ホール 2025年4月26日～27日



卒業してから半世紀以上経ちました。
校友会和歌山県支部で副支部長兼支部便りのデザイン制作
担当をさせていただきます。

今は毎日サンデーの日課で、好きな事を楽しんでいます。
趣味はいろいろあり、プラモデル、バドミントン、登山、絵画
などです。

小学生低学年に出会ったプラモデルを、65年以上楽しんで
います。プラモデルクラブに入会し、毎月の例会、同じ趣味
の友達が沢山出来、その輪が和歌山県から関西に広がり、
今は全国に友達が沢山増えました。また、模型メーカーのタ
ミヤの故田宮俊作会長、ハセガワの長谷川勝人社長、ファ
インモールド鈴木邦宏社長様方達とお付き合いさせて頂き、毎
年5月の静岡ホビーショー・モデラーズクラブ合同展示会には、
今年31回目の出展参加をさせて頂きました。現在所属してい
るクラブは、創設3年の Senior Scale Modeler's です。



毎月制作しながらの例会風景
和歌の浦アートキューブ 制作室B1



2025年7月18日に90歳で
亡くなられた田宮俊作会長と私

静岡ホビーショー 第34回モデラーズクラブ合同作品展 2025年5月16日(土)・17日(日)



同じモデラーの石坂浩二さんと私



第8空軍 大ジオラマ

ベースサイズ：2,912 × 1,030mm



コロナ禍で出歩く事も出来無くなり、ひたすら模型制作。そして一人
で「アメリカ軍第8空軍」の大ジオラマ1/48scale を完成させました。
爆撃機(6)、戦闘機(14)、輸送機(2)、支援車両(21)、フィギュア、ド
ラム缶など、市販にない車両や工作物はフルスクラッチビルドしています。
ドラム缶はシリコンで型取りし、300個以上レジン樹脂で作っては塗装。
フィギュアも200体以上ちまちまと塗装しました。



橋爪教授を囲む門下生と金管楽器専攻生



紀美野町文化センター・みさとホールのステージでレッスン

橋爪教授の紀美野町合宿

9月に入ってもまだ暑さが続いている和歌山県紀美野町で、
橋爪伴之演奏学科教授の門下生と金管楽器専攻生の合宿が
行われました。紀美野町文化センターのクラシック専用ホ
ールを存分に生かしての練習やレッスン。宿泊先の「かじか荘」
での教授による特別講座。パーベキューや川遊び、夜は満
天の星空の下、内容の濃い3日間を過ごしました。ちなみに、
紀美野町文化センターのピアノは、スタインウェイ社のフルコ
ンが合宿実施の場合、無料で使用する事もできます。



大阪芸術大学 名誉教授 持田総章 主幹のグループ Cu¹⁰⁺¹ 展が10月1日～開催！



2025年10月1日～6日まで、和歌山県民文化会館 特設展示
室にて開催いたしました。

持田総章先生に銅版画の指導を受け始めてから、10年以上
の年月を経ました。工房はゼミ教室のように、自分で考え制作に
励んでいます。自分の表現したいことがまとまらなかったり、何
とかしたいと思う時には先生にアドバイスをいただいて、制作を進
めています。もちろん自分たちの間でも技法や展開の話をし、よ
り深く作品に向き合っています。先生はこんな私たちを小さなアー
ティストと言ってくださっています。

文責：藤本 知世

和歌山30th. 新世界展 和歌山県民文化会館 (大展示室) 2025.10/22～27



藤本知世さんの作品

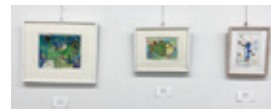
左から、サガリバナ (F80)、雨あがりに (変100)、クロトン (130 x 60cm)



持田先生の作品
LOCATION(ミクストメディア)



藤本さんの作品



吉田さんの作品



林さんの作品



左から、中西周代・吉田和加子・藤元知世・林敦子



中西さんの作品

和歌山県支部への入会・お問合わせ先

入学時に校友会の会費を納めているので、和歌山県支部への入会金・会費等の
徴収は有りません。入会ご希望の方は、事務局までメールで、お名前(旧姓)・ご
住所・〒・携帯電話・卒業校名・専攻学科・卒業年度と入会希望と送ってください。

和歌山県支部事務局 菊地稔美

携帯：090-3493-7039 / Mail：toshimitnc1951@gmail.com

大阪芸術大学 造形学科支部

支部会員ボシユウ中!!

支部設立準備中!!



キャラクター造形学科のご卒業なら、どなたでも!!!



◁こちらの QR コードまたは
{<https://forms.gle/tfAqiGA4F1tv19C87>} から
フォームを入力しお申込みください。
ご質問がございましたらお気軽に
担当者 [mellmail@osaka-geidai.ac.jp] まで、ご連絡ください。

プチギャラリー Wings

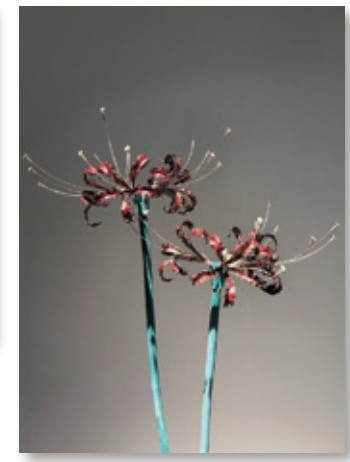
大阪芸術大学

作品サイズの単位は mm

工芸学科
金属工芸コース



樹海月
津田 彩乃
H400 × W320 × D300
ブロンズ、銅 / 鋳造



追悼
馬 竜培
H450 × W320 × D849
銀、銅 / 彫金

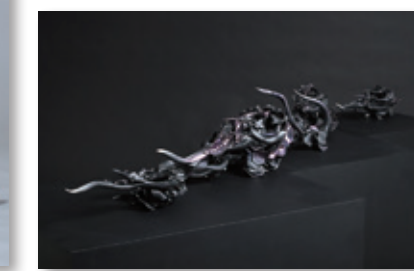


メンダコ
澤谷 倫
H120 × W120 × D85
銅 / 鍍金

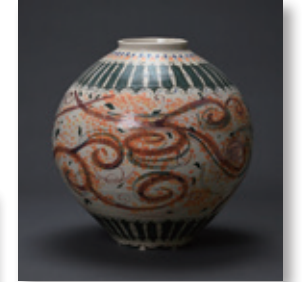
工芸学科
陶芸コース



めぐりめぐってまためぐる
早川 陽菜
H1600 × W3000 × D3000
陶土、ゴムチューブ / 手びねり



せつな
増子 僚
H350 × W2300 × D1200(サイズ可変)
陶土 / 手びねり

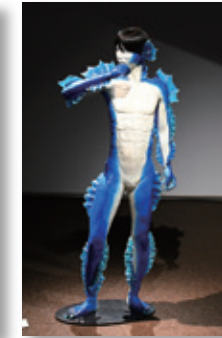


香る
辻本 楓
H350 × W350 × D350
陶土 / ろくろ成形

工芸学科
ガラスコース



こころの風景
新村 朋美
H250 × W800 × D600
ガラス / 吹きガラス、キルンキャスト、エナメル絵付



非人間欲
片平 湖雪
H1800 × W650 × D450
ガラス、石膏 / キルンキャスト

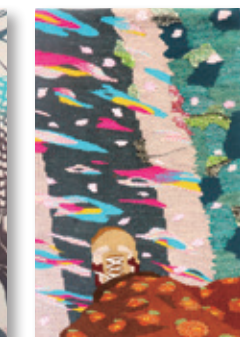


Dream Castle
鈴木 菜桜
H500 × W400 × D300
板ガラス / 積層

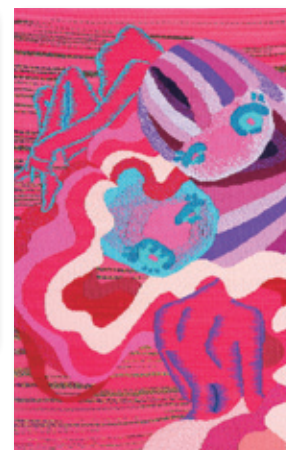
工芸学科
テキスタイル・染織
コース



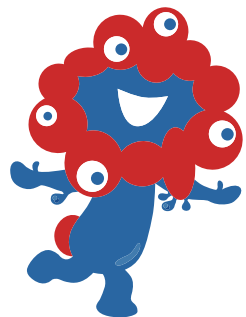
洗濯日和
池上 和奏
H91 × W72 × D3
絹布・酸性染料 / 型染め



きらめきハルノヒ
木下 莉彩
H87 × W55 × D1
ウール、綿、ポリエステル / 綴織



目を向ける、目を背ける
西原 応
H90 × W60 × D1
ウール、綿、ポリエステル / 綴織



大阪・関西万博
公式キャラクター ミャクミャク

大阪・関西万博公式キャラクターを美術学科卒業生の山下浩平さんがデザイン

大阪・関西万博 (EXPO 2025) で 学生も卒業生も躍動！

2025年4月に開幕した大阪・関西万博は、10月13日に大盛況のうちに閉幕しました。大阪芸術大学は多彩なイベントや共創プロジェクトに参加し、学生や卒業生にとって貴重な経験と成長の場となりました。本学の主な取り組みを紹介します。

大阪文化祭 ～大阪国際文化芸術プロジェクト×大阪芸術大学～ 大阪の魅力を発信する大舞台で演奏やダンスを披露



5月11日、大阪・関西万博会場内のEXPOホール「シャインハット」で「大阪文化祭～大阪国際文化芸術プロジェクト×大阪芸術大学～」が開催され、学生や教員が華やかなパフォーマンスを繰り広げました。舞台芸術学科からは、演出振付家のIPPEI 特任准教授とポピュラーダンスコースの学生たちがパワフルなダンスを披露。演奏学科ポピュラー音楽コースの学生バンドも熱演を見せました。さらに、演奏学科の学生を中心とする大阪芸術大学管弦楽団が、世界的マエストロの友友直人教授の指揮のもと登場。プロ声楽家との唱歌&オペラメドレーや、森川美穂教授と大阪芸術大学混声合唱団によるアニソンメドレーで客席を魅了しました。音楽ユニット「globe」メンバーのマーク・パンサー客員教授がラップで



躍動感あふれるダンスを披露

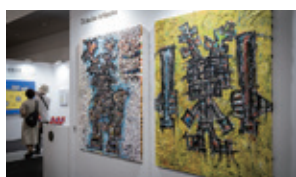
4組の卒業生アーティストが出展 「第3回 日本国際芸術祭／大阪・関西万博展」

万博会場内のEXPO メッセ「WASSE」で7月2日～6日に開催された「第3回日本国際芸術祭／大阪・関西万博展」に、「大阪芸術大学 新進気鋭アーティスト展」として卒業生が出展しました。参加したのは、「ねずみの ANDY」などの作品で国

際的に活躍する松本セイジさん、ギャグ漫画家とアート活動を両立する石塚大介さん、墨絵アーティストでデザイン学科客員教授の茂本ヒデキチ先生、そして期間中に展覧ブースでライブペイントも行ったアートユニット「THREE」の4組です。7月5日には「WASSE」内の特設ステージで茂本ヒデキチ先生によるライブペイントが披露され、その後行われたラジオ大阪「大阪芸大スカイキャンパス」の公開収録では、塚本英邦副学長と田中光敏映像学科長を聞き手に、4組の卒業生アーティストが熱いトークを繰り広げました。



THREE (ライブペイントの様子)



石塚大介さん (作品)



松本セイジさん (作品)



茂本ヒデキチ先生 (セミナー会場での墨絵パフォーマンスの様子)

食をデザインしてコミュニケーションを広げる 「世界のおにぎりプロジェクト」

デザイン学科の共創プロジェクト「わたしばくデザイン」として数年にわたり取り組んできた「世界のおにぎりプロジェクト」。これは、世界各国の料理とコラボしたおにぎりを通じて世界の食文化を発信しようというものです。学生たちが



わたしばくデザインのメンバー二人も販売

試作や試食を繰り返してレシピを開発し、ニコニコのり株式会社の協力を得て、関西各地のイベントで販売を重ねました。そして炊飯器メーカーの象印マホービン株式会社との共創により、大阪・関西万博のORA 外食パビリオン「宴～UTAGE～」のおにぎり専門店「ONIGIRI WOW!」での販売が実現。広告ビジュアルや国別ステッカーにも学生のイラストが採用されました。さらに7月5日のカンボジア・ナショナルデーに招待され、同国の料理ロックラックをアレンジしたおにぎりをカンボジア政府やパビリオンの関係者に贈呈。プロジェクトは国際的な文化交流を深める大きな成果となって実を結びました。

特許庁との官学連携により地域応援グッズで 「明日を変える知財のチカラ」に参加

大阪芸術大学 未来創造デザイン研究会が手がけた地域応援カプセルトイ「aipon」が、10月2日～10日にEXPO メッセ「WASSE」で開催された特許庁主催のイベント「明日を変える知財のチカラ」に登場しました。

これは、社会課題解決に知財が有用であることを、知財に縁遠い層も含め多くの方々に発信するイベントです。

「aipon」は、地域の魅力の再発見をテーマに、学生たちが企画

万博を舞台に、多彩なイベントや企画にチャレンジしました！

- 「エンタングル・モーメント [量子・海・宇宙] × 芸術」プロデュース・出展 (EXPOメッセ「WASSE」／アートサイエンス学科)
- EXPO VISIONに映像作品上映 (EXPOアリーナ「Matsuri」／写真学科)
- フューチャーライフエクスベリエンス／国際連合工業開発機関 (UNIDO) 展示作品「地球の耳」企画制作 (フューチャーライフヴィレッジ／芸術計画学科)



デジタル学園祭アワード「SX PARK」クリエイティビティ部門準グランプリ受賞作品展示 (EXPOメッセ「WASSE」／アートサイエンス学科 OUA-AS)



「益踊りのアシタ」やぐらデザインプロジェクト (よしもwaraii myrai館／デザイン学科)



モレスキン×大阪芸術大学アートコンペティション受賞作品展示 (イタリア館／デザイン学科)



「音楽の祭日 in EXPO」出演 (ポップアップステージ東外／演奏学科)



アートサイエンス学科客員教授 石黒浩 テーマ事業プロデューサーシグネチャーパビリオン「いのちの未来」 (パートナーとしてアンドロイド・オルタ4を貸与)



よしもwaraii myrai館×大阪芸術大学「大笑展」出展 (学生・卒業生)



観光VR映像制作～上映 (デジタルラベルゾーン／写真学科)



米国カンザス大学との合同収奏楽コンサート (ポップアップステージ東外／演奏学科)



地域応援カプセルトイ「aipon」



から取り組んできたプロジェクト。2023年の知財ビジネスアイデア学生コンテスト (主催：近畿経済産業局)・地域ブランド部門で最高位の賞に輝きました。この受賞がきっかけで特許庁からオファーがあり、官学連携へと進展。イベント会場でアンケートに回答するともらえるオリジナルノベルティとして「aipon」が活用されました。学生たちは、カプセルトイの中身や仕器のデザインも担当し、UVプリンターなどの学内設備を駆使してキーホルダーを製作。会場は多くの来場者でにぎわい、「カプセルトイチャレンジ」は大きな盛り上がりを見せました。

これらの事例以外にも、本学は多岐にわたる分野で大阪・関西万博の機運醸成と成功に貢献しました。学生や卒業生たちが繰り広げた多くの挑戦とその成果は、未来に続く確かなレガシーとして、彼らが次のステップへ踏み出す原動力となるでしょう。



巨大プロジェクトマッピング「MEGA CANVAS」コンテンツ制作 主催一般社団法人関西イノベーションセンター (東ゲート外／ネイキッド×アートサイエンス学科)



「ガチダンス2025 in 大阪・関西万博」プロジェクションマッピング制作 (シャインハット／アートサイエンス学科)



「お菓子で世界にスマイルプロジェクト」出展 (ギャラリーEAST／デザイン学科)



大阪メトロ「大阪・関西万博」啓発ポスターをデザイン (大阪メトロ22駅に掲出／デザイン学科)



「大阪芸大的 EXPO2025 サイエンス大博覧会」 (特設サイト制作／放送学科)



「南河内 - LIVE ART EXPO」／河南町ワークショップ「囃く壺 叫ぶ壺 時ノ壺」企画制作 (ギャラリーWEST／芸術計画学科)



オーストリア館展示のアート作品が大阪芸術大学に寄贈



「大阪ウィーク～春・夏・秋～」キービジュアルをデザイン (大阪芸術大学短期大学部デザイン美術学科・三木優さん)

大阪芸術大学短期大学部は 伊丹学舎を本拠地として

1986(昭和61)年に大阪芸術大学短期大学部伊丹学舎(兵庫県伊丹市)が竣工して40余年が経過します。現在大阪学舎とともに2拠点で運営していますが、令和8(2026)年4月より伊丹学舎が拠点となります(メディア・芸術学科6コース10専攻とデザイン美術学科9コース12専攻の2学科)。大阪学舎は令和8(2026)年4月より大阪医療大学として開学し新たな領域へ切り開いていくことになります。

大阪芸術大学短期大学部は毎年のように新たな取組みが展開されており、メディア・芸術学科に『イベントプロデュースコース』を新設します。メディア・芸術学科では、先端メディアや広告、放送や映像など情報発信するための「メディア」を制作する領域と、またさまざまな「メディア」において演劇やダンス、声優や音楽活動、音源制作など表現する領域を併せ持ち、業界で活躍したいと強く思う学生たちが集う学科ですが、そこに「イベントを起こす」をコンセプトとして、地域の行事や催しを企画、運営できる能力、ノウハウを学ぶコースが立ち上がります。また、デザイン美術学科は9コース12専攻を擁し、分野を決めずに入学でき、学びたい授業を広く学び理解した後にコースを決めます。芸術系大学の中でも12専攻の範囲から自分に合った分野を入学後に決めることができ、メディア・芸術学科と同じくコースを超えた学びが可能で広い分野の知識・技術を修得できるところが他の学校にはない教育内容といえます。オープンキャンパスでは本学での授業の一部を実際に学べる体験授業型で参加が出来ますので興味がある高校生は是非参加してみてください(参加無料)。未経験や0からでも学べ、他コースの授業も並行して学べるなどの特徴もあり、授業がわかりやすく展開されるので「やる気」が比例して身につけることが出来るといえる学びとなっています。

もう一つは内部推薦編入学が充実しているところです。高校から進学する生徒の選択肢としては四年制大学が約60%、専門学校が35%で、短期大学は5%程度とかなり限られているといわれていますが、大阪芸術大学短期大学部は四年制(大卒)を見据えて進学できる短大です。編入学はハードルが高いと言われますが、このように言い切れるのも大阪芸術大学の3年次に内部推薦で進学できるところです。短大の専攻と同じ系列の学科・コースであれば、短大内での面談のみで推薦が可能です。出席率や



大阪芸術大学短期大学部(兵庫県伊丹市)

単位取得、課題やポートフォリオなども評価しますが、不足なくクリア出来ている学生なら編入が可能といえます。また保護者の皆さまとしても、大学に4年間通わせるより大阪芸大短大から編入学することで、学費をトータルで抑える事が出来ます。学科によって異なりますが多くが4年間で60万円ほどの節約で学士の資格を取得できます。またさらに本学から大阪芸術大学へ編入する場合は全員が編入学全額免除という特典もあります。

さて、今年は大阪・関西万博がとても盛況でした。公式キャラクターのミャクミャク制作者をはじめ多くの大阪芸術大学グループ卒業生や関係者が関わりました。短期大学部では、大阪の各地域の魅力を来場者に広くアピールする「大阪ウィーク～春・夏・秋～」のキービジュアルにデザイン美術学科グラフィックデザインコース(当時1年生)の三木優さんの作品が選ばれました。「祭」をテーマに万博会期中の35日に渡って掲載されたので各種イベント、広報用パンフレットや情報誌など至るところで見かけられたのではないのでしょうか。



大阪・関西万博「大阪ウィーク～春・夏・秋～」キービジュアル 三木 優さん

最後に大阪芸術大学短期大学部では、ファミリー奨学金制度を設けています。校友会員皆さまのご子息、ご息女が本学にご入学された場合、14万円を奨学金として給付しております。詳しくは大阪芸術大学短期大学部事務室(072-777-1842)まで。

唯一無二の4専攻「美術・工芸コース」

全国にあるデザイン系・美術系の専門学校で「美術工芸」4専攻が学べるのは本校だけです。1年生の前期に「絵画」「版画」「金工」「陶芸」の4専攻を学び、やりたいことを見極めます。1年生後期からそれぞれの専攻に分かれていきます。

「絵画」専攻の学生は自然光が入るアトリエにて、彩色描画、木炭画などデッサン力を強化し、大きな教室に一人一人のスペースを確保して1620×1300mmのビッグサイズに挑みます。油彩画・テンペラ画・水彩画などを具象・抽象・心象で描きます。

「版画」は木版・銅板・石版・シルクスクリーンの4つの版画技法を習得して、それぞれの個性に合った表現力で卒業制作に向かいます。「版」で描きます。写真やPCソフトを使った作品制作・製本スキルも習得します。

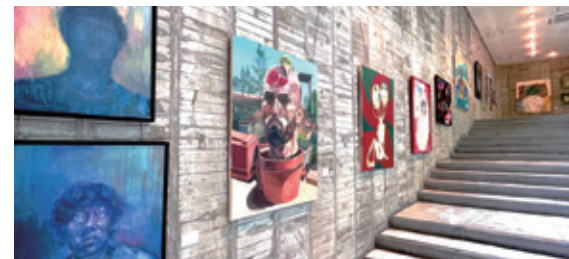
「金工」は一片の金属を芸術にする彫金・鍛金・鍍金の技術をはじめ、金や銀、宝石、木、樹脂、ガラスなど金属以外の多彩な素材も使いこなします。

「陶芸」は土に学んで火に託す。型、ろくろ、手びねりなどの成形方法から装飾まで習得し、土から作るオブジェ、フィギュア、ジオラマなどを制作。一方で、暮らしを豊かにする器や雑貨なども制作します。

自分の考え方を「見える化」する喜びを日々味わいながら、表現しつづけるクリエイターたちの集団です。

マンガ・アニメ・コミックイラスト・フィギュアという現代の私たちの生活にとって、当たり前存在しているサブカルチャー分野とともに、開学以来の伝統美術教育が並立している大阪芸術大学附属大阪美術専門学校は、やはり特別な学校なのです。

絵画



版画



金工



陶芸



令和7年度 塚本学院校友会 社会貢献等支援事業報告

社会貢献等顕彰制度委員会 委員長 小山保広

令和7年度社会貢献等支援事業審査状況

社会貢献顕彰委員会では、毎年度校友会員の連帯意識の高揚と母校の発展を目指して会員等に対する表彰制度と会員による社会貢献等の事業支援制度につきましてその推薦又は申請について審査しております。令和5年度は、表彰制度は推薦がありませんでしたので、社会貢献等支援事業につきましてその審査結果について報告します。

社会貢献等支援事業につきましては、1件の新規申請があり、審査の結果以下の通り1件の支援が決定しました。

- ①大韓民国・春川（チュンチョン）市における「第3回春川アートフェア・アールロード」（春川美術館）の海外招待作家として、現地での講演・アーティストトークを通じて、独自の研究分野である「墨流し」を若手アーティストや地域住民に周知・普及させ、国際文化交流を図る。
カタログの拙作頁にクレジットとして「塚本学院校友会」を挿入

以上の活動内容を鑑み支援が決定した。

- ②その他 昨年からの継続支援が1件あります。

塚本学院校友会事務局 〒546-0023 大阪府大阪市東住吉区矢田2-14-19
TEL 06-6607-1988 FAX 06-6607-7485

社会貢献顕彰制度委員会からのお知らせ

●塚本学院校友会 顕彰制度

芸術・文化・スポーツ活動等諸活動において、顕著な功績をあげ校友会及び母校の名を高めた会員（準会員含む）及びその団体等を表彰します。
◎自己推薦は、ご遠慮ください。

種類 塚本学院校友会賞（会員及びその団体）
塚本学院校友会奨励賞（準会員及びその団体）
塚本学院校友会会長賞（会員・準会員及びその団体）
塚本学院校友会特別賞（会員・準会員不問）

塚本学院校友会特別賞（会員・準会員不問）

大阪芸術大学グループ

塚本学院校友会では、会員の連帯意識の高揚と母校の発展を目的として表彰制度と社会貢献事業等への支援を行います。

●塚本学院校友会 社会貢献等支援事業制度

校友会員の士気の高揚と社会文化の発展に寄与することを目的に、会員（準会員含む）及びその団体が行う各種社会貢献活動等の円滑な推進を支援します。

種類（例） 社会福祉推進事業の支援・災害に対する復旧・復興支援・国際交流事業の推進支援

学術・研究事業の推進支援・文化・芸術・スポーツ活動等の支援・その他社会貢献活動の支援

社会貢献活動とは

会社・学校等及び自分自身の利益やメリットを第一に考えて行動するのではなく、社会や人々の暮らしが豊かになるように貢献する取り組みと考えています。

社会貢献顕彰制度委員会

塚本学院校友会事務局

〒546-0023 大阪市東住吉区矢田 2-14-19

TEL.06-6607-1988

FAX.06-6607-7485

HP:<http://koyukai.osaka-geidai.ac.jp>

E-mail:tgtkouyukai-3@giga.ocn.ne.jp



- 会員等の推薦者
- 事業支援希望者

は、必要書類を校友会ホームページよりダウンロードするか、または事務局までご連絡ください。

手続き

2026年度締め切り
2026年5月29日 金
消印有効

必ず配達記録郵便「レターパック」にて
校友会事務局まで郵送してください。

学びのフィールド

現代芸術の多彩なフィールドを網羅する、
大阪芸大グループの令和8年度の学科編成

大阪芸術大学

【アートサイエンス学科】

- 〈研究領域〉
● 社会変革アート
● メディアアート

【美術学科】

- 油画コース
● 日本画コース
● 版画コース
● 彫刻コース

【デザイン学科】

- グラフィックデザインコース
● イラストレーションコース
● デジタルメディアコース
● デジタルアーツコース
● プロダクトデザインコース
● 空間デザインコース
● デザインプロデュースコース

【工芸学科】

- 金属工芸コース
● 陶芸コース
● ガラス工芸コース
● テキスタイル・染織コース

【写真学科】

- 〈研究分野〉
● ファインアート
● プロフェッショナル
● 映像表現

【建築学科】

- 〈研究分野〉
● 建築
● 環境デザイン

【映像学科】

- 〈研究分野〉
● 映画
● 映像
● シナリオ
● 映像学
● アニメーション

【キャラクター造形学科】

- 漫画コース
● アニメーションコース
● ゲームコース
● フィギュアアーツコース

【文芸学科】

- 〈研究分野〉
● 創作（小説・詩・脚本）
● ノンフィクション・文芸批評
● 出版・編集
● 翻訳・講読

【放送学科】

- 制作コース
● アナウンス音声表現コース
● 先端メディアコミュニケーションコース
● 声優コース

【芸術計画学科】

- 〈研究分野〉
● アートプロデュース
● イベントプロデュース

【舞台芸術学科】

- 演技演出コース
● ミュージカルコース
● 舞踊コース
● ポピュラーダンスコース
● 舞台美術コース
● 舞台音響効果コース
● 舞台照明コース

【音楽学科】

- 音楽・音響デザインコース
● 音楽教育コース

【演奏学科】

- ピアノコース
● 声楽コース
● 管弦打コース
● ポピュラー音楽コース

【初等芸術教育学科】

大阪医療大学

医療看護学部 【理学療法学科】／【看護学科】 2026年4月開学

大阪芸術大学短期大学部

【メディア・芸術学科】

- メディアコース
（先端メディア専攻／広告専攻／放送専攻／映像専攻）
● イベントプロデュースコース
● 舞台芸術コース
（身体表現専攻／舞台制作専攻）
● ポピュラー音楽コース
● 声優コース
● ポピュラーダンスコース

【デザイン美術学科】

- グラフィックデザインコース
● イラストレーションコース
● 空間演出デザインコース
● アートサイエンスコース
● ドローンクリエイターズコース
● アニメーション・デジタルクリエイションコース
● キャラクター・マンガ・フィギュアコース
● 絵画・版画コース
● 工芸・立体デザインコース

大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校

【総合デザイン学科(3年制)】

- グラフィックデザインコース
● デジタルデザインコース
● イラストレーションコース
● プロダクトデザインコース
● インテリアデザインコース

【コミック・アート学科(2年制)】

- マンガコース
● コミックイラストコース
● アニメコース
● フィギュアコース
● 美術・工芸コース
（絵画・版画・金工・陶芸）

各校の
詳細は
コチラ



大阪芸術大学



大阪医療大学



大阪芸術大学
短期大学部



大阪芸術大学附属
大阪美術専門学校

The information of the Graduation Work Exhibition

2026 卒業制作展のご案内

※掲載写真は過去の卒業制作のものです

大阪芸術大学 卒業制作展

学内展

「令和7年度 大阪芸術大学 卒業制作展」
期間：2026年2月8日(日)～15日(日)
11:00～17:00
会場：大阪芸術大学
※同時に芸術情報センター展示ホールにて
「優秀作品展」を開催



学外展

○大学院
「令和7年度 大阪芸術大学大学院 修了制作展」
期間：2026年2月3日(火)～8日(日)
9:30～17:00 (入場は16:30まで)
会場：大阪市立美術館 天王寺ギャラリー

○芸術学部・通信教育部・短期大学部・
大阪美術専門学校
「令和7年度 大阪芸術大学グループ
卒業制作選抜展」
期間：2026年2月25日(水)～3月1日(日)
9:30～17:00 (入場は16:30まで)
会場：大阪市立美術館 天王寺ギャラリー

※詳細については、大阪芸大ウェブサイトをご確認ください。



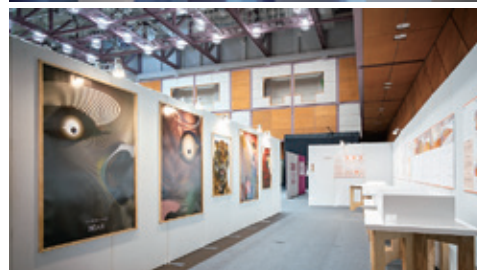
■大阪市立美術館 天王寺ギャラリー 〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町 1-82 (天王寺公園内) TEL 06-6771-4874

大阪芸術大学 短期大学部 卒業制作

卒業制作展：2026年2月6日(金)～2月11日(水・祝)
デザイン美術学科
メディア・芸術学科 メディアコース
2026年2月8日(日) 宝塚シネ・ピピア
11時上映(予定) ※3回上映
メディア・芸術学科 メディアコース
映像専攻 学外上映

卒業公演：2026年2月28日(土)・3月1日(日)
東リ いすみホール(伊丹市立文化会館)
2月28日(土) 15時開演(予定)
メディア・芸術学科 舞台芸術コース
3月1日(日) 14時開演(予定)
メディア・芸術学科
声優コース・ポピュラーダンスコース

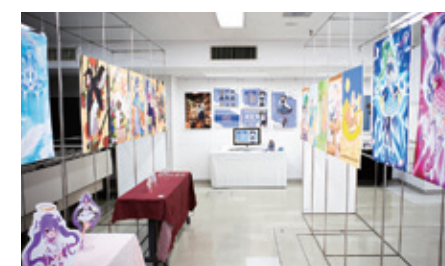
卒業コンサート：3月15日(日) 16時開演
ビルボードライブ大阪
メディア・芸術学科 ポピュラー音楽コース



大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校 卒業制作展

「第44回 卒業制作展」

期間：2026年2月7日(土)～11日(水)
10:00～17:00 (入場は16:30まで)
オープニングセレモニー 2月7日(土) 10:00
会場：大阪芸術大学附属 大阪美術専門学校



WINGS vol.47

執筆等、お世話になった方々 (50音順) (敬省略)

天 野 和 夫	影 山 由 美	河 関 満 代	高 田 雄 吉	古 崎 良 子
池 内 健	亀 谷 眞 一	河 関 容 子	田 中 朝 子	堀 野 利 久
石 川 豊 子	河 西 範 幸	小 西 聡 甫	塚 本 英 邦	正 木 悦 可
石 塚 大 介	川 村 幸 詩	小 山 保 広	東 坂 有 吾	松 江 仁
泉 屋 宏 樹	木 根 尚 登	坂 本 ひ と み	留 目 正 丈	松 尾 佳 明
伊 山 千 鶴 子	木 下 万 智 子	佐 々 田 美 雪	中 川 佳 宜	持 田 総 章
上 田 佳 奈	木 村 尚 子	佐 田 昌 己	中 島 裕 司	森 隆 嘉
植 村 悦 和	木 村 正 彦	佐 藤 幸 一 郎	中 瀬 洋 一	山 下 浩 平
白 井 真	木 村 礼 紀	里 野 鈴 妹	中 野 木 綿 子	山 田 直 之
大 林 誠	工 藤 皇	島 村 和 香 子	中 村 勝 己	山 脇 悠 一 郎
大 船 光 洋	河 関 朔 也	千 光 土 義 和	林 康 夫	吉 澤 敬 子
織 作 峰 子	河 関 都 幸	高 田 真 奈	広 瀬 真 理	和 田 俊 一

ウイングス編集の行程で大変お世話になりました。

塚本学院校友会 事務局 事務局長／芝野 晴夫さん 職員／柴田 稔子さん 松本 晴名さんに感謝します。

企画広報委員会

担 当 副 会 長	竹 内 美 子	委 員	田 村 昭 彦	委 員	菅 原 広 司
委 員 長	東 陰 地 正 喜	委 員	吉 田 昇	委 員	高 橋 亜 希
副 委 員 長	竹 垣 恵 子	委 員	楓 井 由 美	委 員	豊 田 千 晶
副 委 員 長	和 田 貢	委 員	木 下 淳 史	委 員	西 村 日 加 留
委 員	岡 田 邦 彦	委 員	薩 摩 嘉 克	委 員	福 留 愛 生
委 員	岡 田 成 生	委 員	下 村 宗 生	委 員	山 口 俊 介

WINGS ネットワークシステム スタッフ一覧(118名)

中 村 秀 輝	中 村 文 治	水 野 恵 子	保 坂 一 穂	仲 原 圭 太
武 田 明 子	藤 森 淳 司	酒 井 稚 恵	南 山 直 宏	尾 崎 実 哉
糸 屋 幸	出 田 吏 市	宮 田 聖 子	天 摩 郁 子	中 西 幹 夫
森 澤 麻 家	小 牧 伸 輔	皆 山 武 史	那 須 啓 治	渡 邊 志 昭
谷 本 直 也	種 田 寿	水 島 直 春	小 原 慶 治	片 岡 利 美
滝 沢 太 郎	金 山 豊	金 山 直 樹	酒 井 浩 司	金 好 範 江
川 野 雅 通	渡 辺 安 徳	和 泉 智 香 子	岡 田 英 朗	土 井 浩 二
江 本 祐 介	唐 木 孝 治	十 川 賀 菜 子	富 田 昌 之	三 澤 満 広
深 山 佳 嗣	林 武 史	吉 村 ま り 子	坪 田 昌 子	山 根 圭 司
永 田 明 日 香	平 木 円 香	吉 岡 な こ	篠 田 美 代 子	大 野 洋 三
伊 藤 華 苗	河 原 崎 貴	平 澤 卓	宮 本 明 香	大 西 昭 男
松 岡 智 沙	秦 照 文	丸 尾 紘 美	北 田 綾 花	高 垣 貴 峰
上 田 早 紀	由 玉 川 信 雄	石 川 裕 敏	高 田 雄 吉	中 村 茂 昭
飯 田 有 加	富 田 悦 子	石 川 清	中 野 広 典	井 上 美 奈 子
山 本 花 乃 子	富 田 悦 子	下 岡 清	森 田 玲 子	田 中 芳 行
江 連 時 弘	袴 田 伸 二	山 中 愛 子	戸 川 由 子	宮 地 崇 仁
水 落 誠 一	小 川 玲 子	小 栗 高 志	伊 藤 寛 子	藤 原 薫
才 加 志 実	鈴 木 健 司	室 谷 丞 一 郎	武 田 祥 子	田 崎 洋 一
海 津 智 子	安 永 紀 子	万 井 純	木 村 康 佑	広 瀬 真 理
中 原 義 郎	飯 田 浩 人	河 本 一 英	西 岡 純 子	吉 田 孝 則
吉 江 秀 郎	藤 原 靖 子	石 井 学	松 下 智 幸	亀 井 洋 一 郎
高 尾 行 一	古 市 真 崇	植 村 哲	小 出 厚 子	
太 田 実	作 野 周 史	赤 穂 正 秀	八 木 和 昭	
松 永 喬	大 平 正 道	水 落 学	吉 川 羽 由	

全国各地で活躍されている校友会員の情報を事務局までお知らせください。沢山の情報をお待ちしております！

編集後記

巨星墜つ。今年、福永亮碩先生がお亡くなりになりました。校友会にとってあまりに大きすぎる損失です。先生のご冥福をお祈りするとともに、これまでの多大なる貢献に尽きせぬ感謝を込めて今号の Wings を捧げたいと思います。本当にありがとうございました。

企画広報委員長 東陰地 正喜

母校と校友を結ぶ コミュニケーション誌『WINGS』に 広告を掲載しませんか？

校友会では、広報誌やホームページを広告媒体として、異業種交流の一環、「企業と個人」のコミュニケーションを図るというコンセプトで企画しました。

■媒体概要

発行形態：年 1 回発行（次号予定は、2026 年 12 月予定）

判型：A4 版（天地 297× 左右 210mm）無線綴じ

印刷方式：オフセット輪転印刷（全ページカラー）

配布方式：会員名簿に基づき、会員へ無料で郵送

発行部数：令和 6 年度実績 69,700 部

■お申し込み、お問い合わせは、塚本学院校友会 事務局

〒546-0023 大阪市東住吉区矢田 2-14-19

TEL：06-6607-1988 / FAX：06-6607-7485

E-mail：tgkoyukai-3@giga.ocn.ne.jp



卒業生（校友会員）の展覧会・コンサートなどの活動報告や、校友会事務局からのお知らせなどを掲載しています。広報誌『WINGS』のバックナンバーもデジタル BOOK で閲覧できます。

又、校友会員から提供されました。催物・音楽会等の招待券も事務局まで連絡いただきましたら送付します。是非会員の作品等を観賞してください。

塚本学院校友会ホームページ

<http://koyukai.osaka-geidai.ac.jp>

SATOKOU

佐藤 幸一郎

大阪芸術大学 工芸学科 陶芸専攻
2024 年 3 月卒業



混沌(2024)
400×400×400 手捻り